

**和歌山県高齢者等生活意識調査  
(第2号被保険者調査)**

**報 告 書**

**令和2年3月**

**和歌山県 福祉保健部  
福祉保健政策局 長寿社会課**

## 〈 目 次 〉

1. 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 回収状況	1
2. 第2号被保険者調査の結果	3
(1) 回答者	3
(2) 回答者の属性	4
(3) 高齢期の暮らしなどについて	8
(4) 健康について	13
(5) 高齢期の住宅の暮らし、住み替えなどについて	18
(6) 自宅での看取りの考え方など	27
(7) 家族介護の状況などについて	33
(8) 高齢者の生活支援や介護の仕事について	38
(9) 介護保険制度等について	43
(10) 認知症について	47
(11) 自由意見	56
3. 調査間の比較	58
(1) 回答者の属性	58
(2) 健康について	59
(3) 住まい、住み替えなどについて	61
(4) 看取りなどについて	63
(5) 高齢者の生活支援や介護の仕事について	65
(6) 介護保険制度について	67
(7) 認知症について	69
参考資料：アンケート調査票	71

# 1 調査の概要

## (1) 調査対象

本調査は、和歌山県在住の以下の3種類の対象者に調査を行いました。調査対象者の抽出にあたっては、市町村別に一定の標本数を確保するために、市町村単位の層化を行い、標本数を配分したうえで、各市町村において無作為抽出を行いました。

調査は郵送により配布・留置し、郵送で回収しました。

高齢者一般調査	令和元年10月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されていない人	合計3,000人を抽出
要支援・要介護者調査	令和元年10月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されている人	合計2,000人を抽出
第2号被保険者調査	令和元年10月1日現在、県内在住の40～64歳の人	合計2,000人を抽出

## (2) 回収状況

調査票の回収状況は以下の通りです。

	高齢者一般調査	要支援・要介護者調査	第2号被保険者調査
配布・発送数	3,000	2,000	2,000
配布実数※	2,985	1,988	1,992
回収数	1,868	950	904
回収率	62.6%	47.8%	45.4%

※未達分を除く有効配布数

本報告書は、上記3種類の調査のうち、**第2号被保険者調査**について報告するものです。

(調査結果の見方)

- ◆集計にあたっては、平成27年国勢調査人口を基準人口として、市町村別の標本数の補正を行っています。
- ◆集計値はすべて%表示です。なお、四捨五入により小数点以下第1位までの表示としており、見かけの合計値が100%にならない場合があります。
- ◆複数回答の質問は、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- ◆図表中、帯グラフでは、表示が煩雑になるため、3.0%未満の比率については数値表示を省略しています。
- ◆標本数（回答者数）は図表中に「N=」と表示しています。それ以外の数値は回答比率の百分率（%）です。表示が煩雑になるため、%等の単位表示は省略しています。

(集計における「地域区分別」の対象地域)

- ◆県内において、比較的人口の集中している地域と、人口の少ない地域における地域特性の分析等を行うため、県内市町村を以下のように「都市地域」と「都市地域以外」の категорияに区分し、「地域区分別」の集計を行いました。

都市地域	都市地域以外
和歌山市	田辺市（旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町）
海南市	新宮市（旧熊野川町）
橋本市	紀の川市（旧粉河町・那賀町・桃山町）
有田市	紀美野町
御坊市	かつらぎ町
田辺市（旧田辺市）	九度山町
新宮市（旧新宮市）	高野町
紀の川市（旧打田町・貴志川町）	湯浅町
岩出市	広川町
	有田川町
	美浜町
	日高町
	由良町
	印南町
	みなべ町
	日高川町
	白浜町
	上富田町
	すさみ町
	那智勝浦町
	太地町
	古座川町
	北山村
	串本町

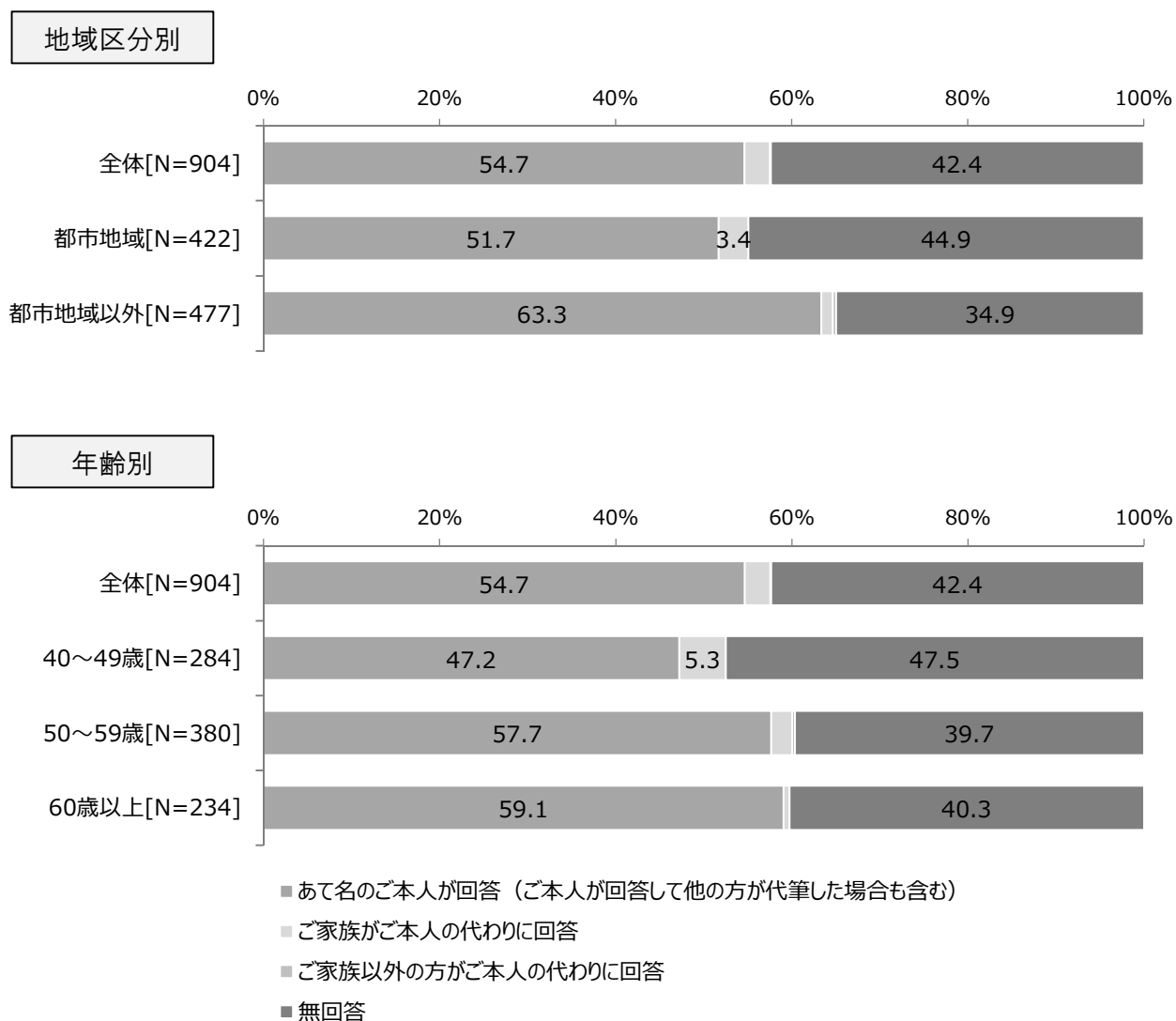
## 2 第2号被保険者調査の結果

### (1) 回答者

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。(あてはまるもの1つに○)

調査票の回答者は、「あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）」が54.7%となっています。

図表 1 回答者



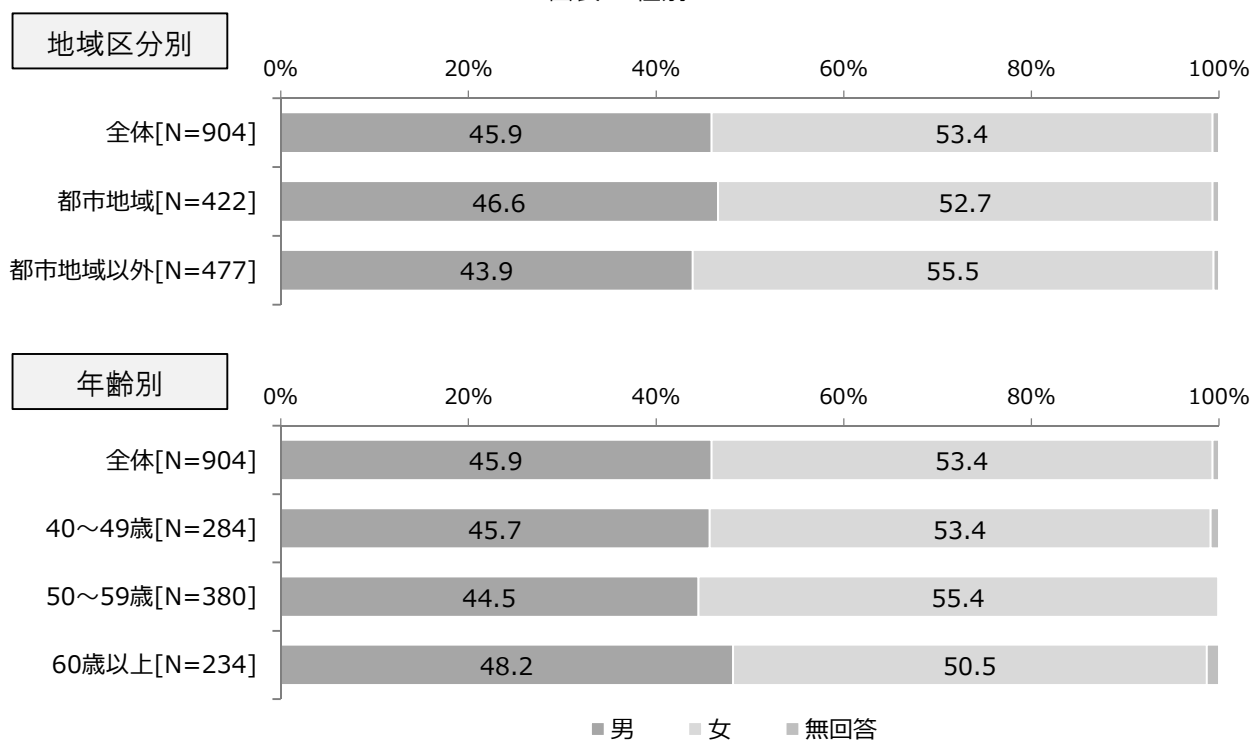
## (2) 回答者の属性

### ①性別

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

回答者の性別は、「女」が53.4%、「男」が45.9%となっています。

図表 2 性別

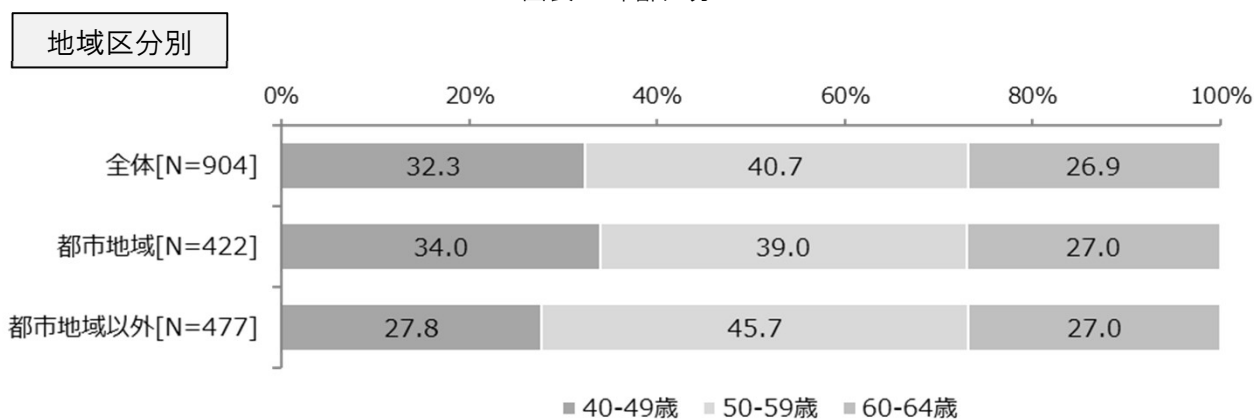


### ②年齢区分

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

年齢区分については、「50~59歳」が40.7%、「40~49歳」が32.3%、「60~64歳」が26.9%、となっています。

図表 3 年齢区分



### ③居住市町村

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

居住市町村については、以下の通りとなっています。

図表 4 居住市町村

全体[N=904]			
和歌山市	37.7	広川町	0.7
海南市	5.3	有田川町	2.7
橋本市	6.8	美浜町	0.8
有田市	3.0	日高町	0.8
御坊市	2.5	由良町	0.6
田辺市 (旧田辺市)	6.7	印南町	0.8
田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)	1.2	みなべ町	1.3
新宮市 (旧新宮市)	2.9	日高川町	1.0
新宮市 (旧熊野川町)	0.1	白浜町	2.2
紀の川市 (旧打田町・貴志川町)	3.8	上富田町	1.6
紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町)	2.8	すさみ町	0.4
岩出市	5.9	那智勝浦町	1.6
紀美野町	0.9	太地町	0.3
かつらぎ町	1.7	古座川町	0.2
九度山町	0.4	北山村	0.0
高野町	0.3	串本町	1.6
湯浅町	1.3		

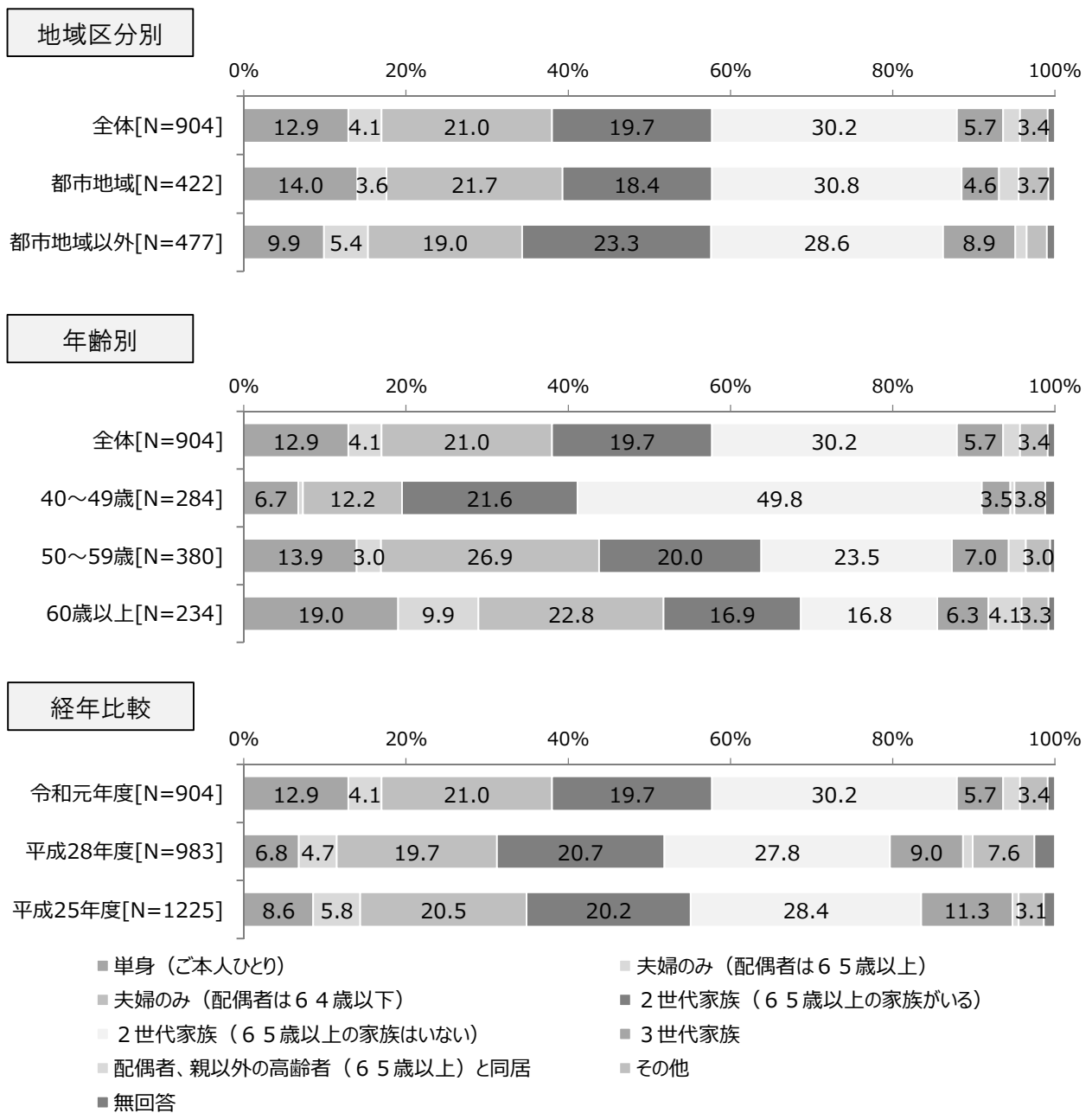
#### ④世帯区分

問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者の世帯は、「2世代家族（65歳以上の家族はいない）」が30.2%、「夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」が21.0%、「2世代家族（65歳以上の家族がいる）」が19.7%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外で「2世代家族（65歳以上の家族がいる）」がやや多くなっています。経年比較では、前回調査と比べて「単身（ご本人ひとり）」が多くなっています。

図表 5 世帯区分





## ⑤収入のある仕事

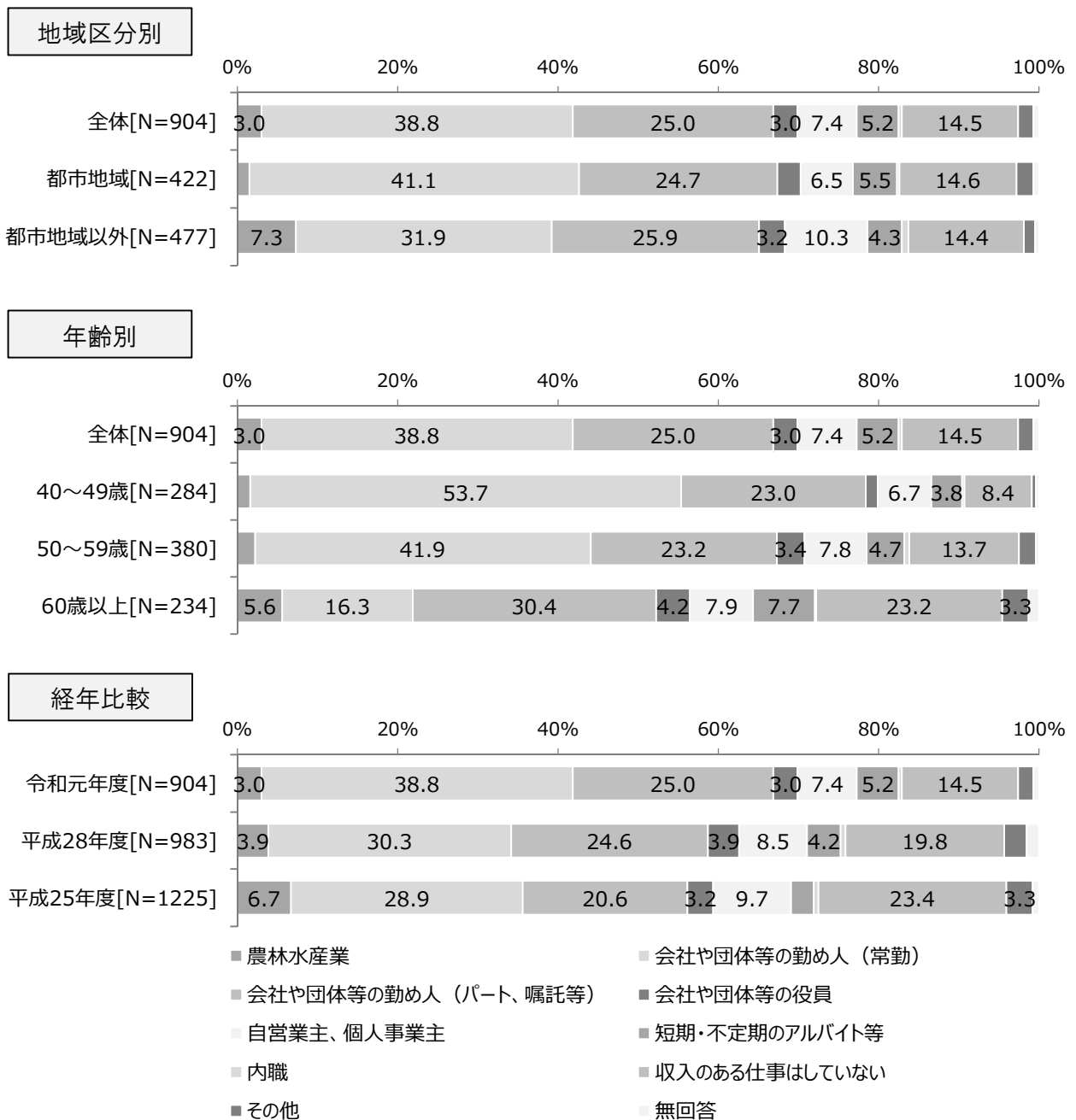
問5 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

収入のある仕事について聞いたところ、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が38.8%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が25.0%、「収入のある仕事はしていない」が14.5%等となっています。

地域区分別で見ると、都市地域以外では「農林水産業」は多く、「会社や団体等の勤め人（常勤）」は少なくなっています。

経年比較では、前回調査よりも「会社や団体等の勤め人（常勤）」が増え、「収入のある仕事はしていない」は減っています。

図表 6 収入のある仕事



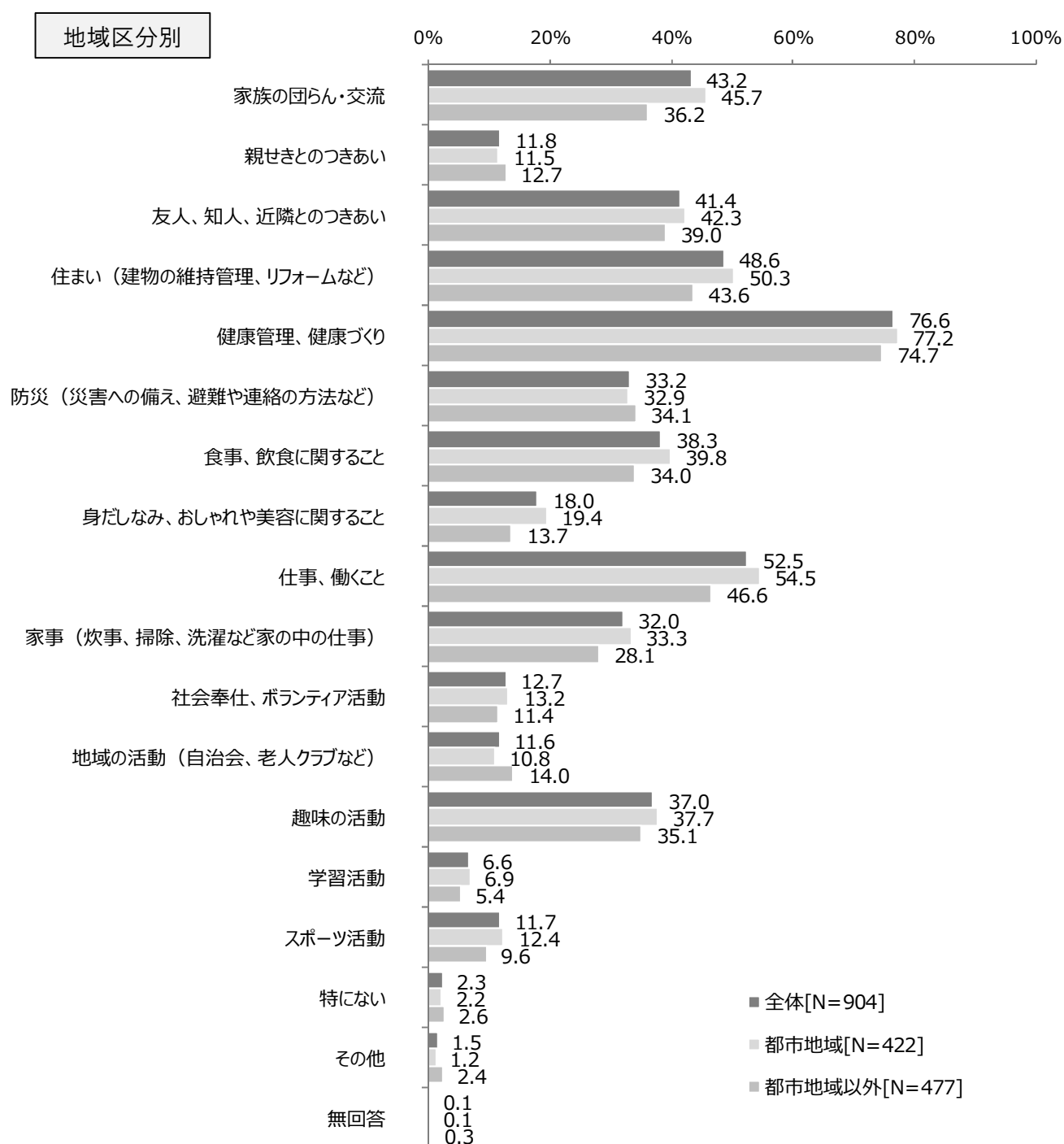
### (3) 高齢期の暮らしなどについて

#### ① 高齢期の関心事

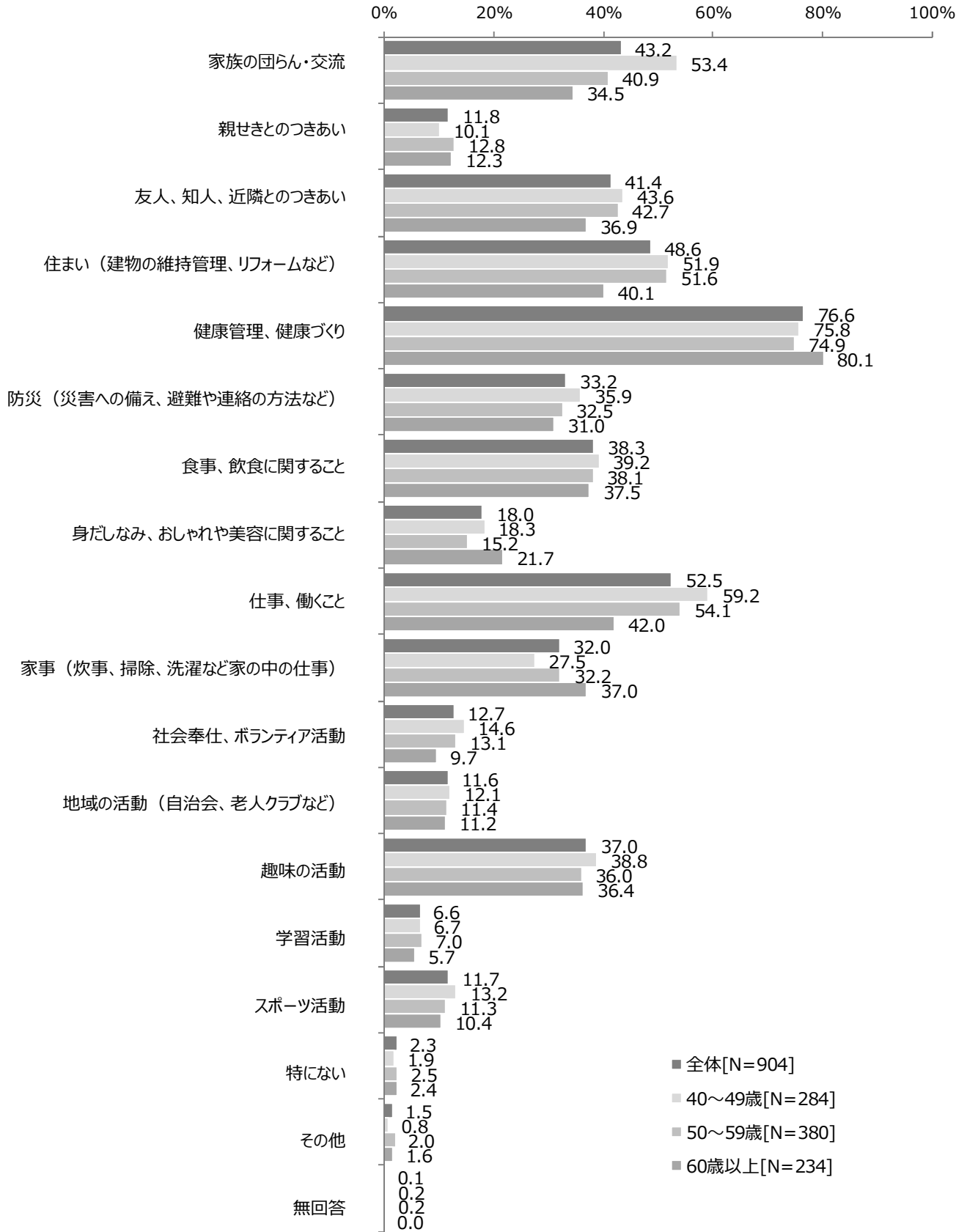
問6 あなたは、ご自身の高齢期の生活を考えたときに、特にどのようなことに関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)

高齢期の関心事について聞いたところ、「健康管理、健康づくり」が76.6%と最も多くなっています。続いて、「仕事、働くこと」(52.5%)、「住まい(建物の維持管理、リフォームなど)」(48.6%)、「家族の団らん・交流」(43.2%)、「友人、知人、近隣とのつきあい」(41.4%)等となっています。

図表 7 高齢期の関心事(複数回答)



年齢別



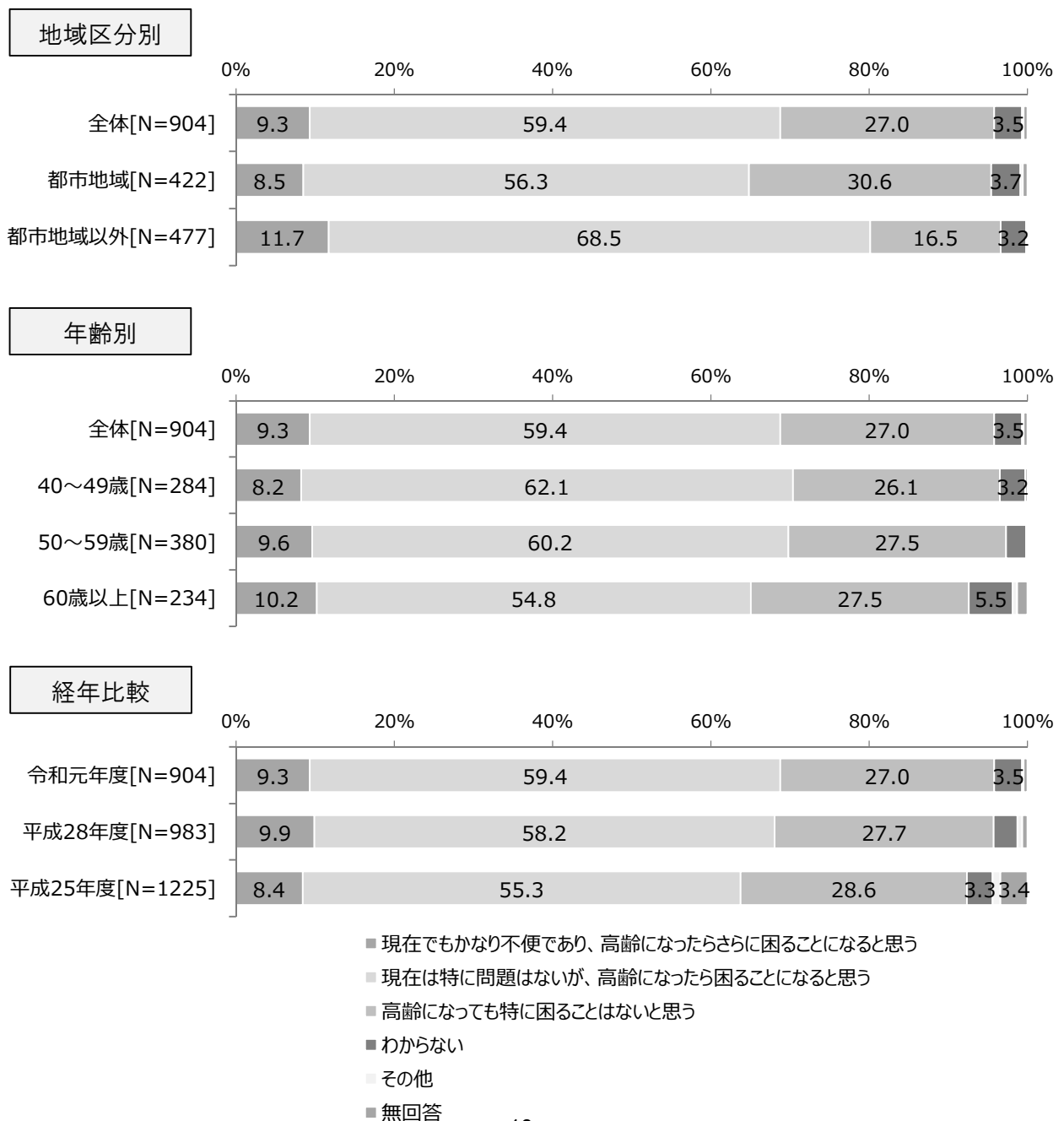
## ②日常の買い物や外出などのしやすさ

問7 あなたは、現在お住まいのところに高齢期も住み続けるとした場合に、日常の買い物や外出などのしやすさについてどのように思いますか。(そう思うもの1つに○)

住んでいる地域の日常の買い物や外出などのしやすさについて聞いたところ、「現在は特に問題はないが、高齢になったら困ることになると思う」が59.4%と多くなっています。「現在でもかなり不便であり、高齢になったらさらに困ることになると思う」は9.3%見られます。一方、「高齢になっても特に困ることはないと思う」は27.0%となっています。

地域区別で見ると、都市地域以外で「現在は特に問題はないが、高齢になったら困ることになると思う」という人が多く、「高齢になっても特に困ることはないと思う」は少なくなっています。

図表 8 日常の買い物や外出などのしやすさ



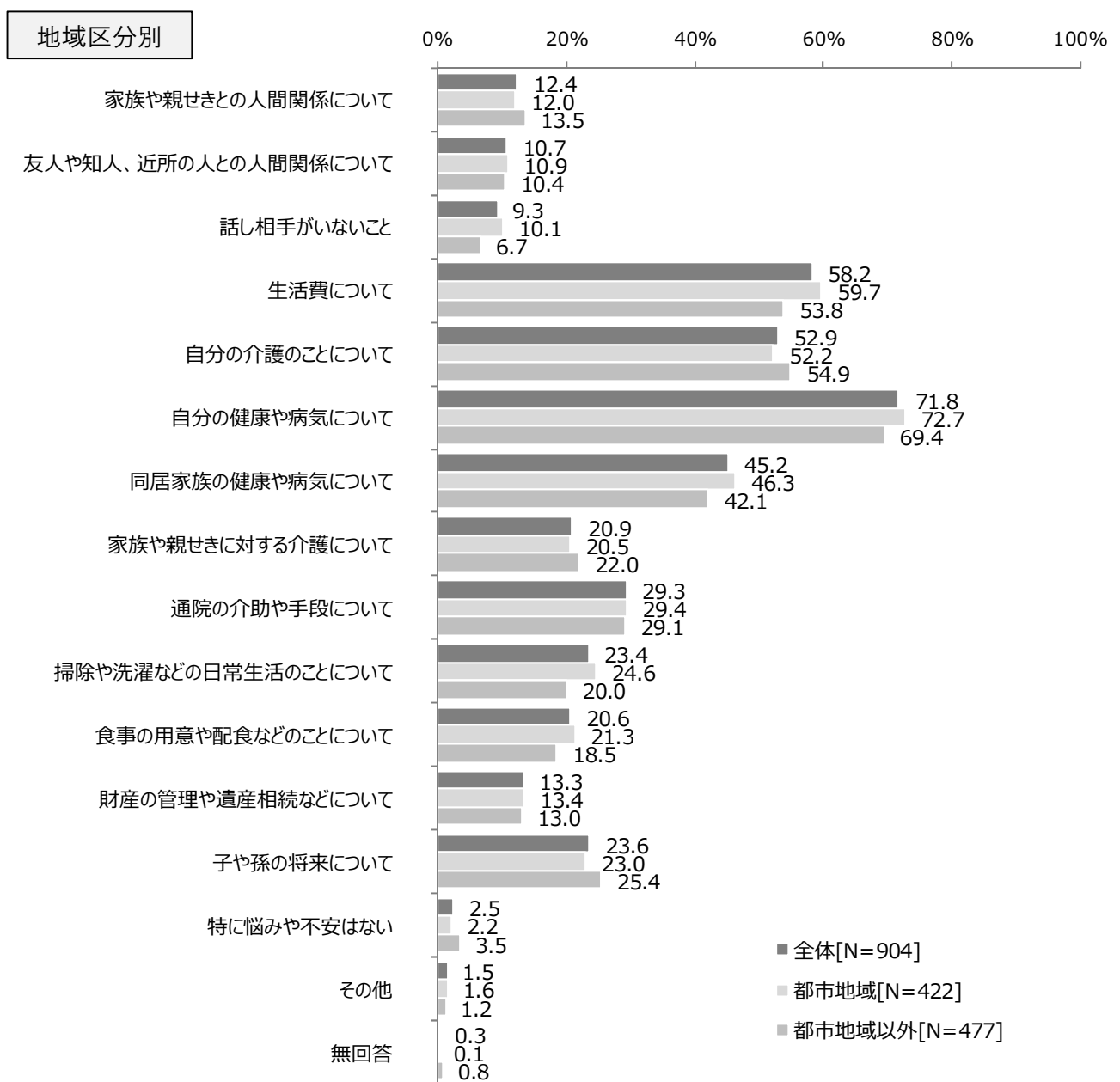
### ③高齢期の生活の不安

問8 あなたは、ご自身の高齢期の生活を考えたときに、何か不安を感じることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

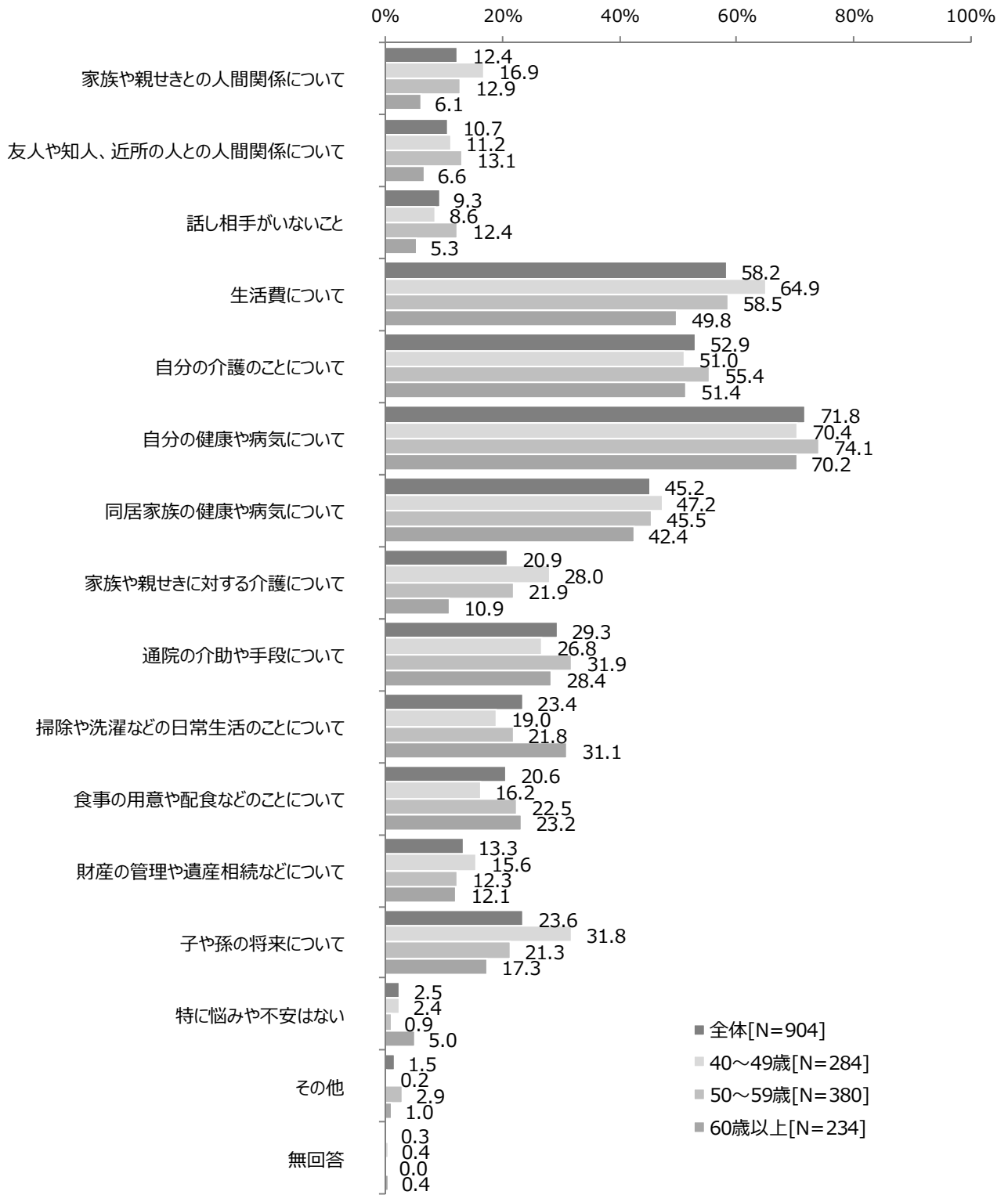
高齢期の生活の不安としては、「自分の健康や病気について」が71.8%と最も多く、次いで、「生活費について」が58.2%、「自分の介護のことについて」が52.9%、「同居家族の健康や病気について」が45.2%等となっています。

年齢別に見ると、年齢が上がるにつれ「掃除や洗濯などの日常生活のことについて」「食事の用意や配食などのことについて」をあげる人が増えています。

図表 9 高齢期の生活の不安（複数回答）



年齢別



## (4) 健康について

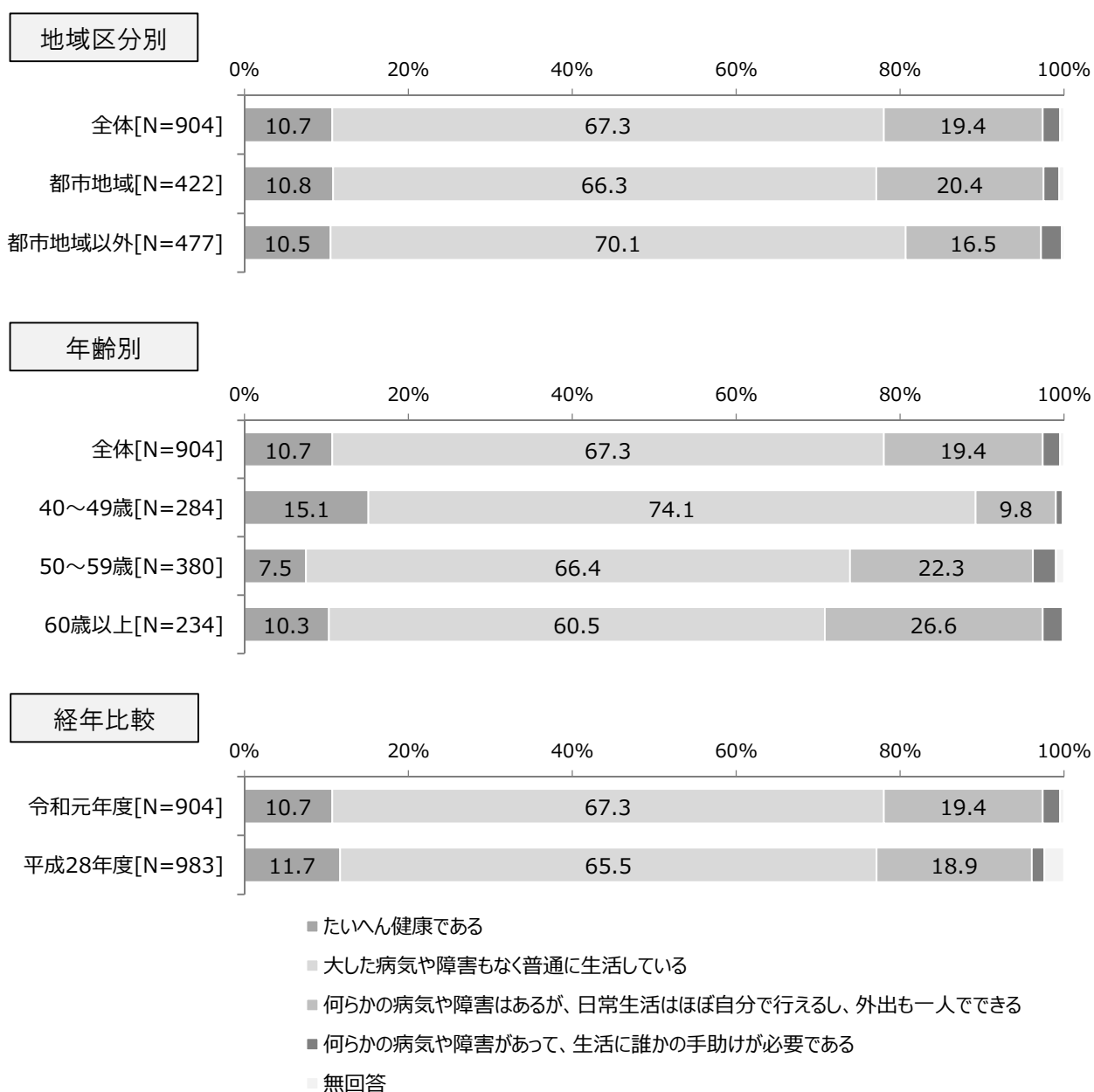
### ①現在の健康状態

問9 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

現在の健康状態としては、「大した病気や障害もなく普通に生活している」が67.3%と多くなっています。

年齢別に見ると、「大した病気や障害もなく普通に生活している」という人は年齢が上がるにつれ少なくなっています。

図表 10 現在の健康状態

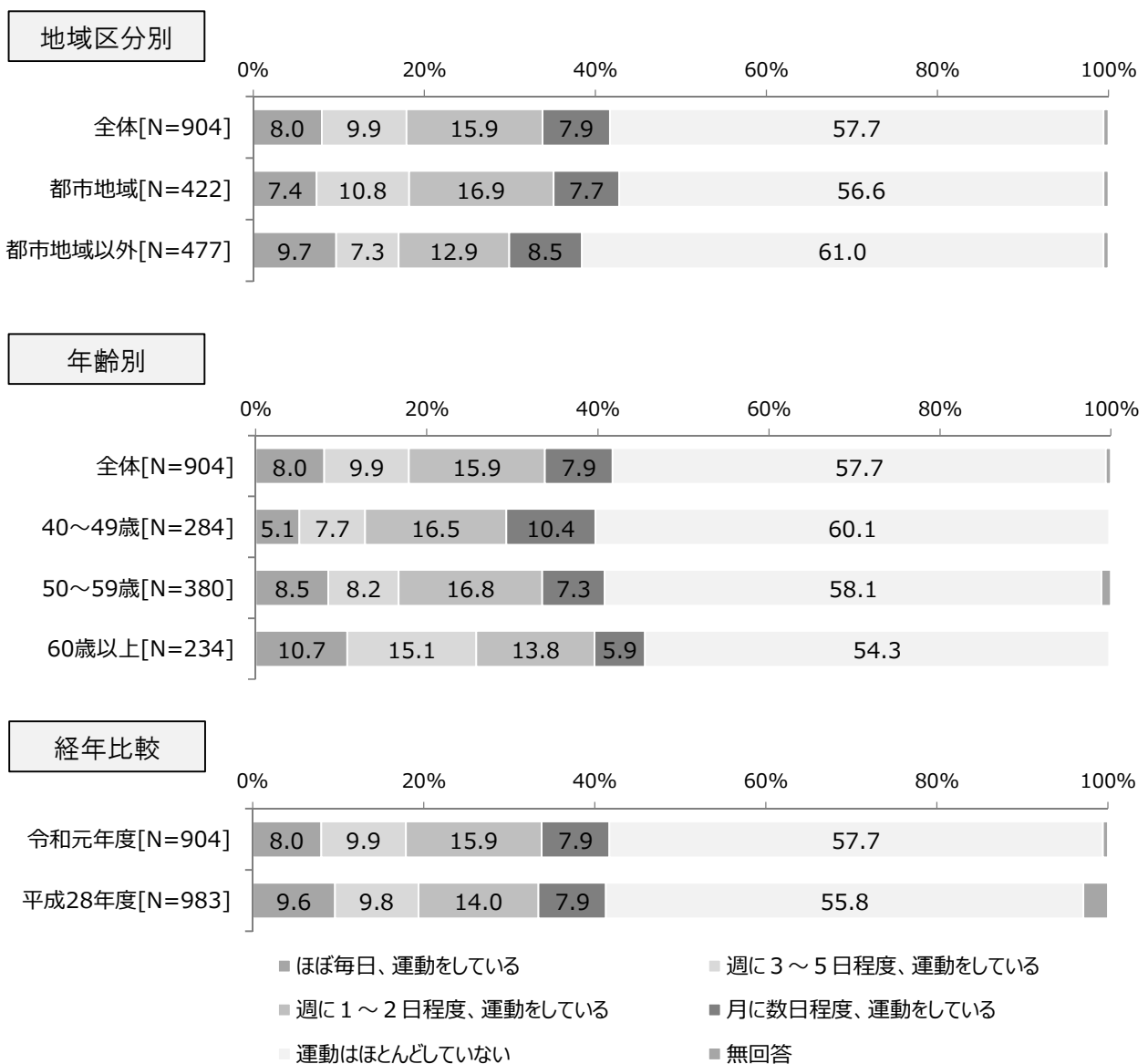


## ②運動の有無

問10 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

運動の有無について聞いたところ、「運動はほとんどしていない」が57.7%と多くなっています。  
 地域区分別では、都市地域以外で「運動はほとんどしていない」という人がやや多くなっています。  
 年齢別では、若いほど「運動はほとんどしていない」人がやや多くなっています。

図表 11 運動の有無





### ③健康づくりや介護予防に重要だと思うこと

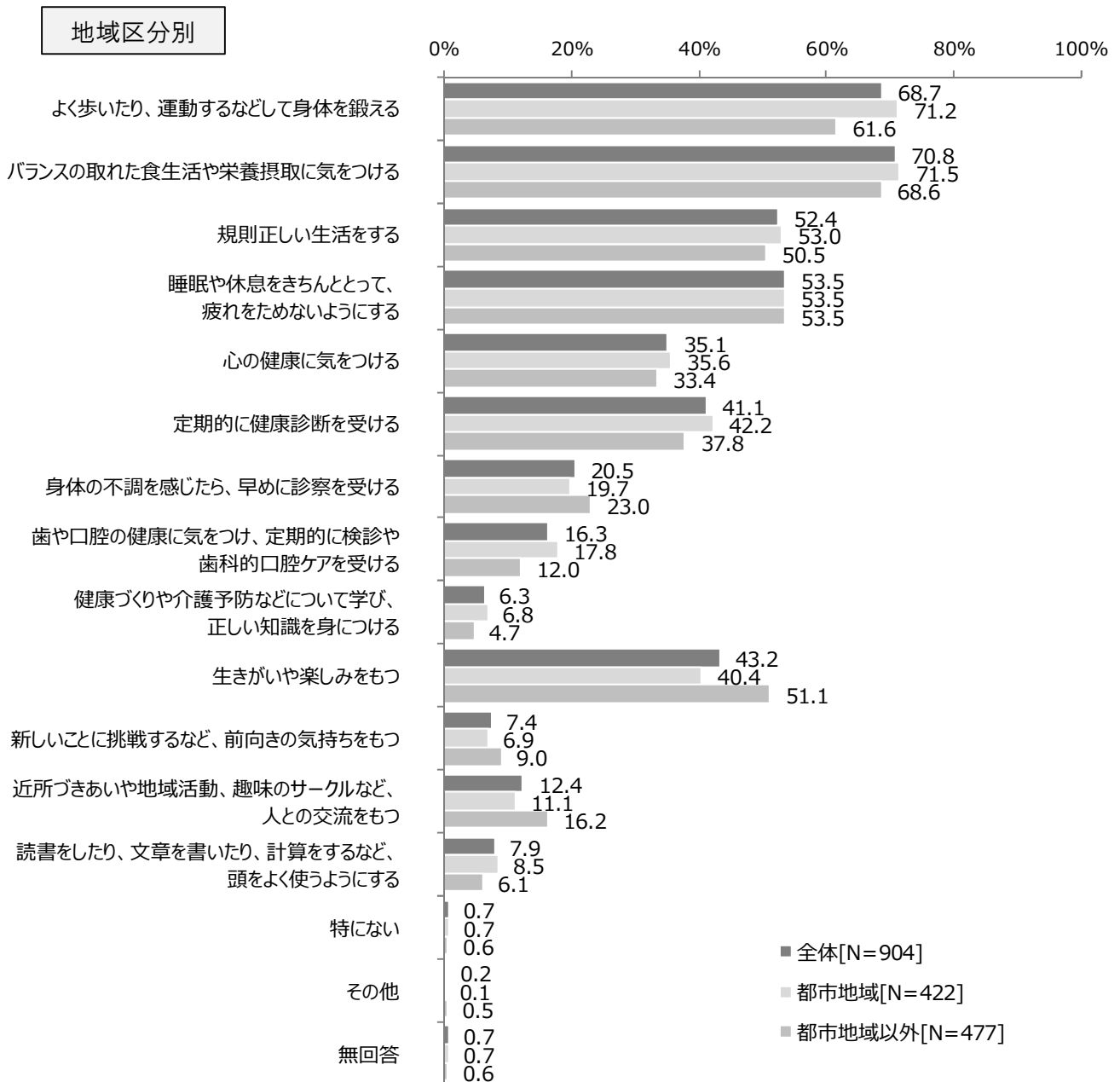
問11 あなたは、高齢期の健康づくりや介護予防のために、どのようなことが重要だと思いますか。(特に重要と思うこと5つまでに○)

健康づくりや介護予防のために重要と思うことについて聞いたところ、「バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける」が70.8%と最も多く、次いで、「よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える」が68.7%、「睡眠や休息をきちんととって、疲れをためないようにする」が53.3%、「規則正しい生活をする」が52.4%、「生きがいや楽しみをもつ」が43.2%と続いています。

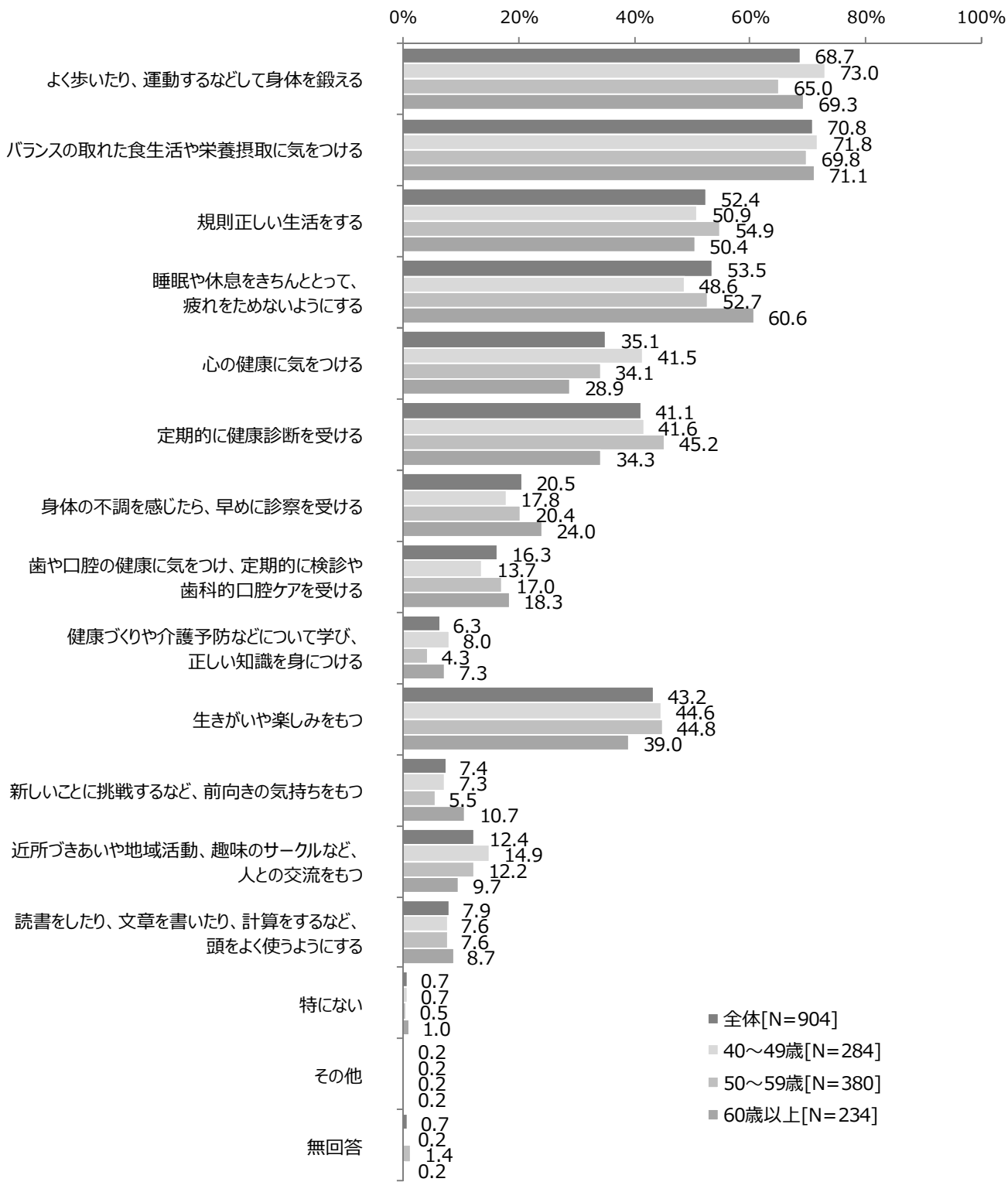
地域区分別では、都市地域の方が「よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える」は多く、「生きがいや楽しみをもつ」は少なくなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど「睡眠や休息をきちんととって、疲れをためないようにする」が増え、「心の健康に気をつける」は減っています。

図表 12 健康づくりや介護予防のために重要と思うこと（複数回答）



年齢別



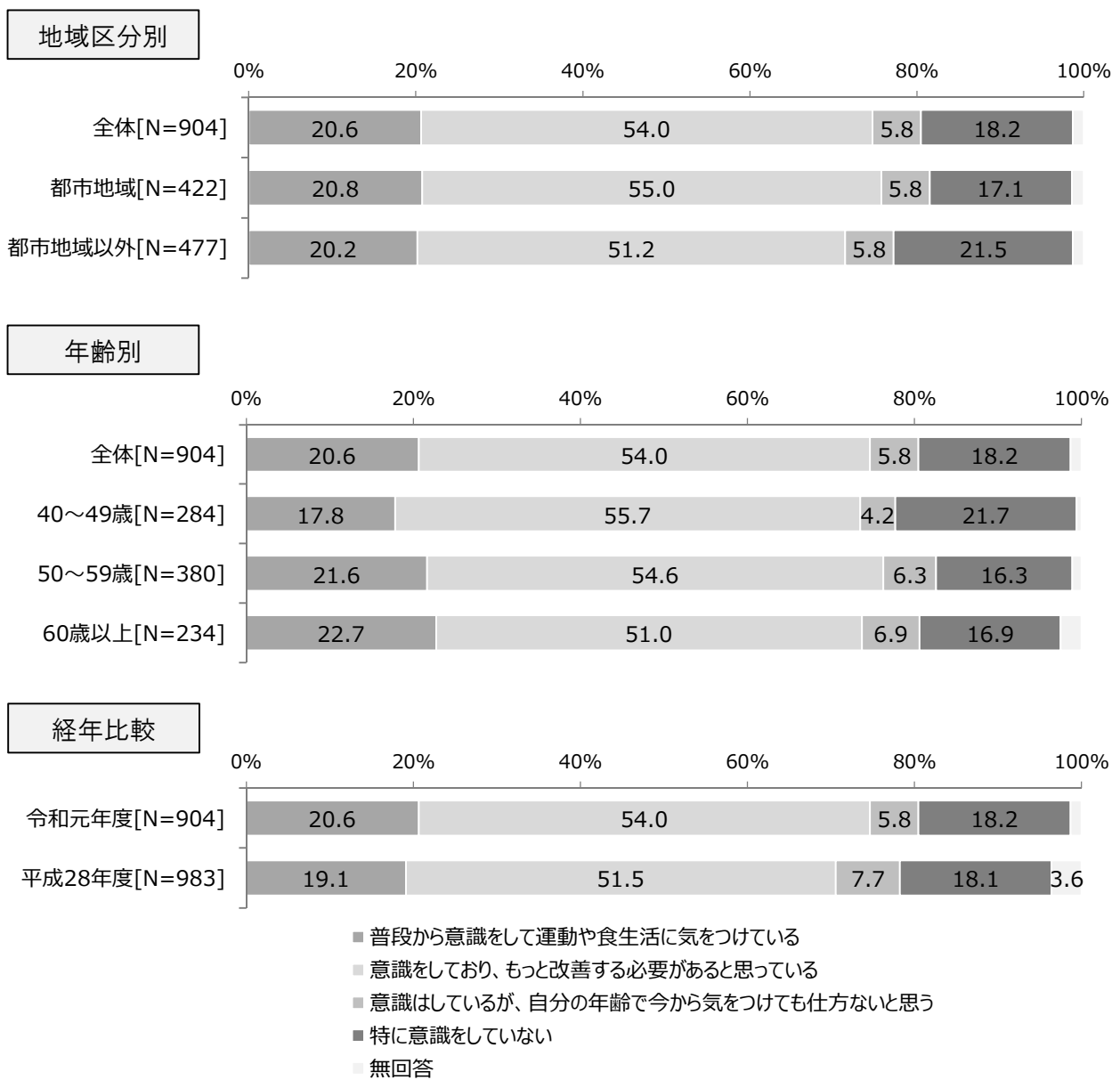
#### ④健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

問12 あなたは、健康づくりや介護予防に関して、ご自身の日頃の生活習慣(ロコモ予防やメタボ予防など)をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣に思うことを聞いたところ、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が54.0%と多くなっています。「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」は20.6%、「特に意識をしていない」は18.2%となっています。

年齢別で見ると、40～49歳で、「特に意識をしていない」がやや多くなっています。

図表 13 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと



## (5) 高齢期の住宅の暮らし、住み替えなどについて

### ①外出方法

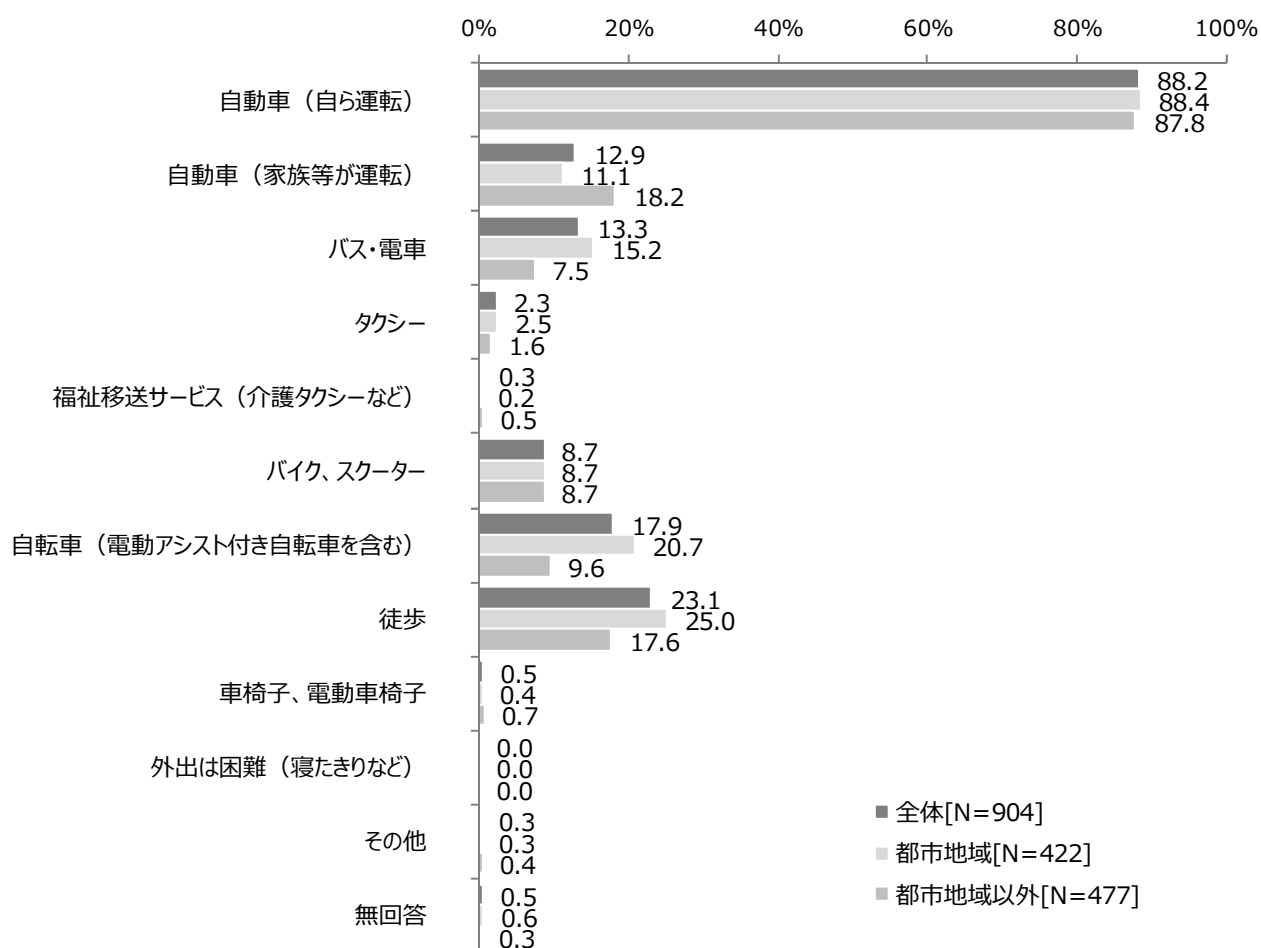
問13 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

外出方法について聞いたところ、「自動車（自ら運転）」が88.2%と多くなっています。その他、「徒歩」が23.1%、「自転車（電動アシスト付き自転車を含む）」が17.9%等となっています。

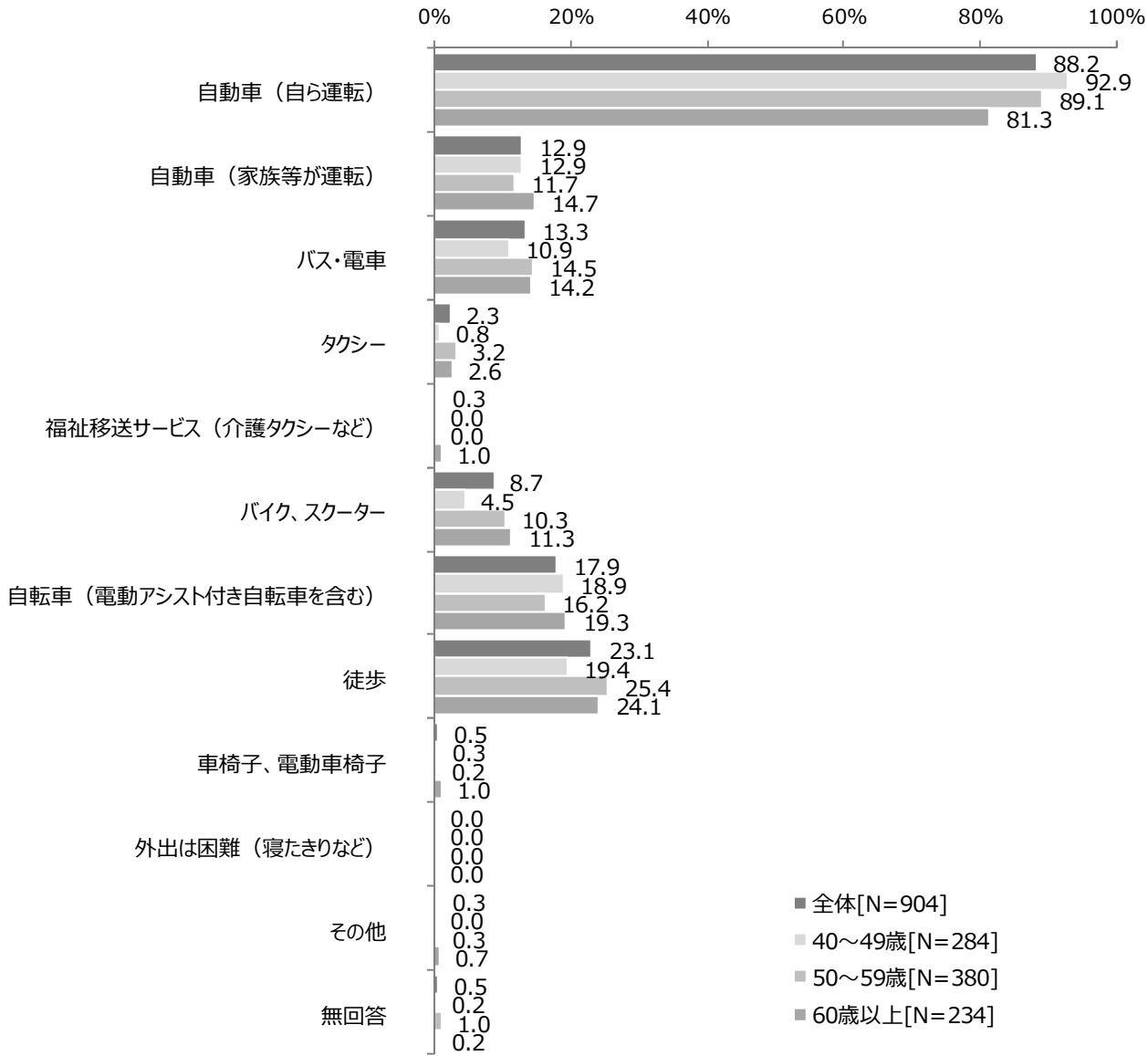
地域区分別で見ると、都市地域では「バス・電車」「自転車（電動アシスト付き自転車を含む）」「徒歩」、都市地域以外では「自動車（家族等が運転）」が多くなっています。

図表 14 外出方法（複数回答）

地域区分別



年齢別

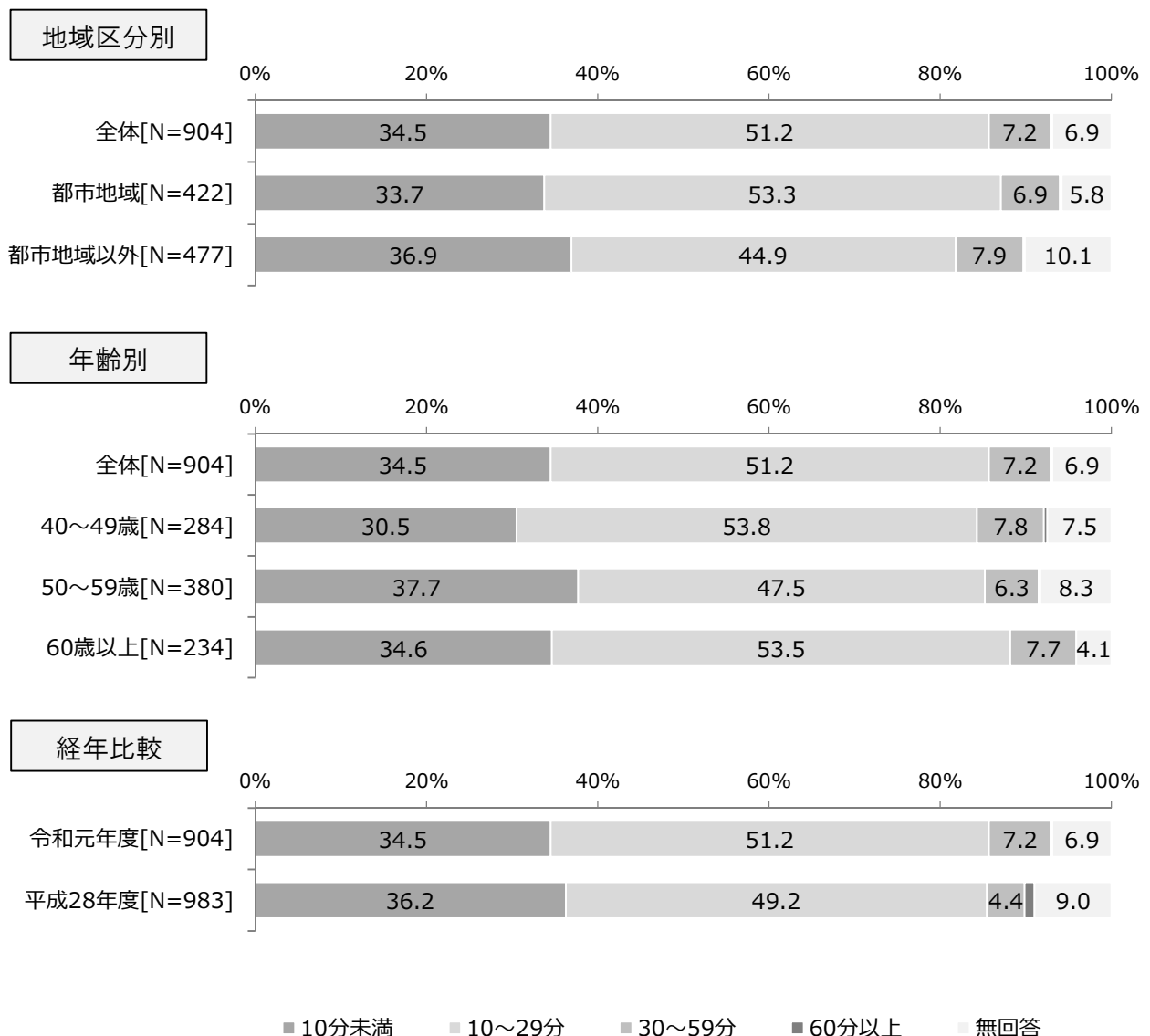


## ②最寄りの駅等までの所要時間

問14 あなたは、電車やバスなど公共交通機関を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。

最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかるかを聞いたところ、「10～29分」が51.2%と最も多く、「10分未満」は34.5%となっています。

図表 15 最寄りの駅等までの所要時間

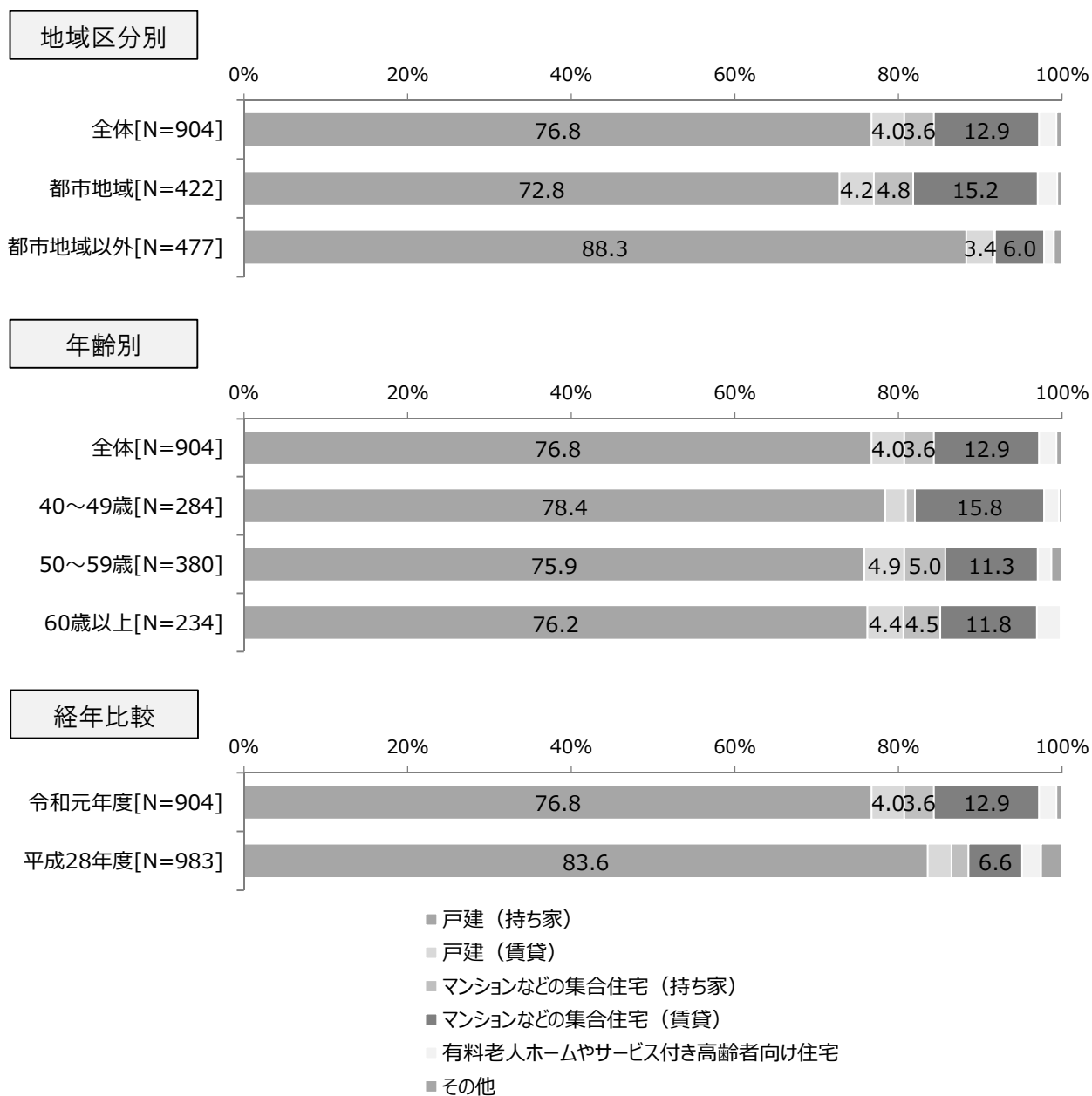


### ③現在の住まいの種類

問15 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

現在の住まいの種類としては、「戸建（持ち家）」が76.8%と多くなっています。  
地域区分別に見ると、都市地域以外では「戸建（持ち家）」が88.3%に上ります。

図表 16 現在の住まいの種類

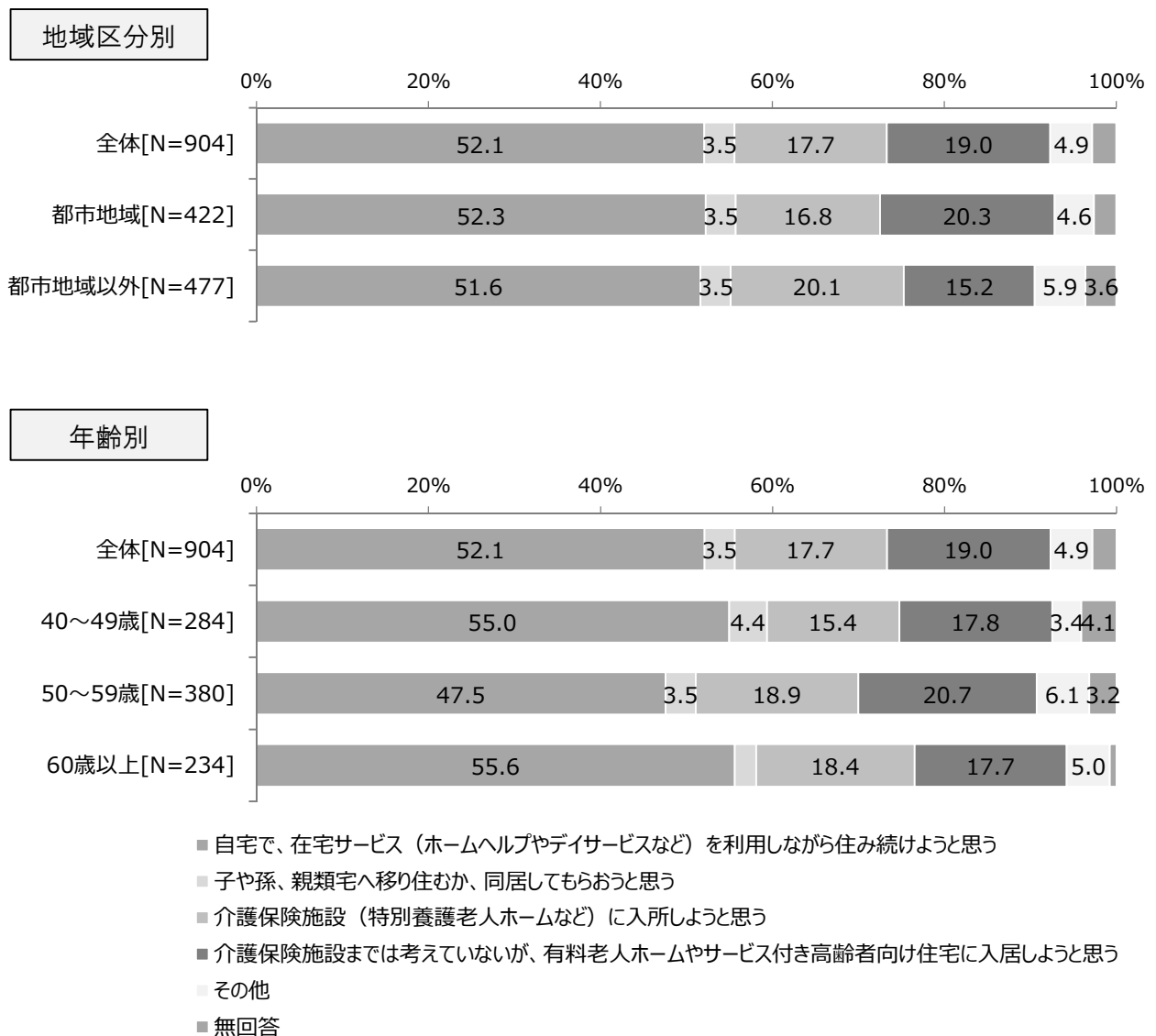


#### ④介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向

問16 あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。（そう思うもの1つに○）

介護が必要になった場合の住み替え意向について聞いたところ、「自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」が52.1%と多くなっています。「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う」は17.7%、「介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う」は19.0%となっています。

図表 17 介護サービスが付いている住宅・施設等への住み替え意向





## ⑤ 住み替えで重視すること

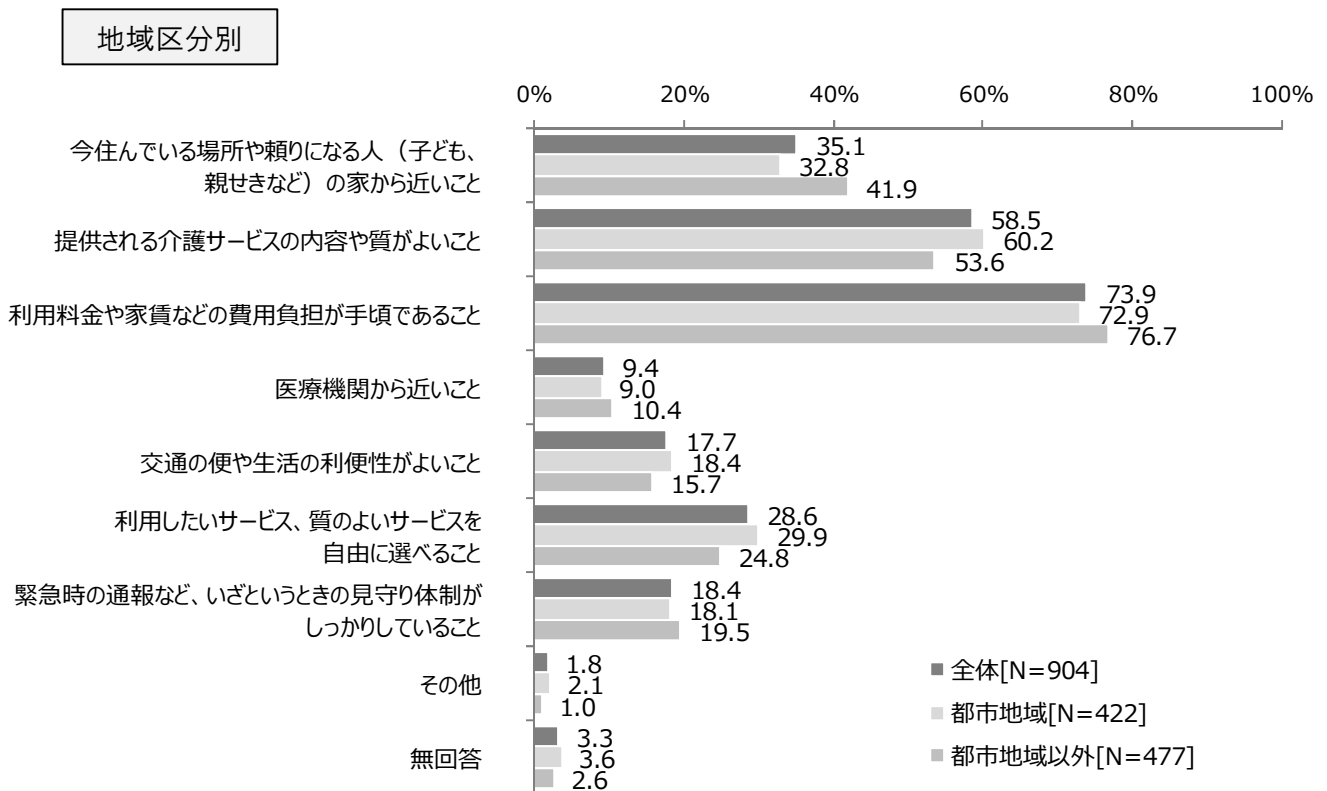
問17 もし、介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか(重視する項目3つ以内に○)

住み替えで重視することを聞いたところ、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」が73.9%と最も多く、次いで、「提供される介護サービスの内容や質がよいこと」が58.5%、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が35.1%、「利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること」が28.6%と続いています。

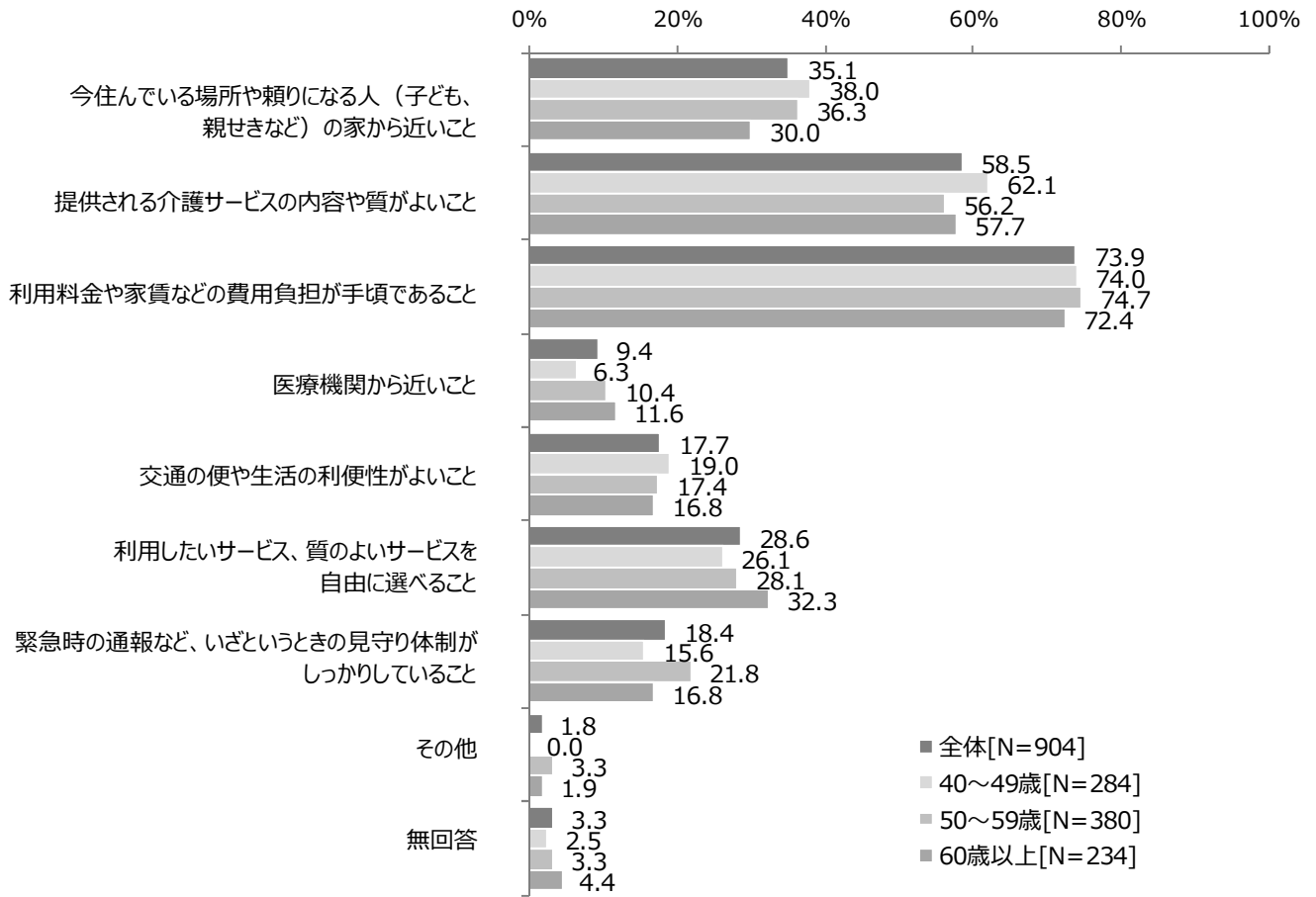
地域区別では、都市地域以外で「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が多くなっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれ、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」がやや少なくなり、「利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること」はやや多くなっています。

図表 18 住み替えで重視すること（3つまで○）



年齢別



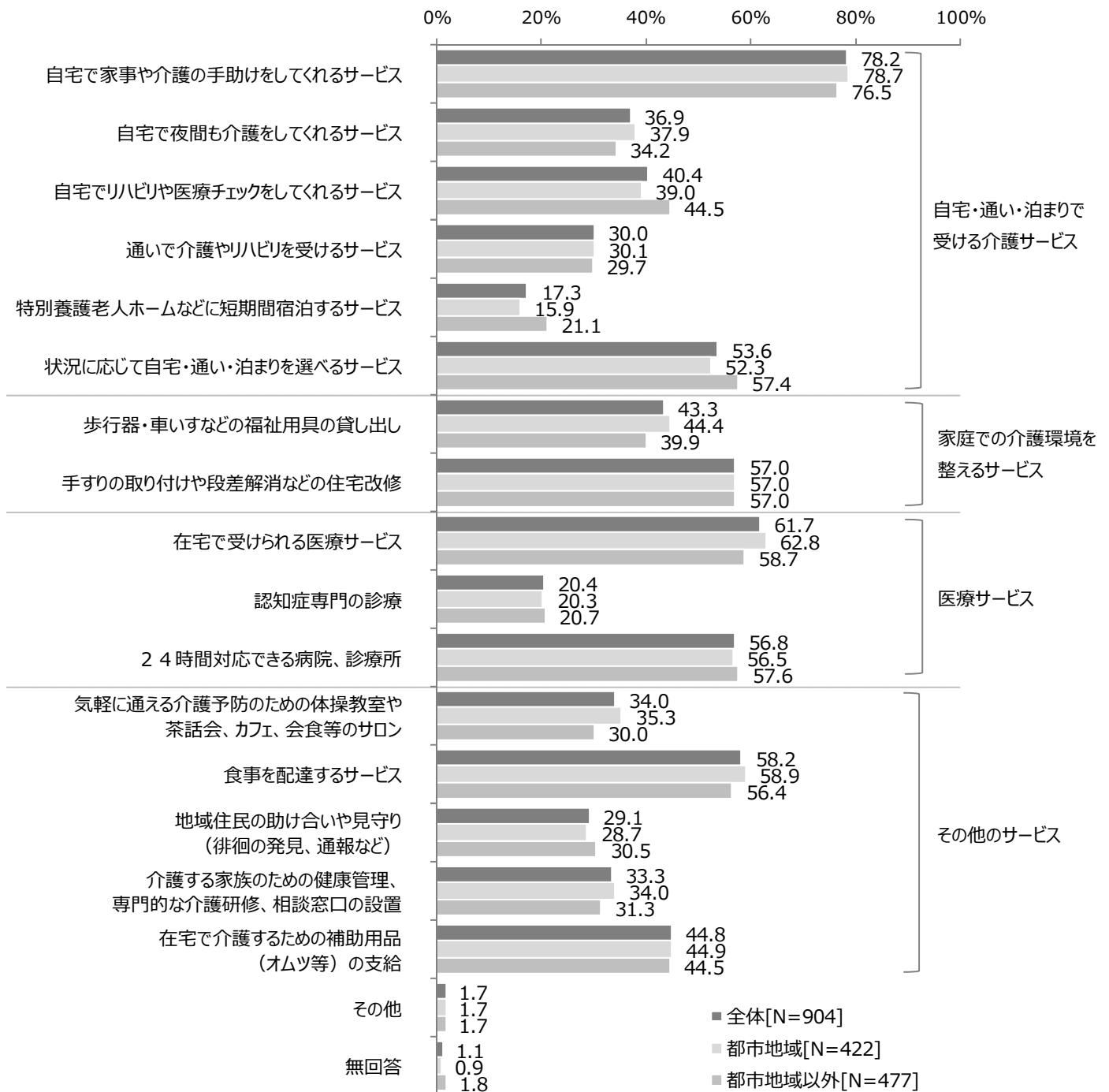
## ⑥介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス

問18 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

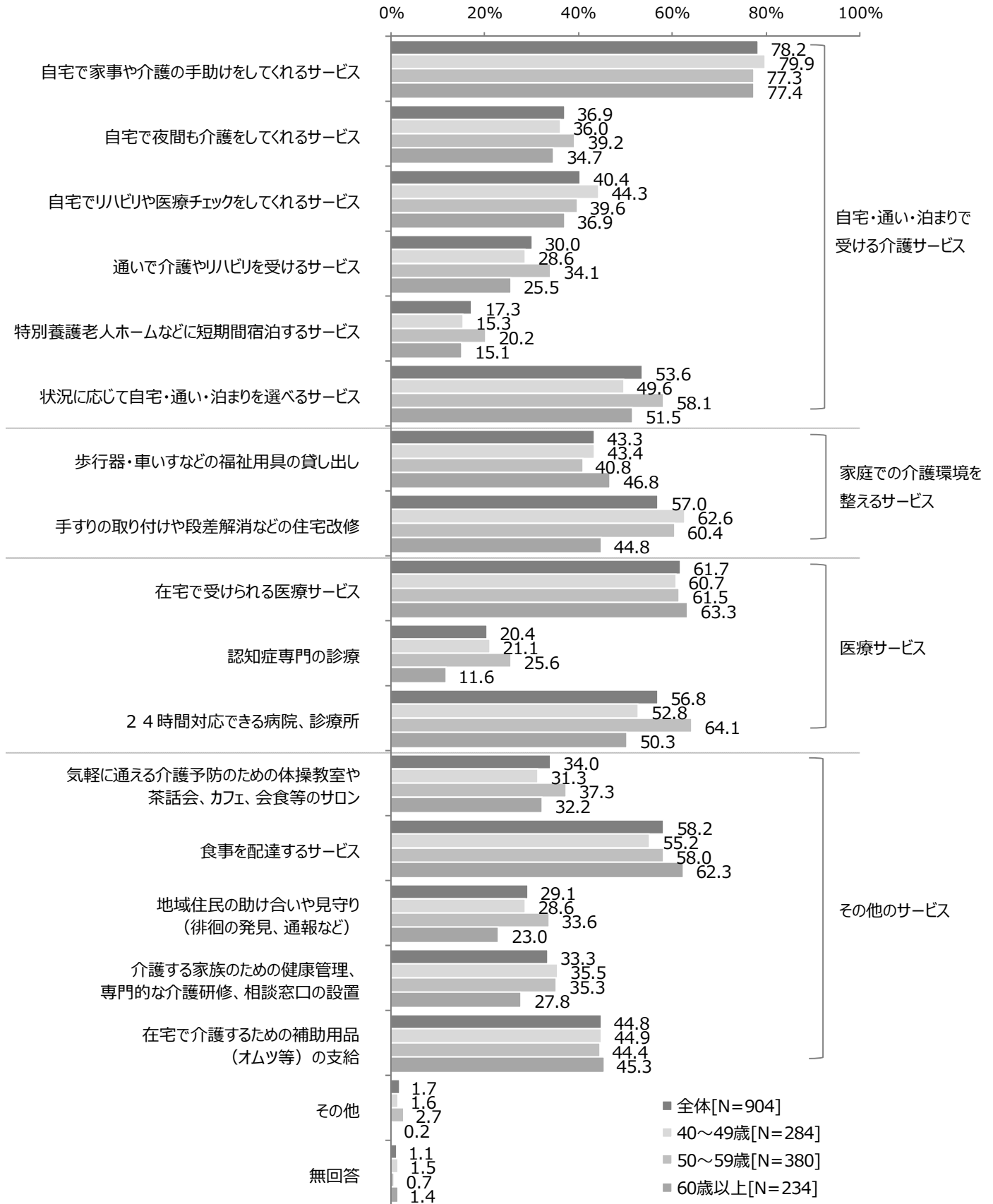
介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービスを聞いたところ、「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が78.2%と最も多く、次いで、「在宅で受けられる医療サービス」が61.7%、「食事を配達するサービス」が58.2%、「手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修」が57.0%、「24時間対応できる病院、診療所」が56.8%と続いています。

図表 19 介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス（複数回答）

地域区分別



年齢別



## (6) 自宅での看取りの考え方など

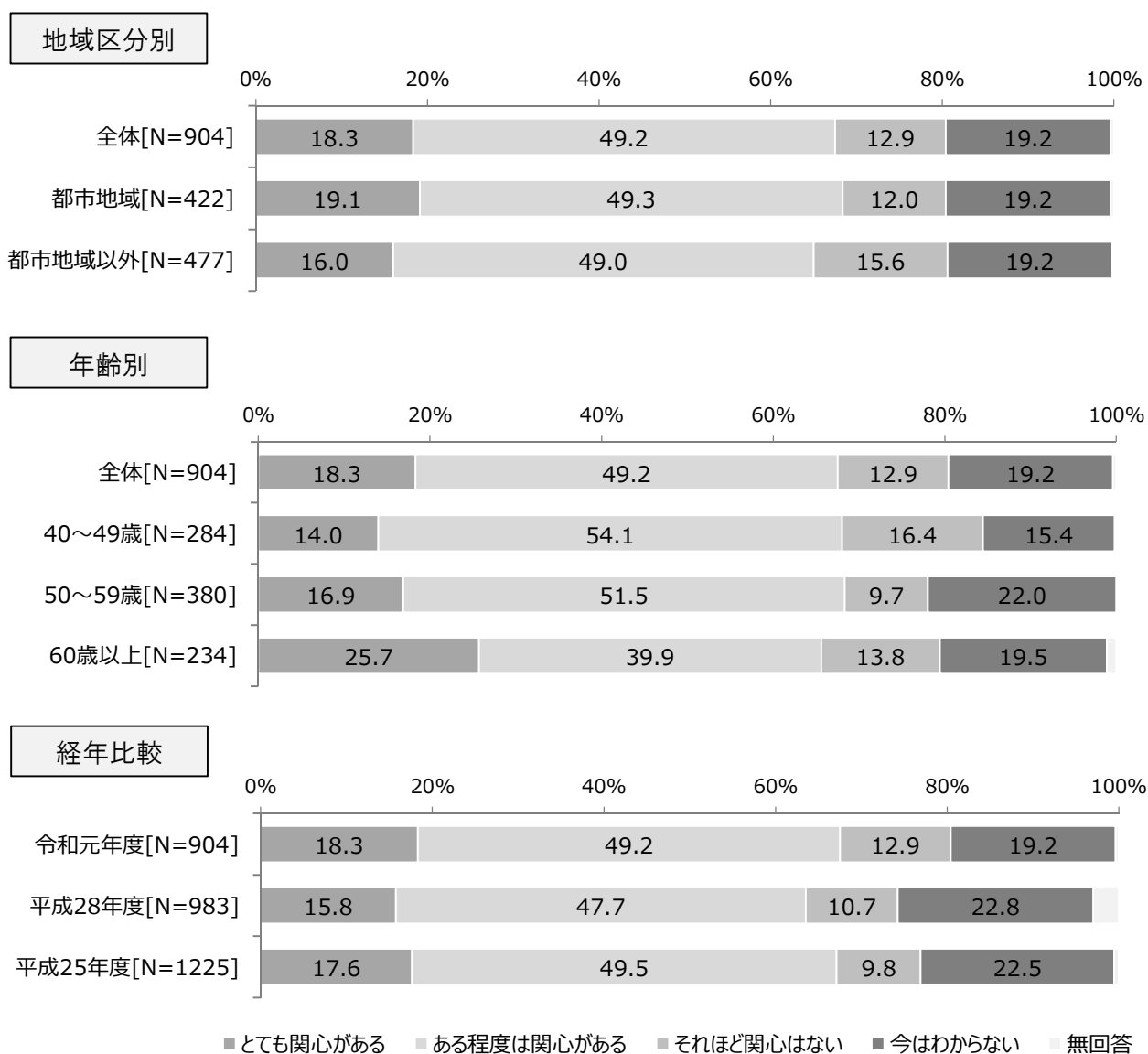
### ①延命治療等への関心

問19 現在、わが国では、多くの方が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

延命治療等への関心について聞いたところ、「ある程度は関心がある」が49.2%、「とても関心がある」が18.3%で、合わせると7割近い人が関心を持っています。「それほど関心はない」は12.9%、「今はわからない」は19.2%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「とても関心がある」という人が増えています。

図表 20 延命治療等への関心

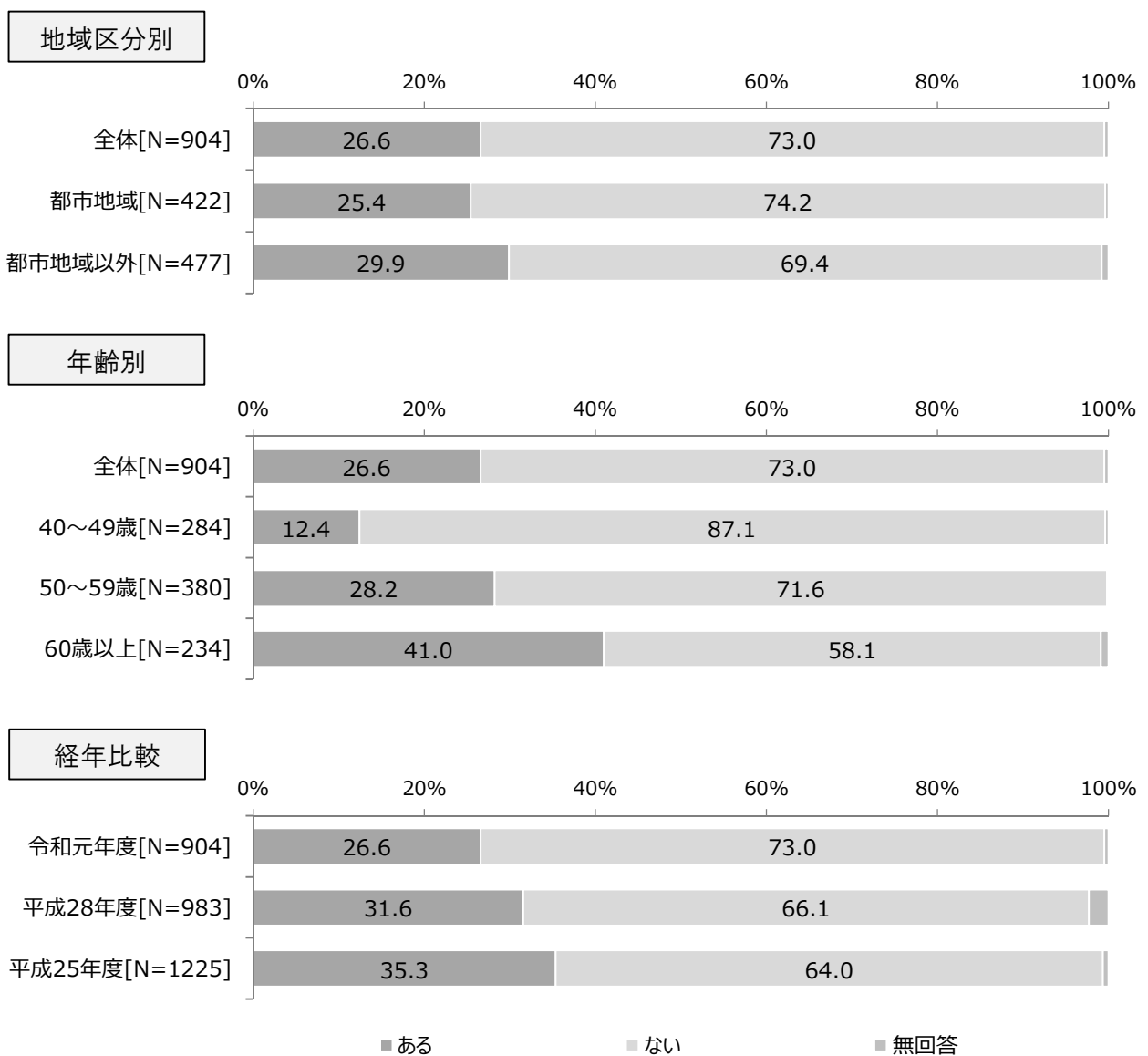


## ② 自宅で家族を看取った経験の有無

問20 あなたは、自宅(または親の自宅等)で、家族を看取った経験がありますか。(いずれか1つに○)

自宅で家族を看取った経験の有無について聞いたところ、「ない」が73.0%、「ある」が26.6%となっています。  
 年齢別では、年齢が上がるにつれて、「ある」という人が増えています。  
 経年比較では、前回調査と比べて、「ある」という人がやや減っています。

図表 21 自宅で家族を看取った経験の有無



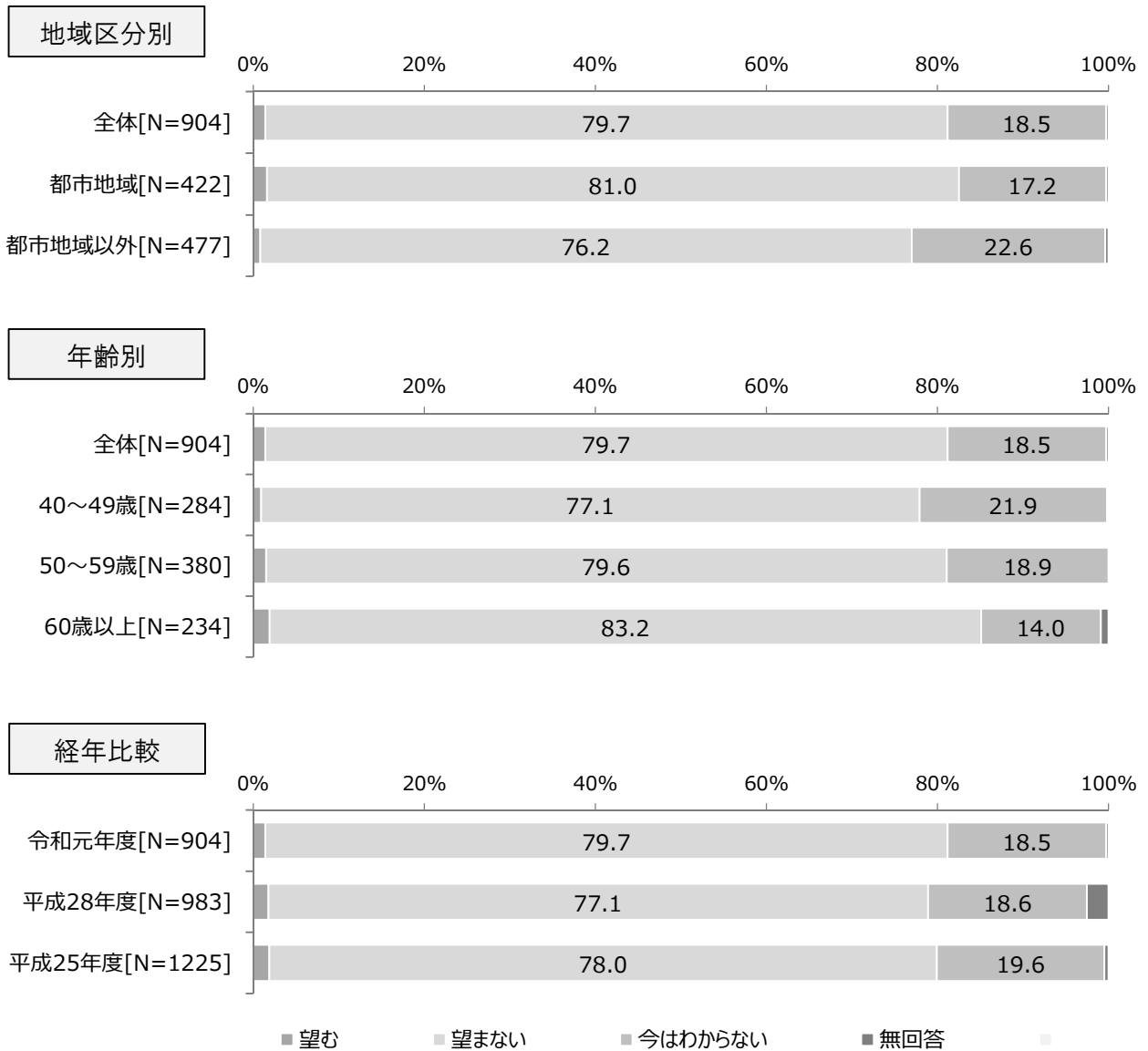
### ③延命治療の希望

問21 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

延命治療の希望については、「望まない」が79.7%、「今はわからない」が18.5%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「望まない」という人が少しずつ増えています

図表 22 延命治療の希望



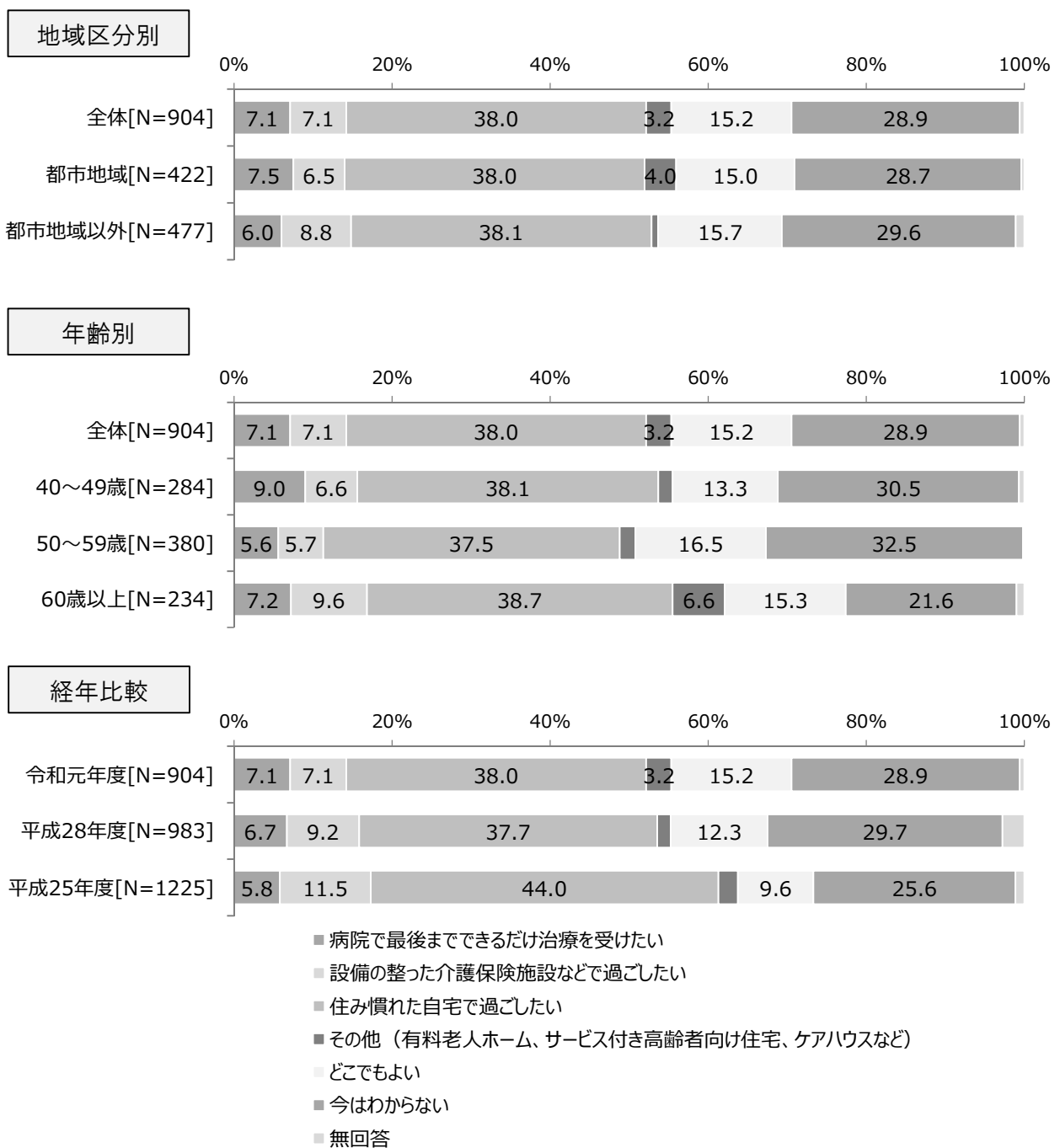
#### ④最期を過ごしたい場所

問22 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思われますか。(最も近いもの1つに○)

自分が最期を過ごしたい場所について聞いたところ、「住み慣れた自宅で過ごしたい」が38.0%、「今はわからない」が28.9%、「どこでもよい」が15.2%等となっています。

年齢別で見ると、60歳以上で、「設備の整った介護保険施設などで過ごしたい」という人がやや多くなっています。

図表 23 最期を過ごしたい場所





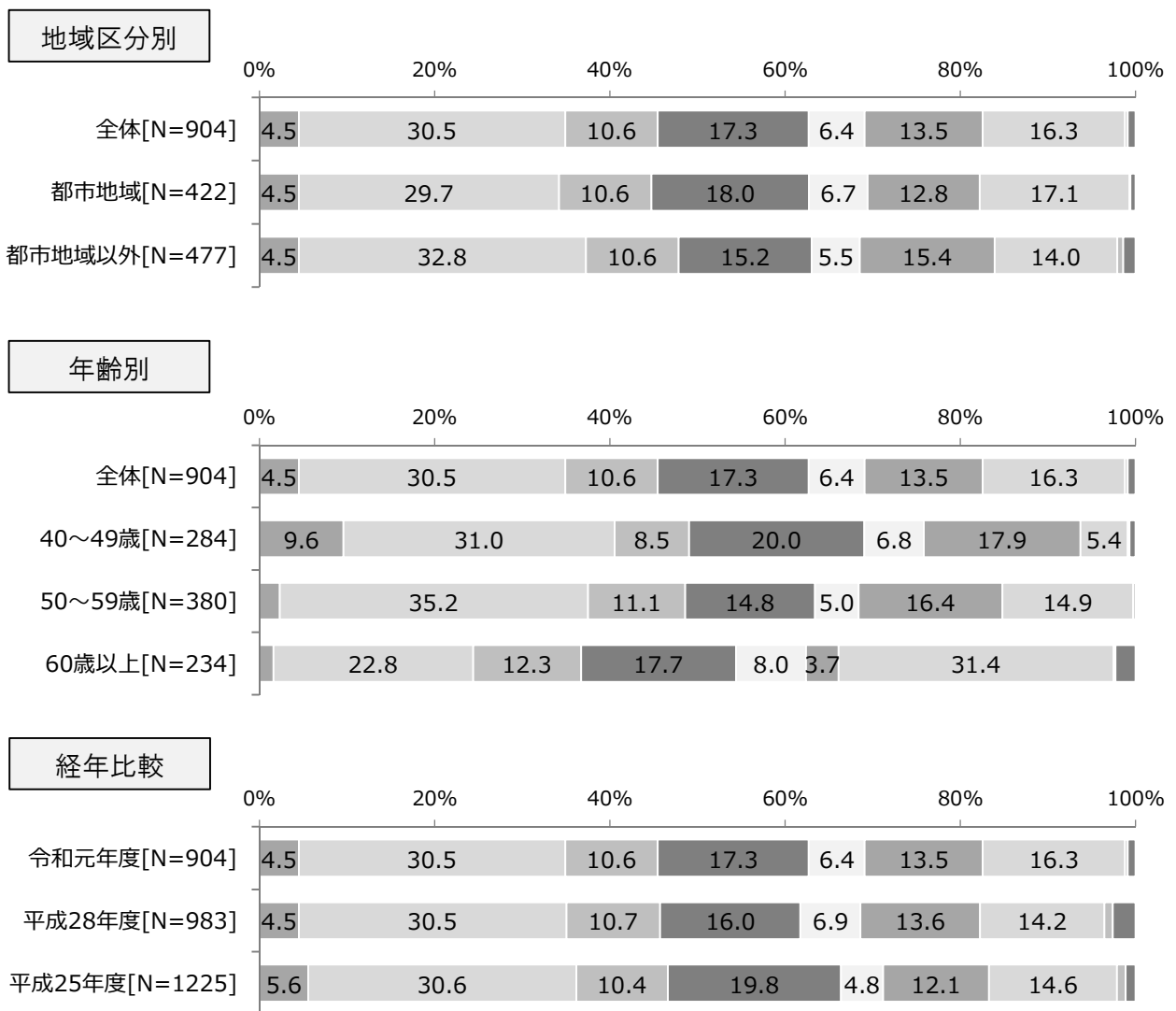
## ⑤親の看取りの希望

問23 もしも、あなたの親に死期が迫っており、本人の意思確認が難しい状態になったら、あなたはどのように看取りたいと思いますか。(最も近いもの1つに○)

親の看取りに関する希望を聞いたところ、「延命治療は望まないが、病院でできる限りの治療を受けさせたい」が30.5%と最も多く、「延命治療はせず、本人の自宅等住み慣れた場所で過ごさせたい」が17.3%で次いでいます。「すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい」は6.4%となっています。

年齢別で見ると、40～49歳では「病院で、延命治療であったとしても、できる限りの治療を受けさせたい」という人がやや多くなっています。

図表 24 親の看取りの希望



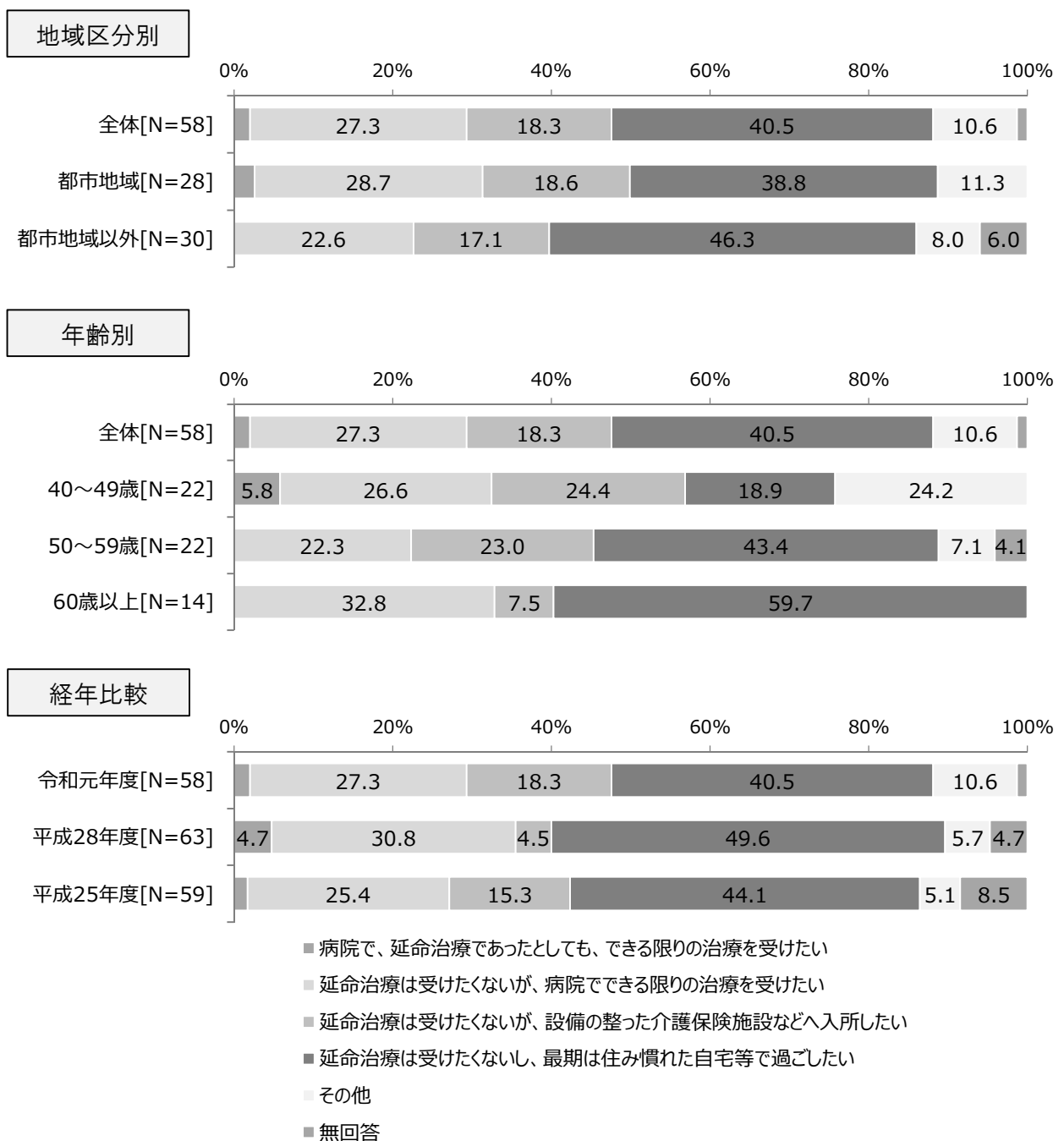
- 病院で、延命治療であったとしても、できる限りの治療を受けさせたい
- 延命治療は望まないが、病院でできる限りの治療を受けさせたい
- 延命治療は望まないが、設備の整った介護保険施設などで過ごさせたい
- 延命治療はせず、本人の自宅等住み慣れた場所で過ごさせたい
- すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい
- 今はわからない
- すでに親は亡くなっている
- その他
- 無回答

## ⑥終末期に関する親の意思

問24 前の問で「5. すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい」と答えた方におたずねします。それはどのような意思ですか。(最も近いもの1つに○)

看取りについて、親から意思を聞いていると回答した人に、その内容について聞いたところ、「延命治療は受けたくないし、最期は住み慣れた自宅等で過ごしたい」が40.5%、「延命治療は受けたくないが、病院でできる限りの治療を受けたい」が27.3%等となっています。

図表 25 終末期に関する親の意思



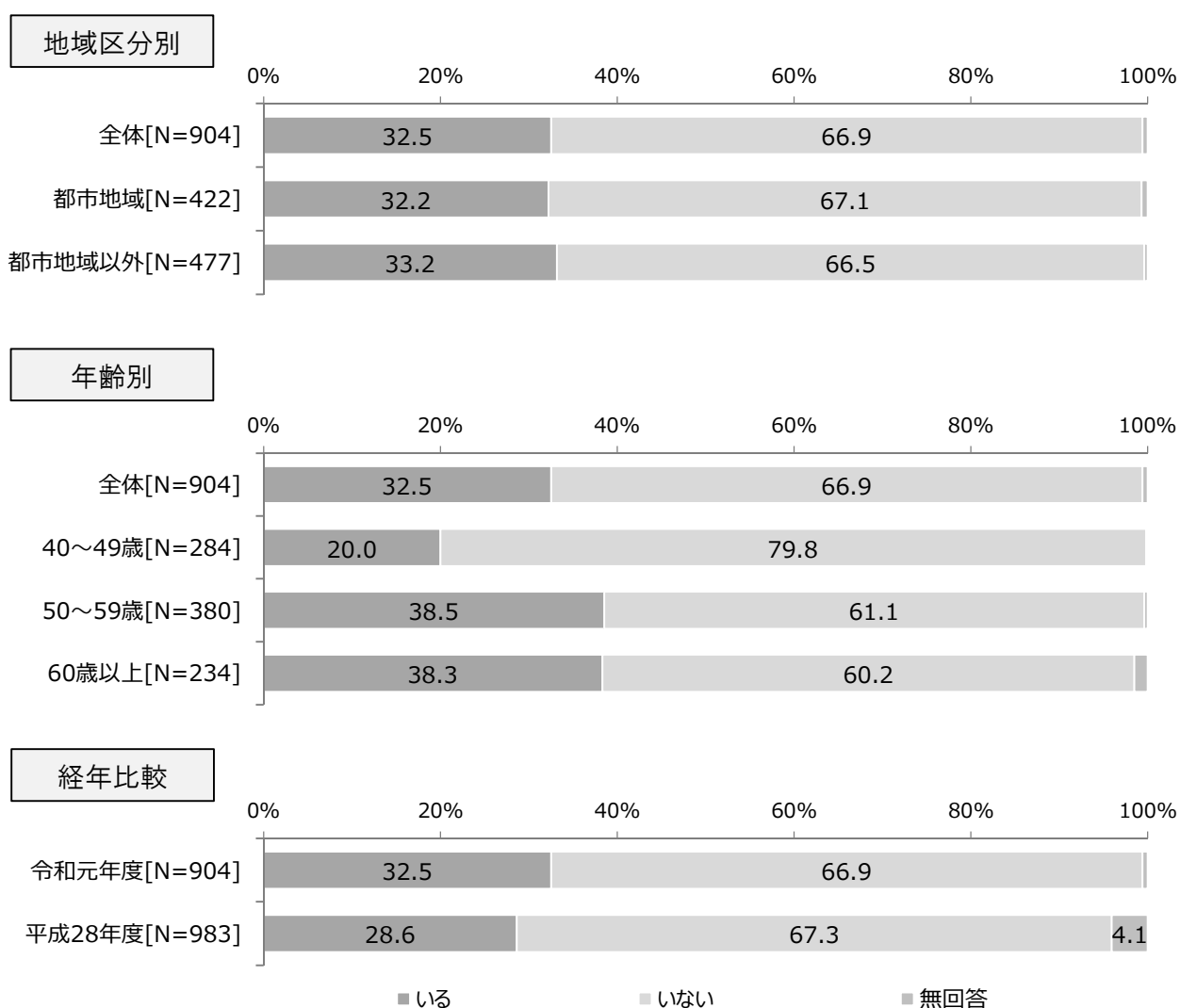
## (7) 家族介護の状況などについて

### ①介護が必要な家族の有無

問25 あなたのご家族(別居の場合を含みます)で、介護が必要な方(要支援・要介護の認定を受けている方)はおられますか。(あてはまるものすべてに○)

介護が必要な家族の有無については、「いない」が66.9%、「いる」が32.5%となっています。  
年齢別で見ると、50歳以上で「いる」という人が38%台を占めるようになっていきます。

図表 26 介護が必要な家族の有無



## ②家族介護への関わり

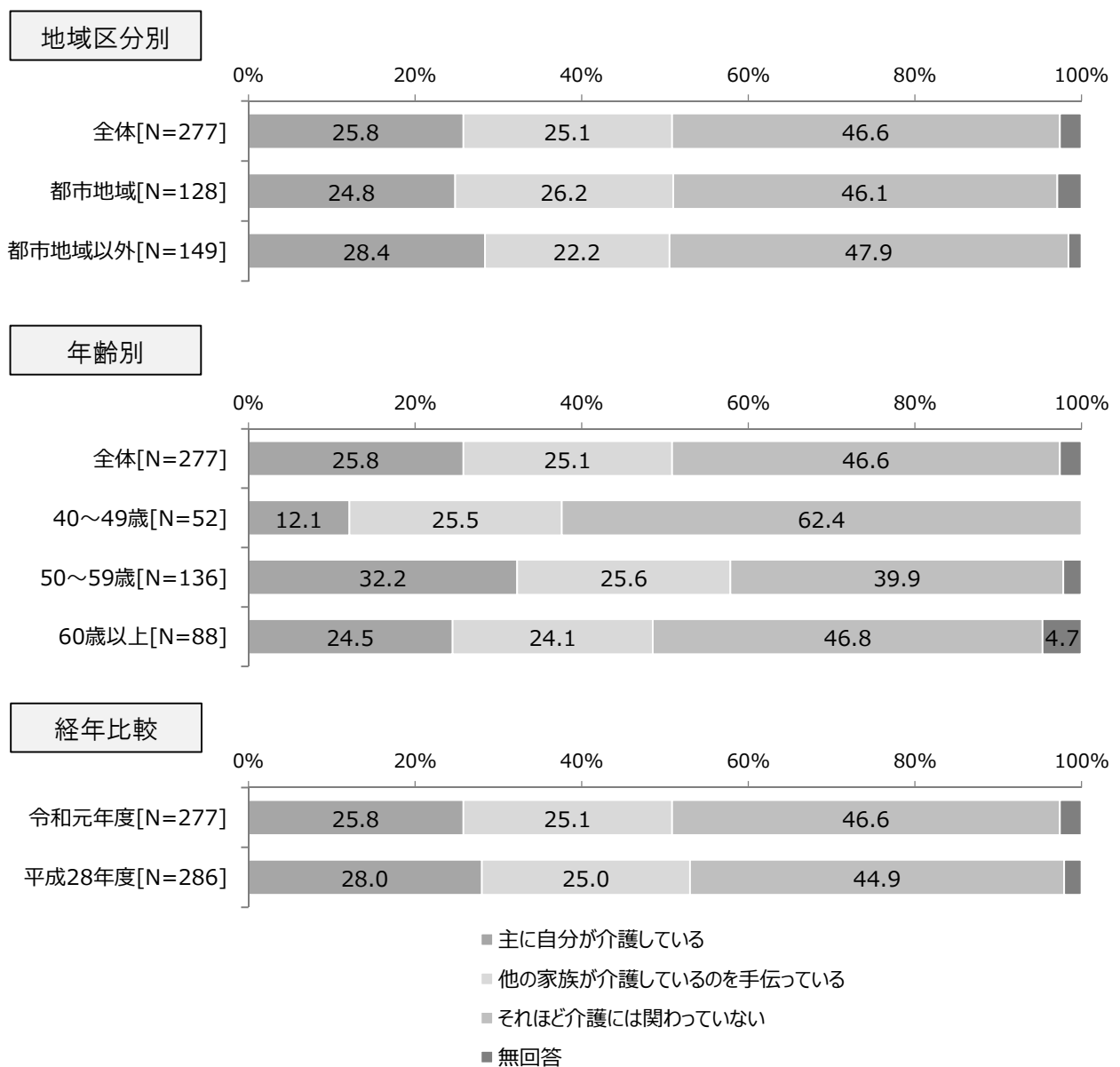
問26 「1. いる」と答えた方におたずねします。

(1)あなた自身は、その方の介護にどのように関わっていますか。(あてはまるもの1つに○)

介護が必要な家族のいる人に、家族介護への関わりについて聞いたところ、「それほど介護には関わっていない」が46.6%と最も多くなっています。「主に自分が介護している」は25.8%、「他の家族が介護しているのを手伝っている」は25.1%となっています。

年齢別で見ると、50～59歳で「主に自分が介護している」という人が多くなっています。

図表 27 家族介護への関わり



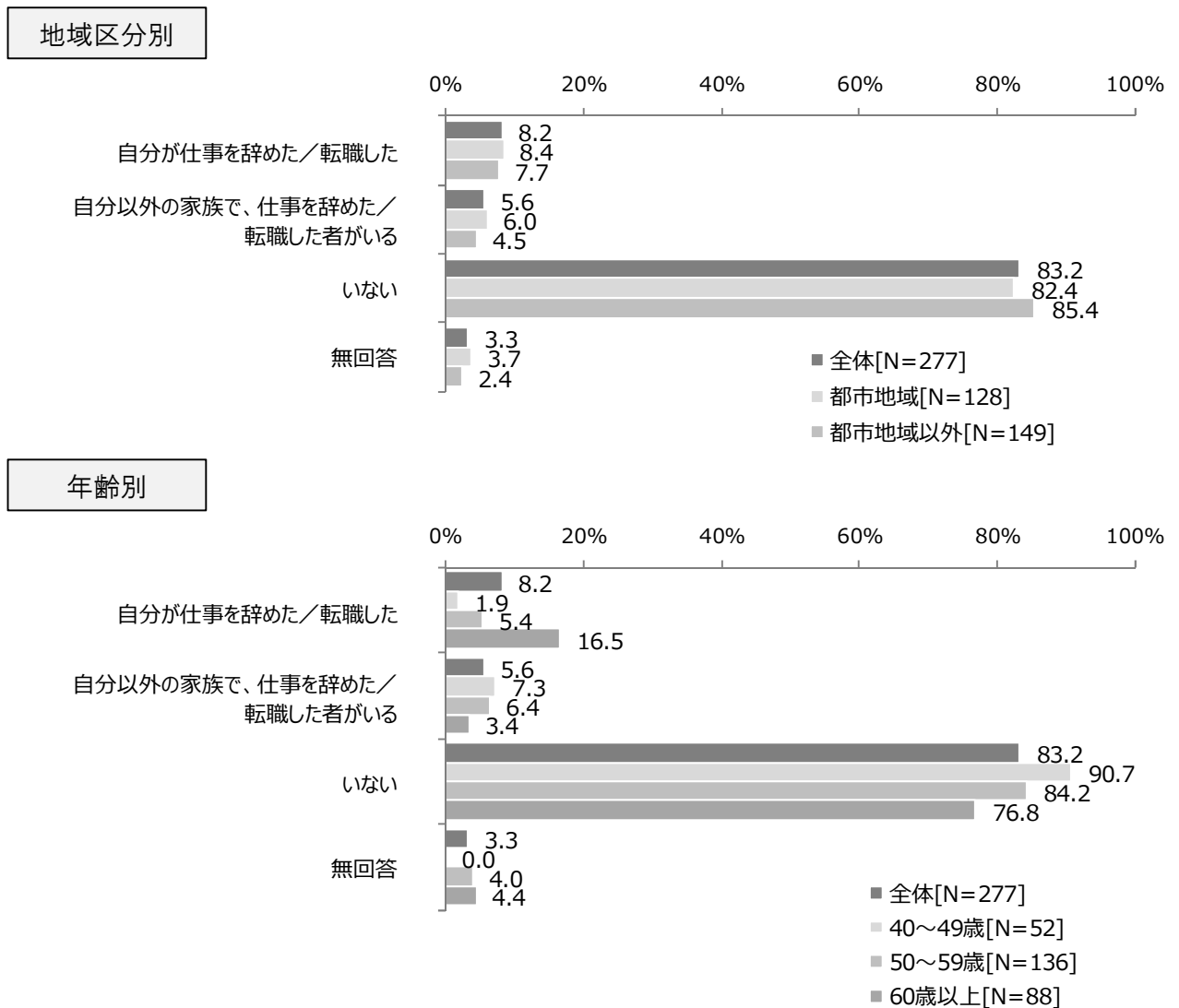
### ③介護辞職等の状況

(2)ご家族の中で、その方の介護のために仕事を辞めたり転職された方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

介護が必要な家族のいる人に、家族の中で介護辞職等をした人がいるかどうかを聞いたところ、「自分が仕事を辞めた／転職した」は8.2%、「自分以外の家族で、仕事を辞めた／転職した者がいる」は5.6%となっています。

年齢別で見ると、60歳以上で、「自分が仕事を辞めた／転職した」という人が比較的多く見られます。

図表 28 介護辞職等の状況（複数回答）



#### ④介護で困っていることなど

(3)介護で困っていること、感じることなどがありましたらお答えください。(あてはまるものすべてに○)

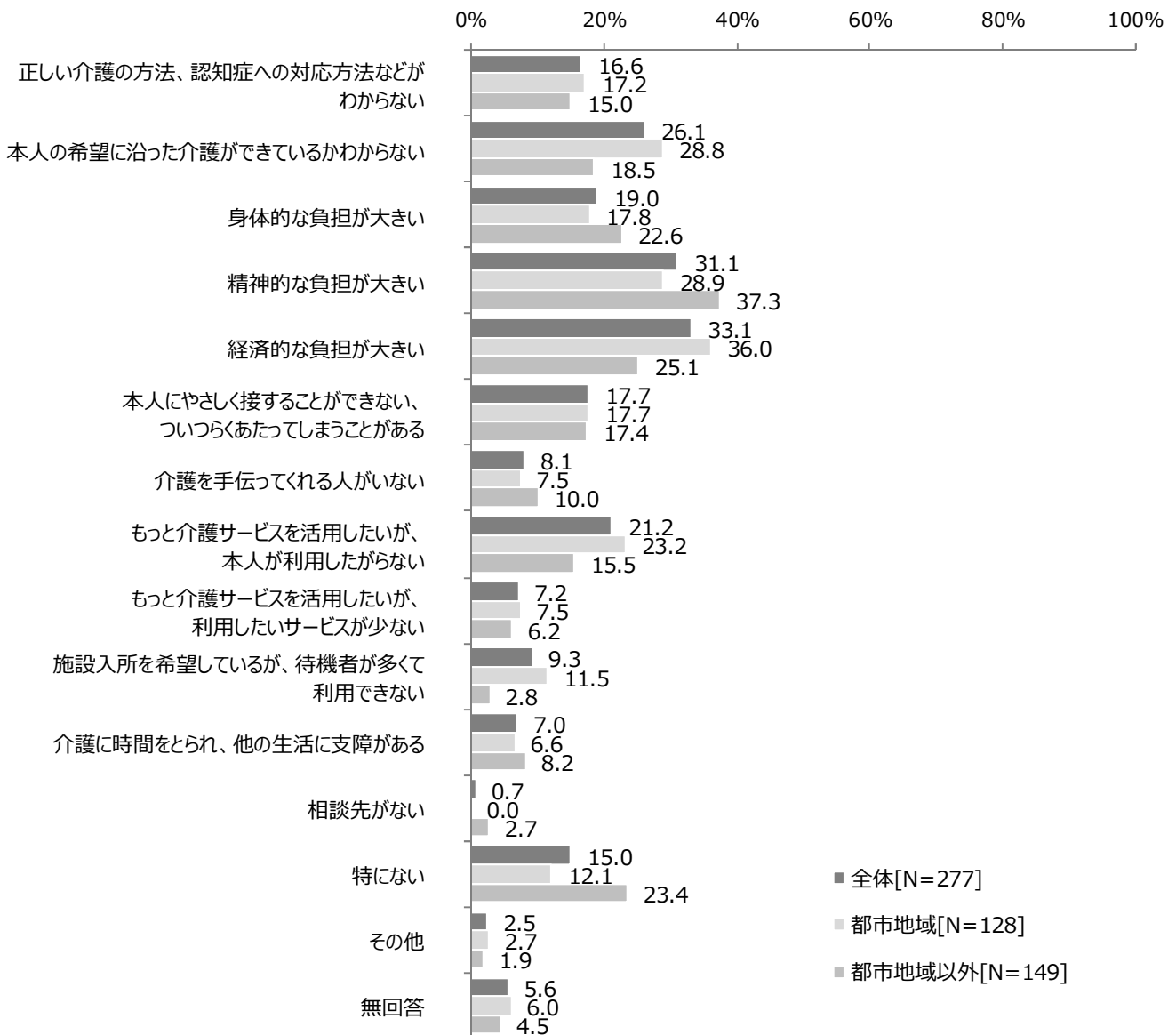
介護が必要な家族のいる人に、介護で困っていることなどについて聞いたところ、「経済的な負担が大きい」が33.1%と最も多く、次いで、「精神的な負担が大きい」が31.1%となっています。

地域区分別では、都市地域で「本人の希望に沿った介護ができていない」「経済的な負担が大きい」が多くなっています。

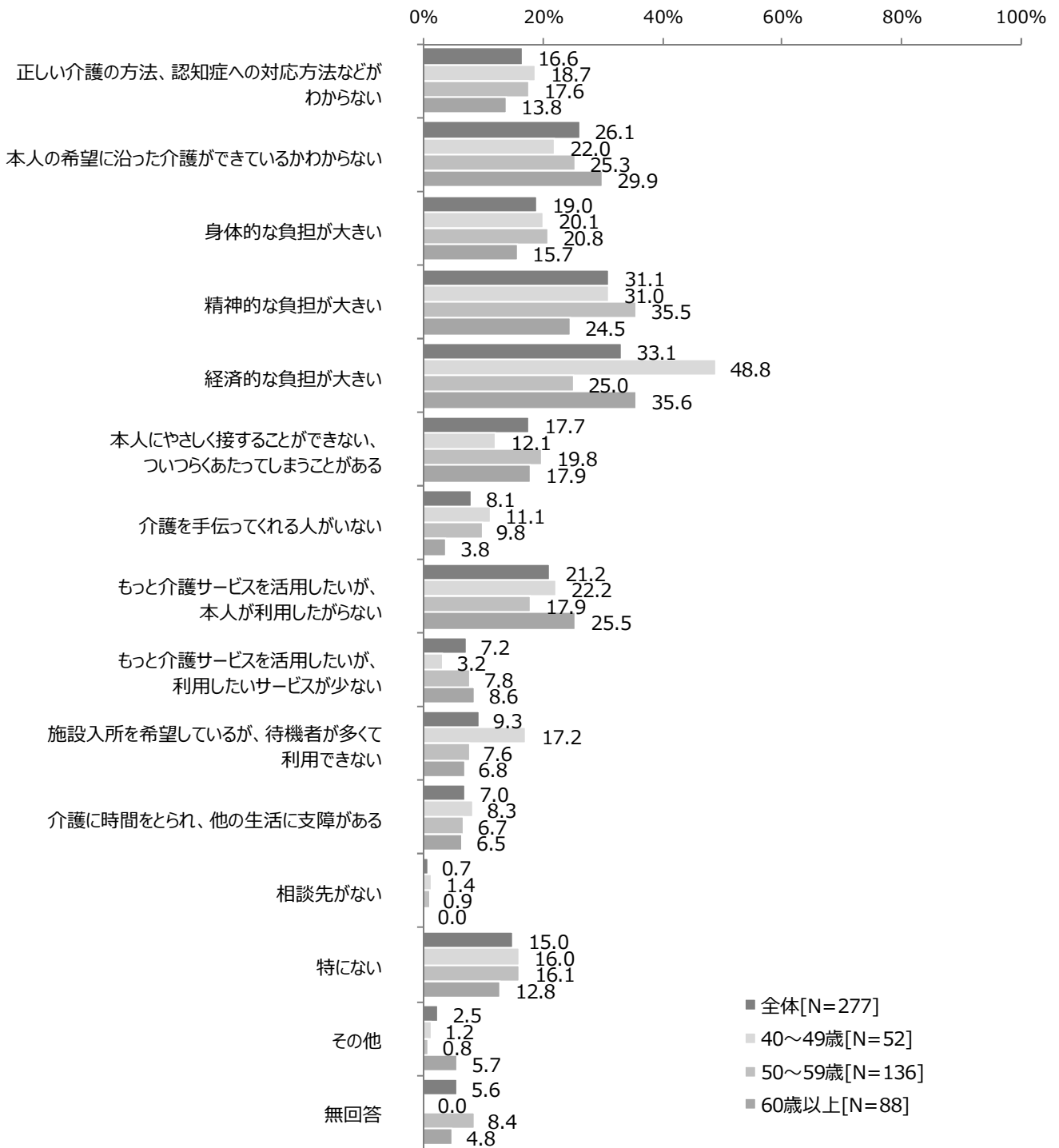
年齢別では、40～49歳で「経済的な負担が大きい」が多くなっています。

図表 29 介護で困っていることなど（複数回答）

地域区分別



年齢別



## (8) 高齢者の生活支援や介護の仕事について

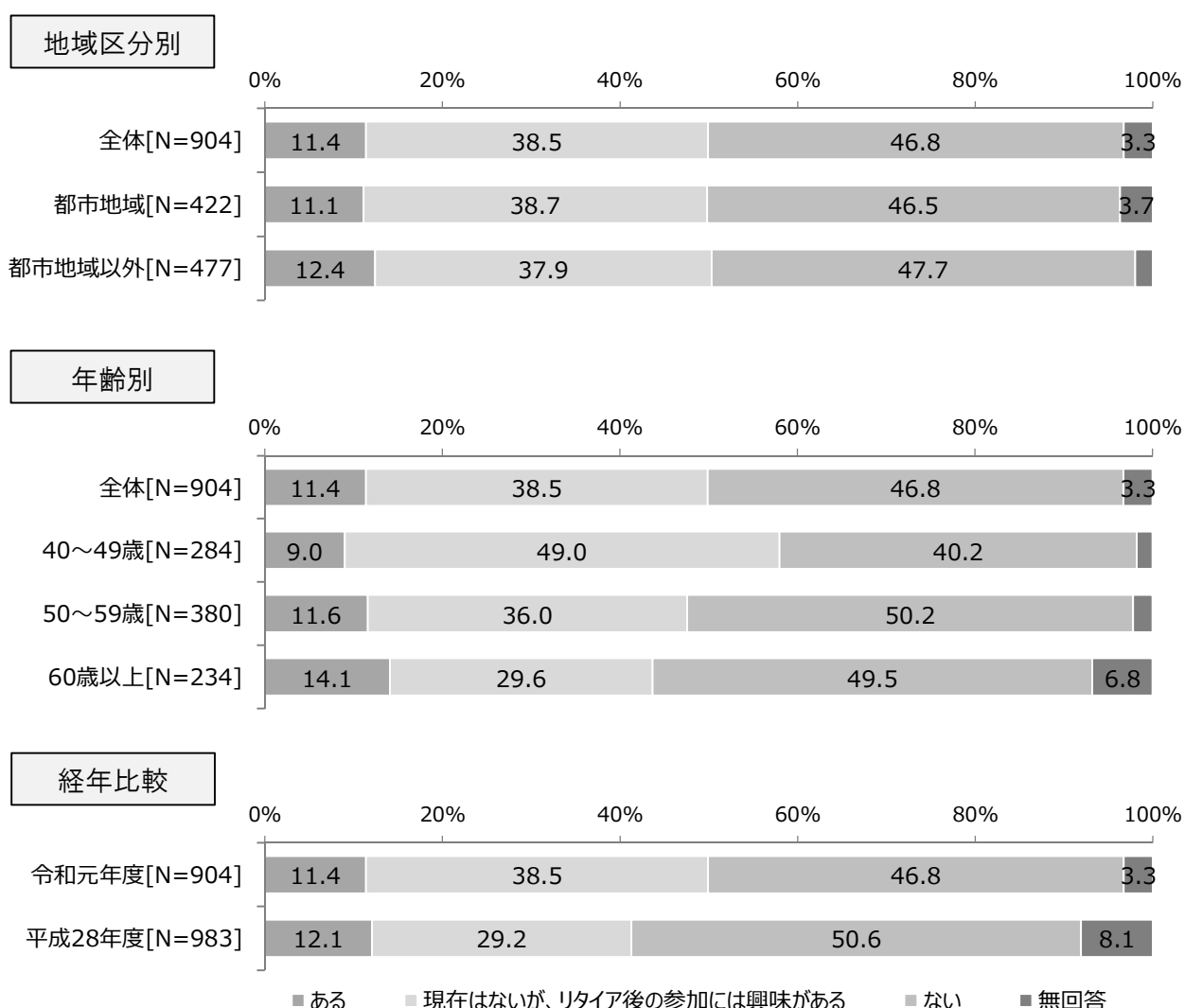
### ① 高齢者の生活支援事業参加への興味

問27 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者の生活支援事業に参加することについて興味があるかどうかを聞いたところ、「ない」が46.8%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が38.5%、「ある」が11.4%となっています。

経年比較では、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」という人が増えています。

図表 30 高齢者の生活支援事業参加への興味





## ②高齢者支援事業への参加の仕方の希望

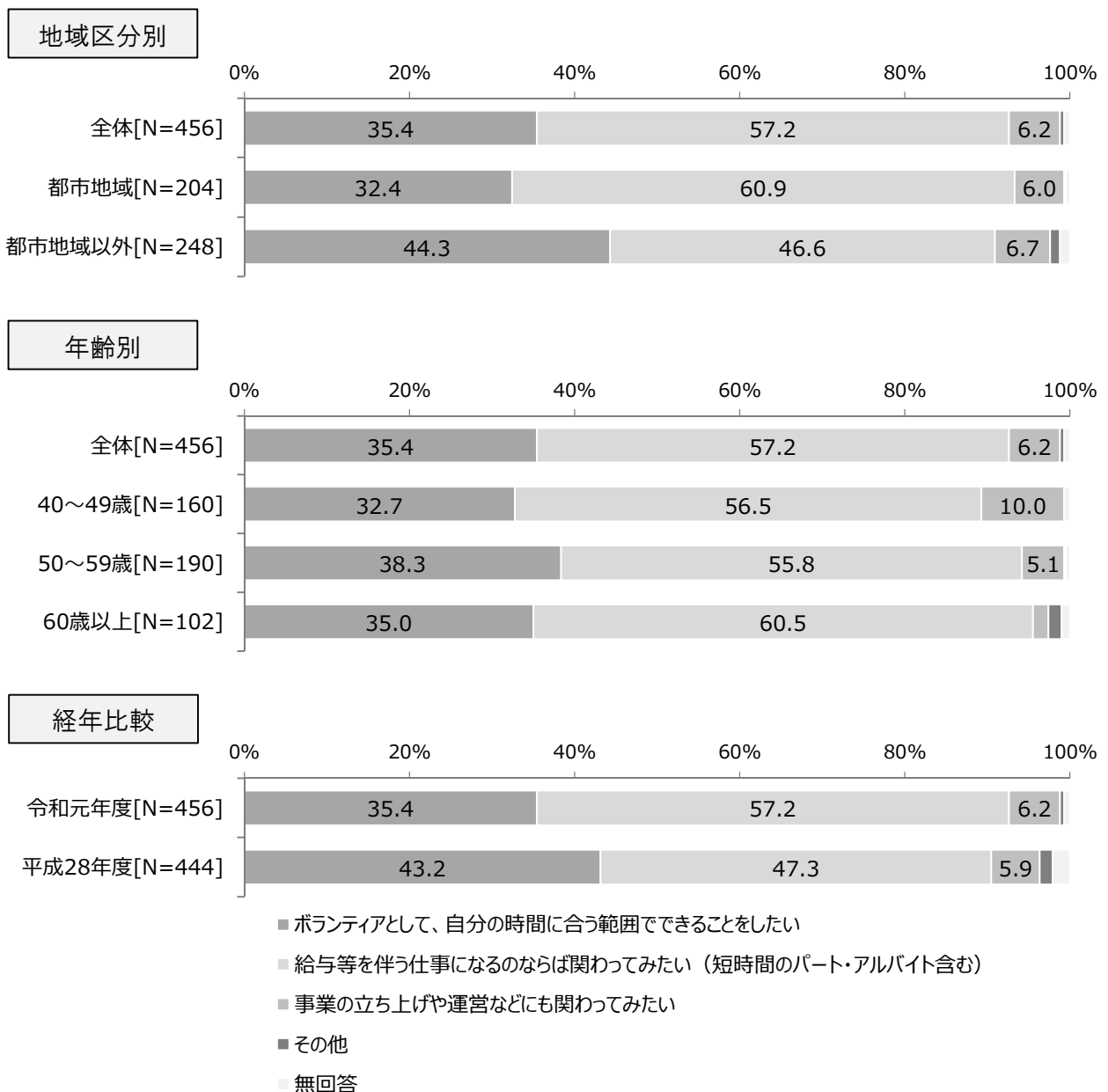
問28 前の問で「1. ある」「2. 現在は無いが、リタイア後の参加には興味がある」と答えた方におたずねします。参加する際には、どのような参加の仕方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者支援事業への参加に興味があると回答した人に、その参加の仕方の希望を聞いたところ、「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」が57.2%、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が35.4%となっています。

地域区別で見ると、都市地域では「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」、都市地域以外では「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が多くなっています。

経年比較で見ると、「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」が増えています。

図表 31 高齢者支援事業への参加の仕方の希望



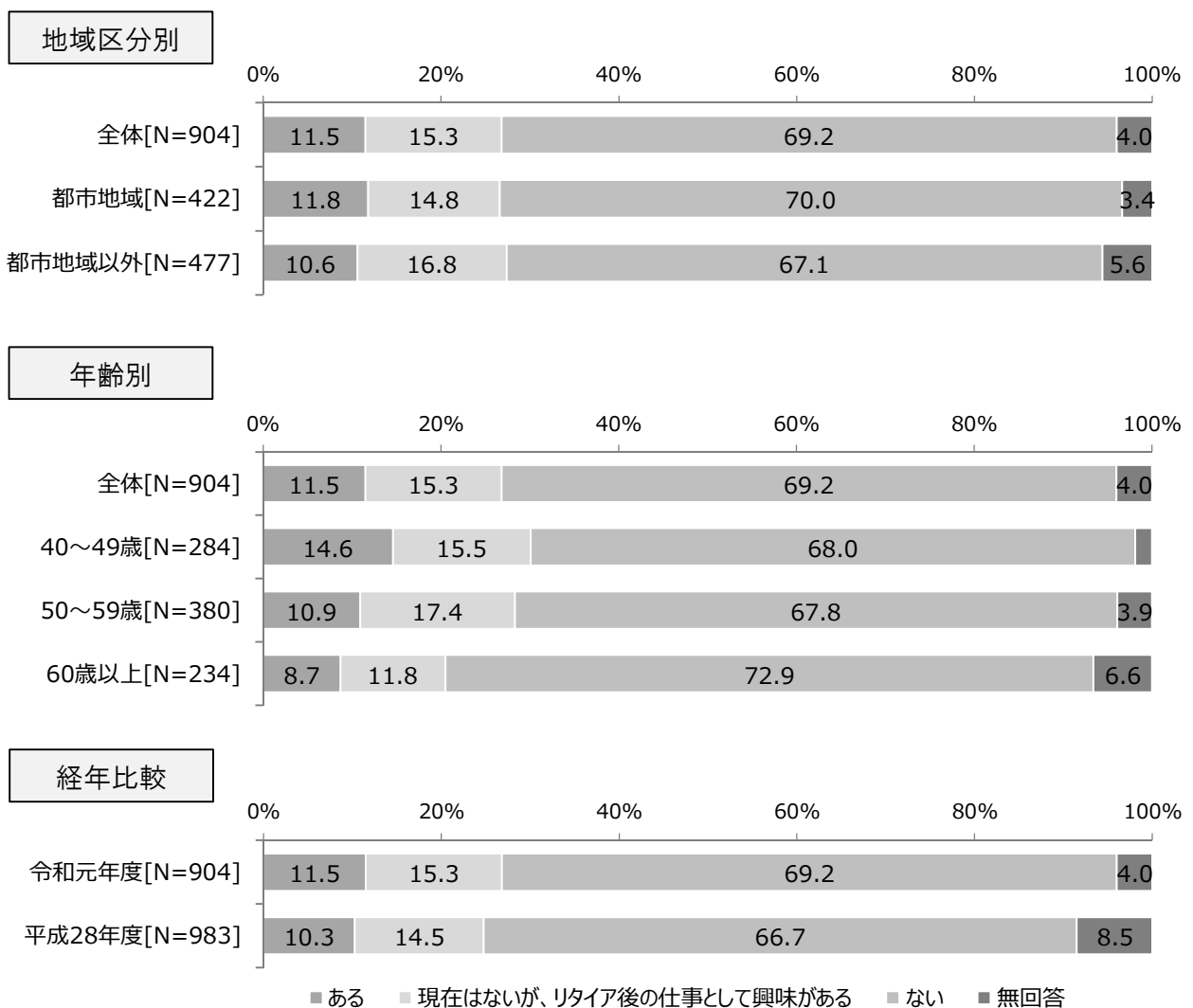
### ③高齢者施設等での仕事への興味

問29 あなたは、特別養護老人ホームや老人保健施設など、高齢者の介護やリハビリ等を行う施設で仕事をするということについて、興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者施設等で仕事をするということについて、興味があるかどうかを聞いたところ、「ない」が69.2%、「現在は無いが、リタイア後の仕事として興味がある」が15.3%、「ある」が11.5%となっています。

年齢別で見ると、若いほど「ある」という人が多くなっています。また、60歳以上では「現在は無いが、リタイア後の仕事として興味がある」が少なくなっています。

図表 32 高齢者施設等での仕事への興味



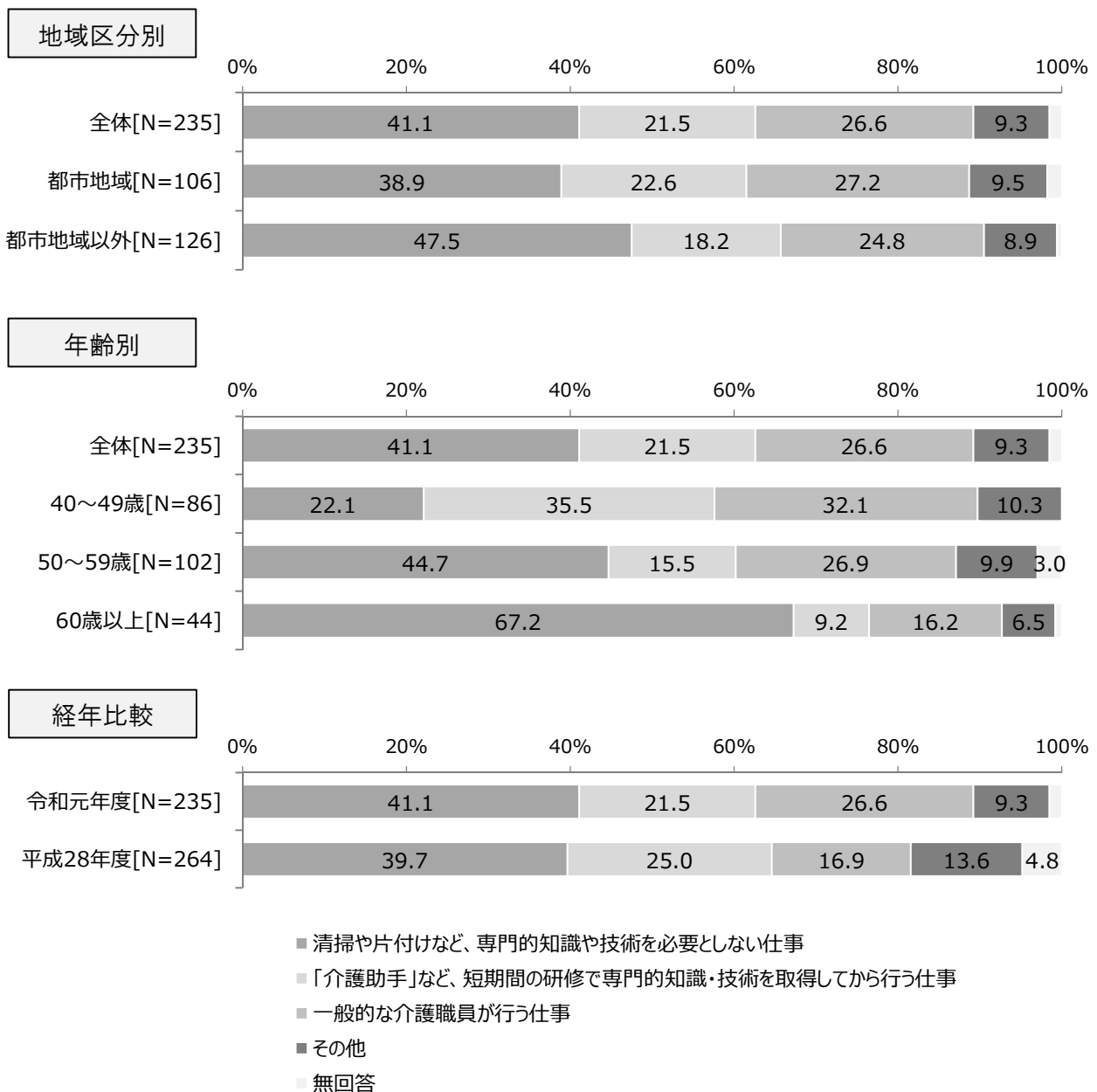
#### ④高齢者施設等での働き方の希望

問30 前の問で「1. ある」「2. 現在はないが、リタイア後の仕事として興味がある」と答えた方におたずねします。どのような働き方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者施設等で仕事をすることに興味があると回答した人に、その働き方の希望を聞いたところ、「清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事」が41.1%、「一般的な介護職員が行う仕事」が26.6%、「介護助手など、短期間の研修で専門的知識・技術を取得してから行う仕事」が21.5%となっています。

年齢別で見ると、若いほど「一般的な介護職員が行う仕事」「介護助手など、短期間の研修で専門的知識・技術を取得してから行う仕事」、年齢が上がるほど「清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事」が多くなっています。

図表 33 高齢者施設等での働き方の希望

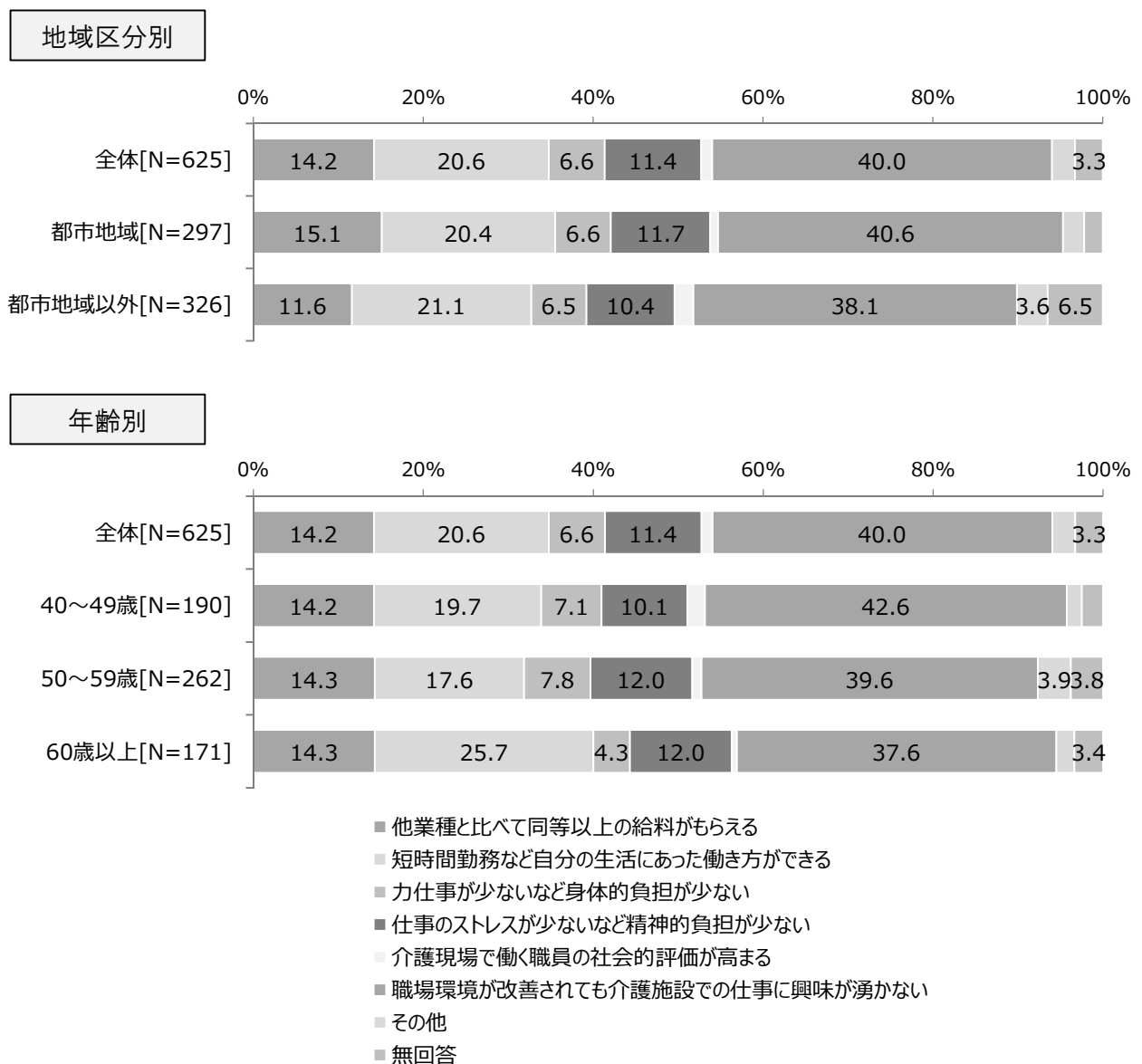


## ⑤ 高齢者施設等で働く際に興味が湧く職場環境

問31 問29で「3. ない」と答えた方におたずねします。どのような職場環境になれば、介護施設での仕事に興味が増えますか。(最も重要と思うもの1つに○)

高齢者施設等で仕事をするに興味がないと回答した人に、どのような職場環境になれば介護施設での仕事に興味が増えるかを聞いたところ、「職場環境が改善されても介護施設での仕事に興味が増えない」が40.0%、「短時間勤務など自分の生活にあった働き方ができる」が20.6%、「他業種と比べて同等以上の給料がもらえる」が14.2%等となっています。

図表 34 高齢者施設等で働く際に興味が湧く職場環境



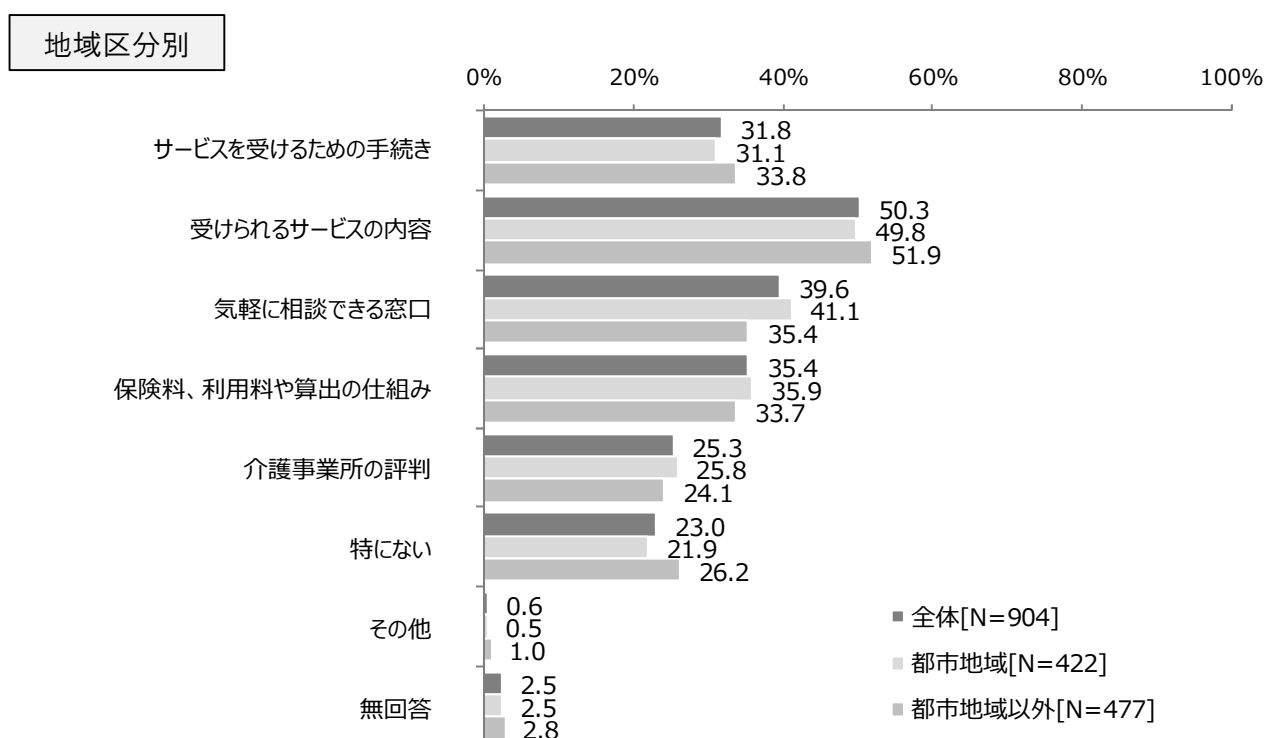
## (9) 介護保険制度等について

### ①介護保険制度やサービスについて知りたいこと

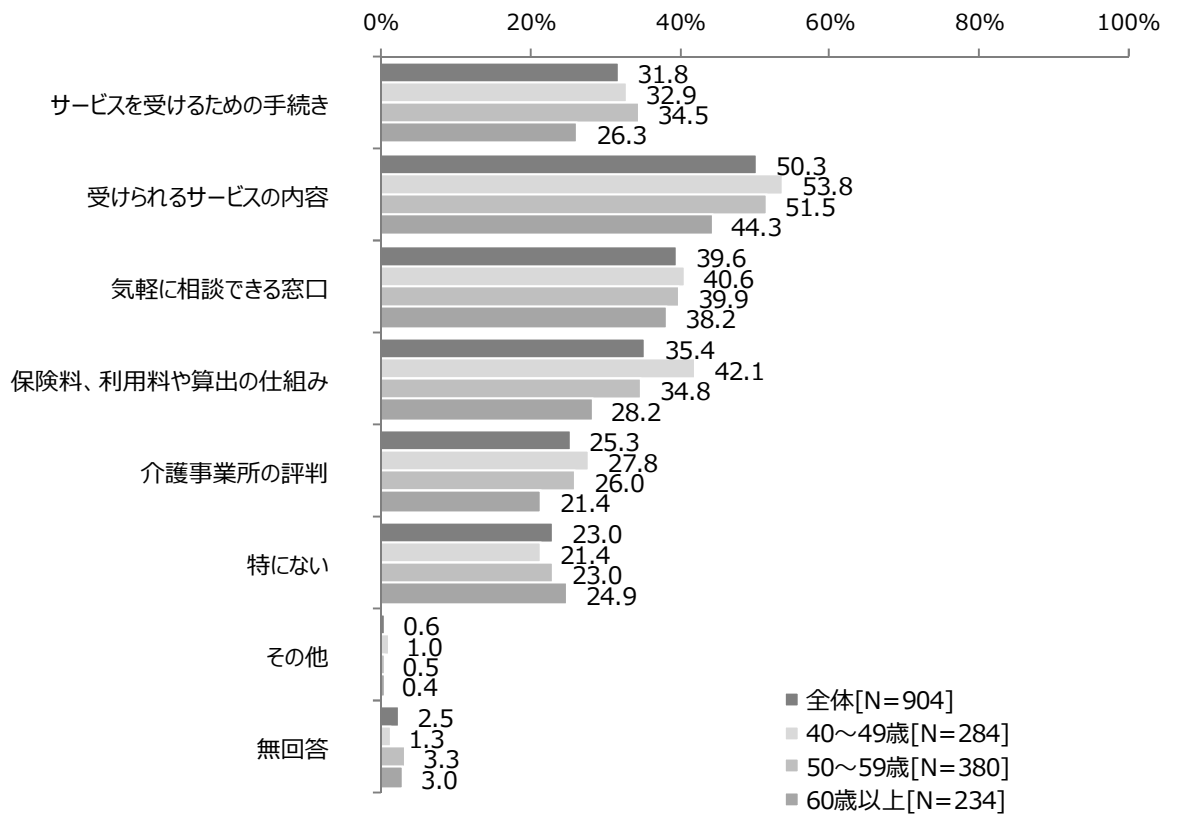
問32 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことを聞いたところ、「受けられるサービスの内容」が50.3%と最も多く、続いて「気軽に相談できる窓口」が39.6%、「保険料、利用料や算出の仕組み」が35.4%となっています。

図表 35 介護保険制度やサービスについて知りたいこと（複数回答）



年齢別

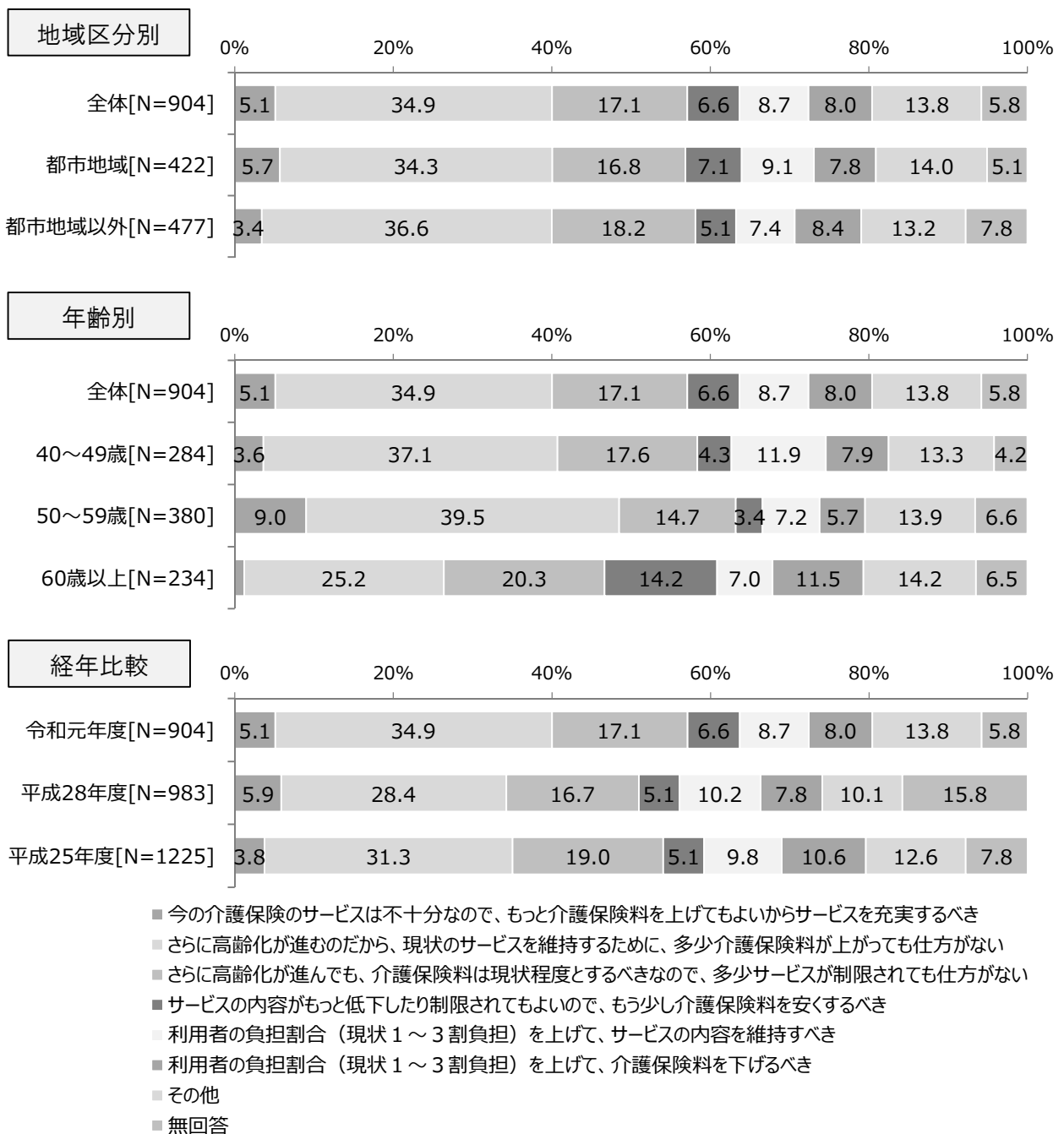


## ②介護保険のサービスと保険料の負担についての考え方

問33 介護保険制度では、40～64歳の方の保険料と、65歳以上の方の保険料は異なり、65歳以上になると各市町村で決めた保険料になります。（県平均は月額約6,200円です）  
 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと保険料の負担について、どのように考えますか。（あてはまるもの1つに○）

介護保険のサービスと保険料の負担について、考え方を聞いたところ、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が34.9%と多く、次いで、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が17.1%となっています。

図表 36 介護保険のサービスと保険料の負担についての考え方



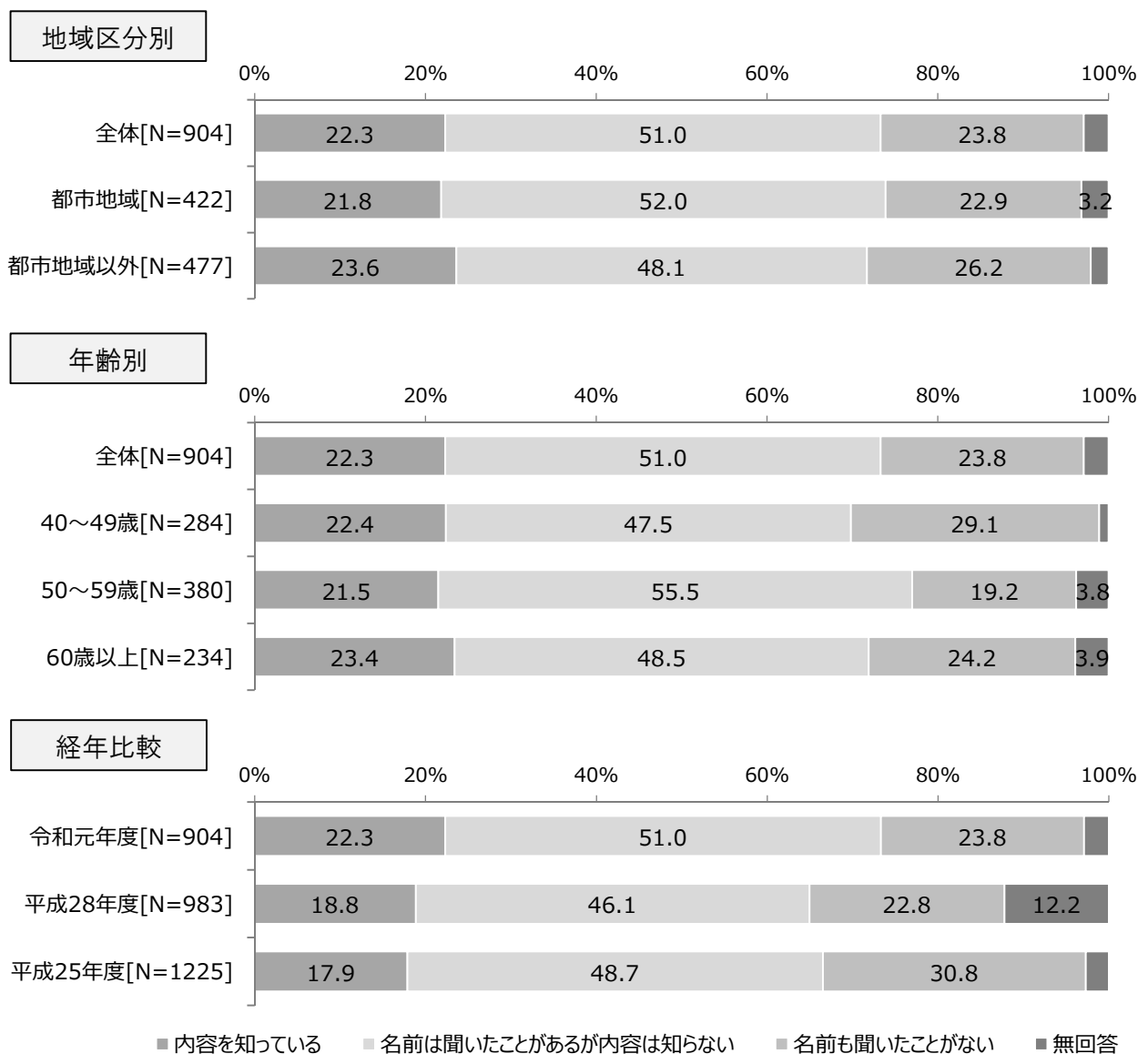
### ③ 「福祉サービス利用援助」や「成年後見人制度」の認知状況

問34 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」について知っているかどうかを聞いたところ、「内容を知っている」は22.3%、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」は51.0%で、合わせると7割台の人は名前は認知しています。「名前も聞いたことがない」は23.8%となっています。

経年比較では、前回調査よりも「内容を知っている」「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」という人がやや増えています。

図表 37 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知状況





## (10) 認知症について

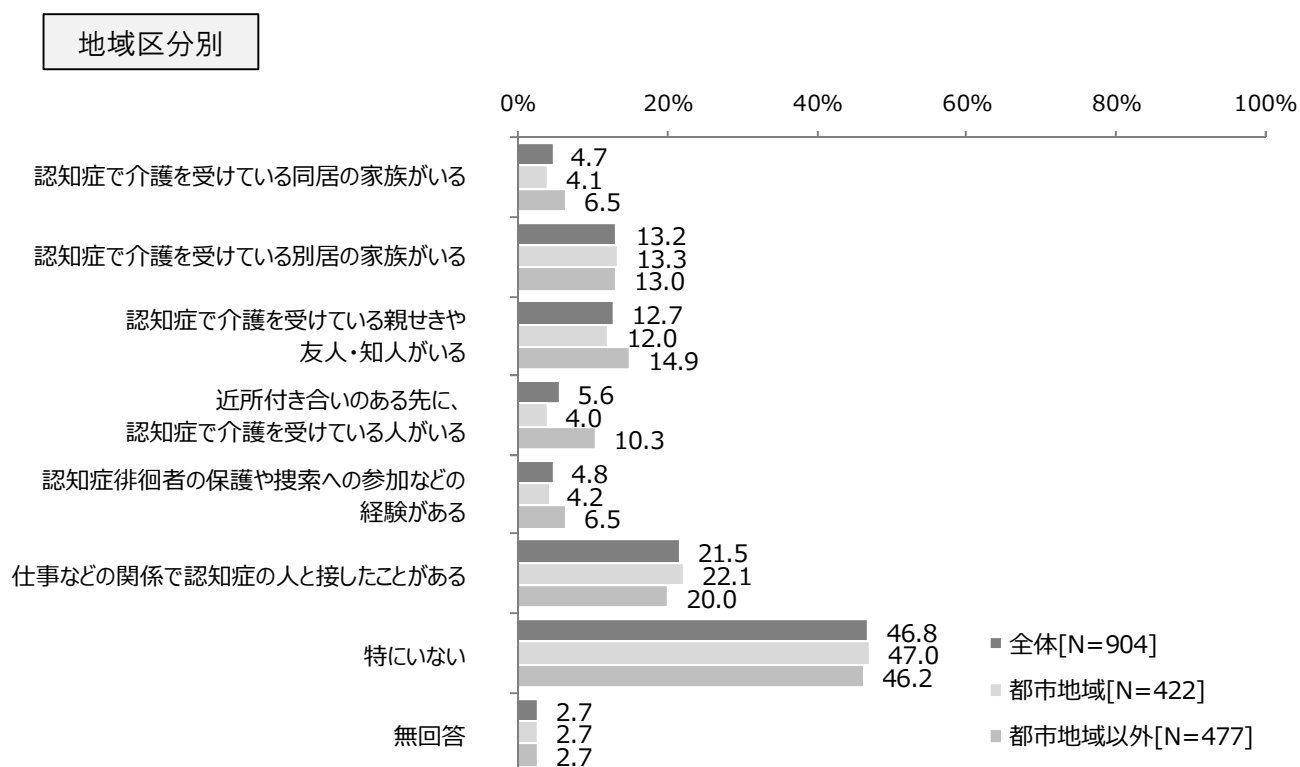
### ① 認知症の人との関わり

問35 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の高齢者とのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

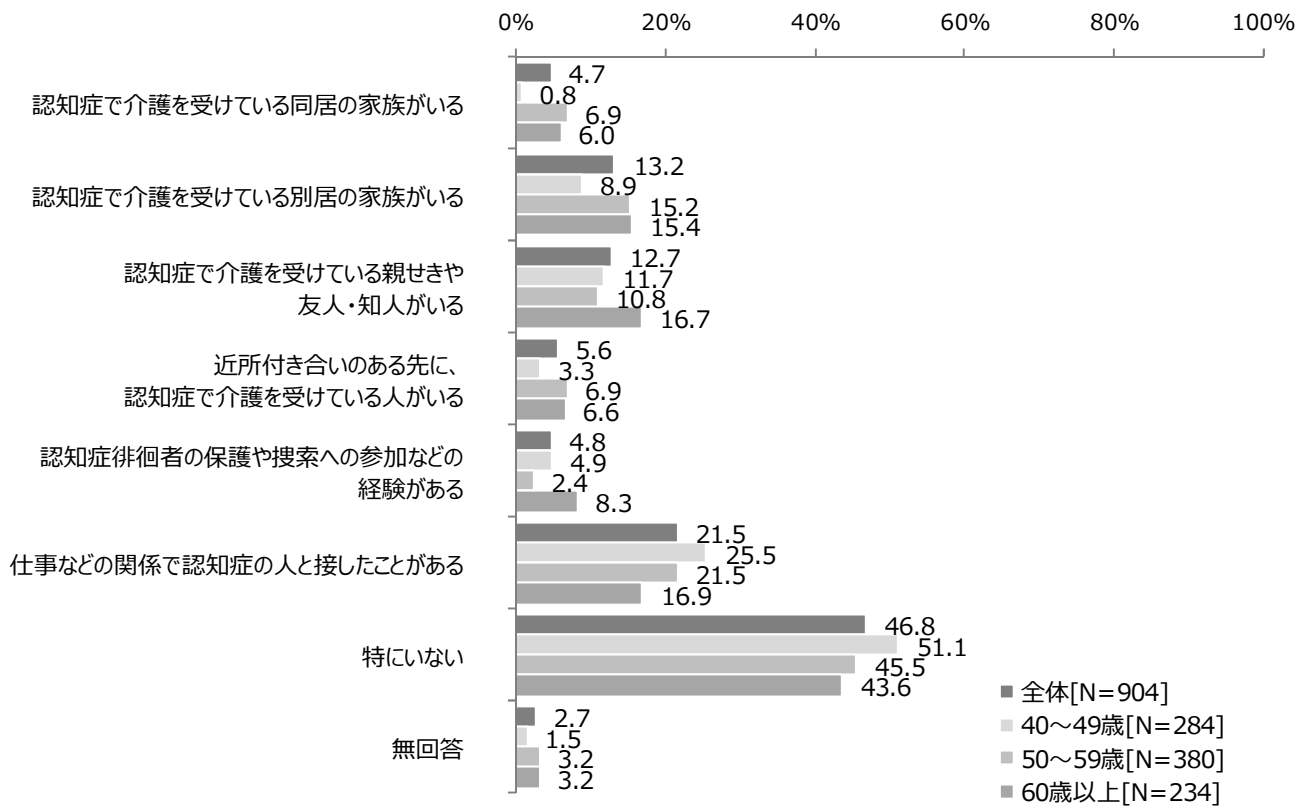
認知症の人との関わりの有無を聞いたところ、「特にいない」が46.8%となっています。関わりのある人では、「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」が21.5%、「認知症で介護を受けている別居の家族がいる」が13.2%、「認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる」が12.7%等となっています。

年齢別で見ると、50歳以上で「認知症で介護を受けている同居の家族がいる」「認知症で介護を受けている別居の家族がいる」、60歳以上で「認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる」「認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある」という人がやや多くなっています。

図表 38 認知症の人との関わり（複数回答）



年齢別



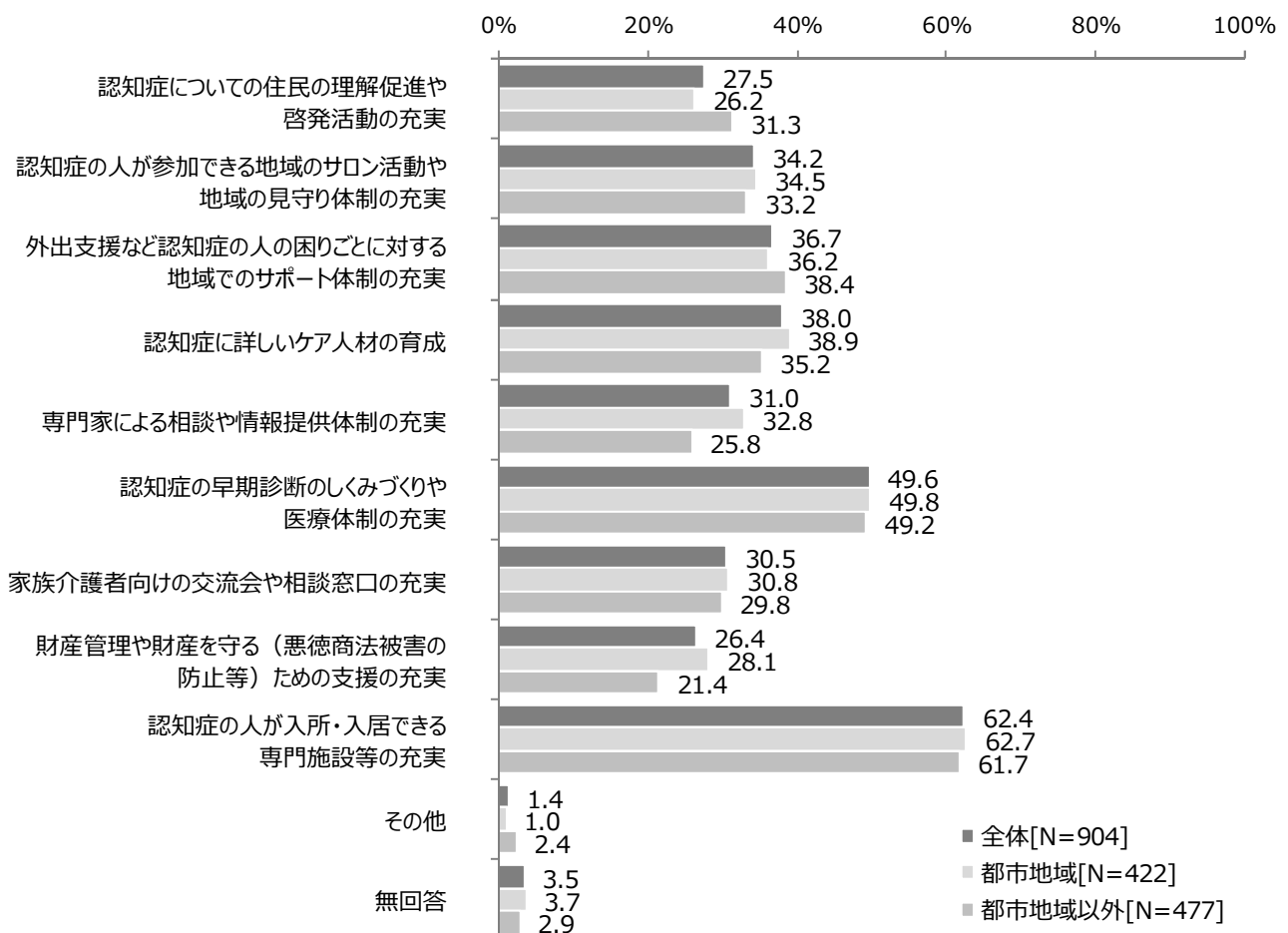
## ②認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

問36 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

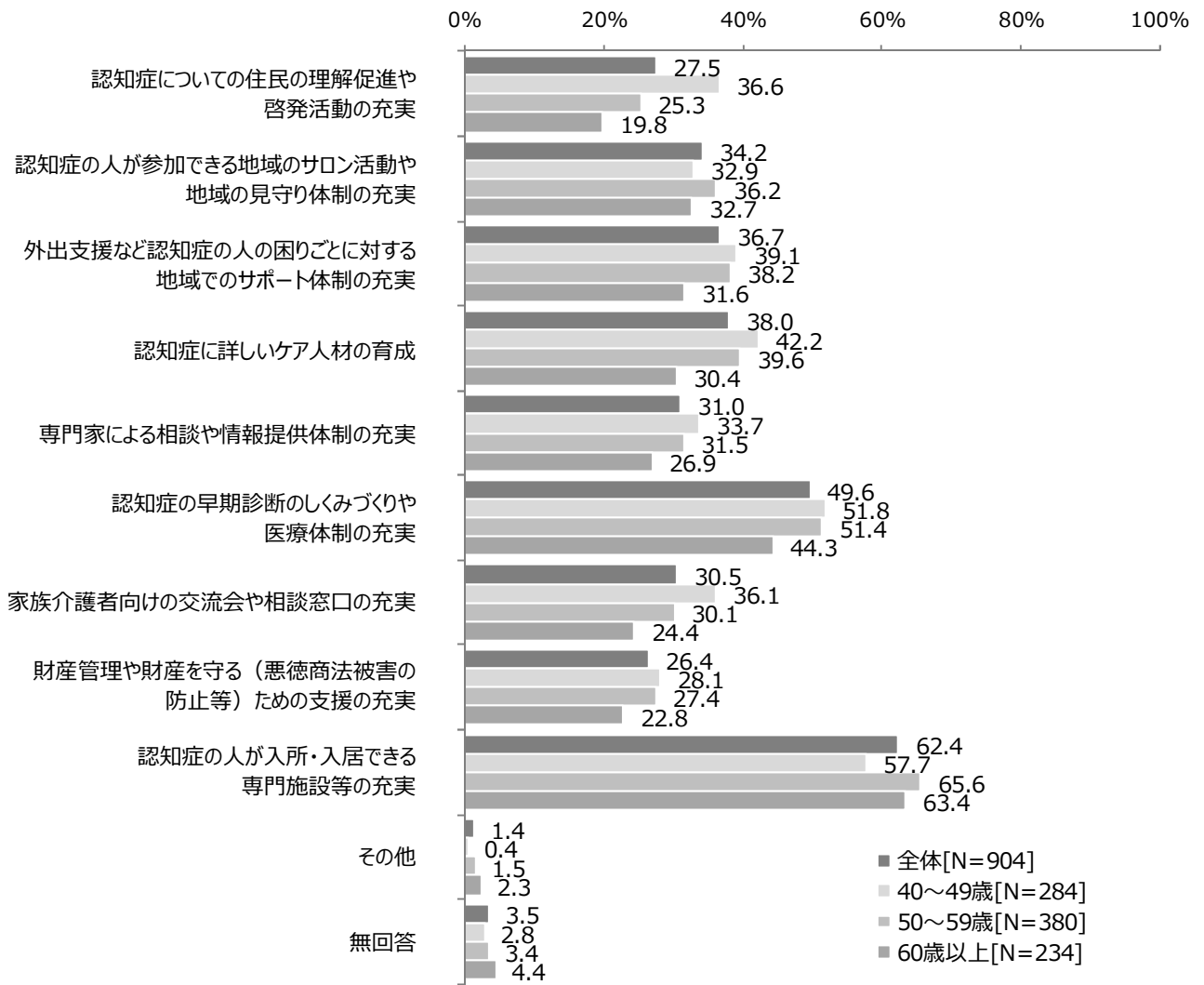
認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が62.4%と最も多く、次いで、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が49.6%、「認知症に詳しいケア人材の育成」が38.0%、「外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実」が36.7%、「認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実」が34.2%と続いています。

図表 39 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援（複数回答）

地域区分別



年齢別



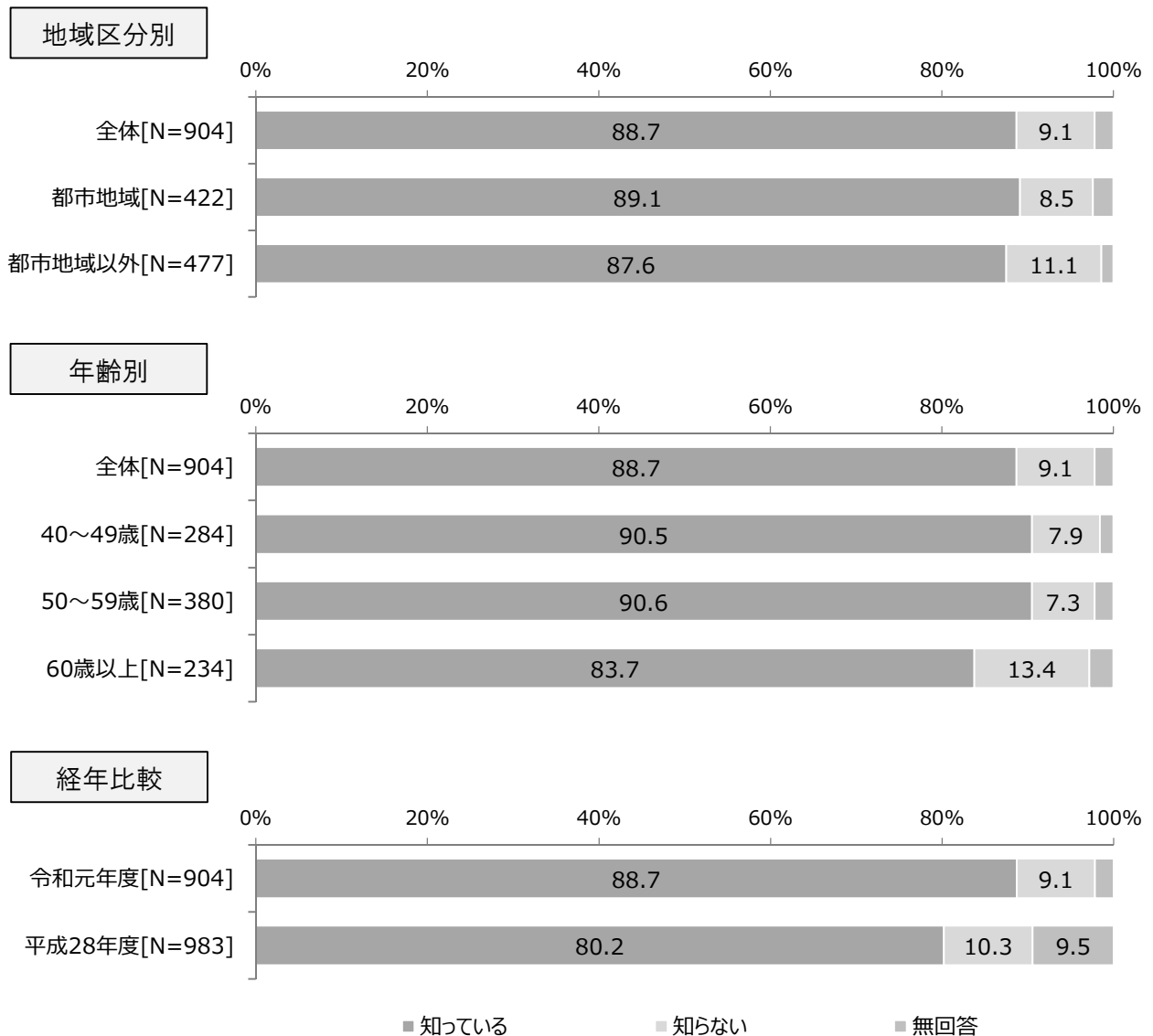
### ③若年性認知症の認知状況

問37 若年性認知症についてお聞きします。あなたは、「若年性認知症」(65歳未満で発症した認知症のこと)という言葉をご存知でしたか。(いずれか1つに○)

若年性認知症について知っているかどうかを聞いたところ、「知っている」が88.7%、「知らない」が9.1%となっています。

経年比較でみると、前回調査よりも「知っている」人が増えています。

図表 40 若年性認知症の認知状況



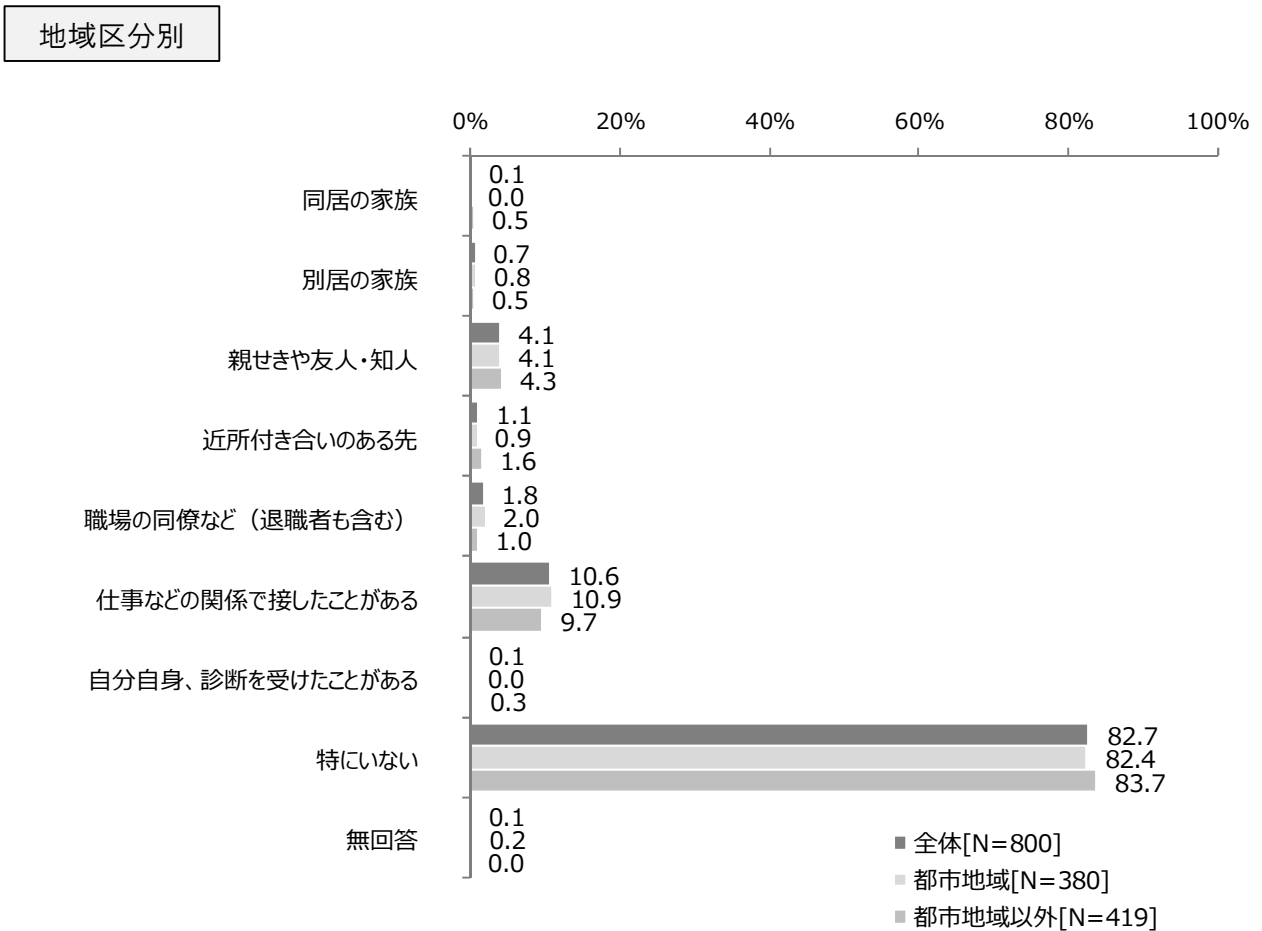
#### ④若年性認知症の人との関わり

問38 前の問で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。

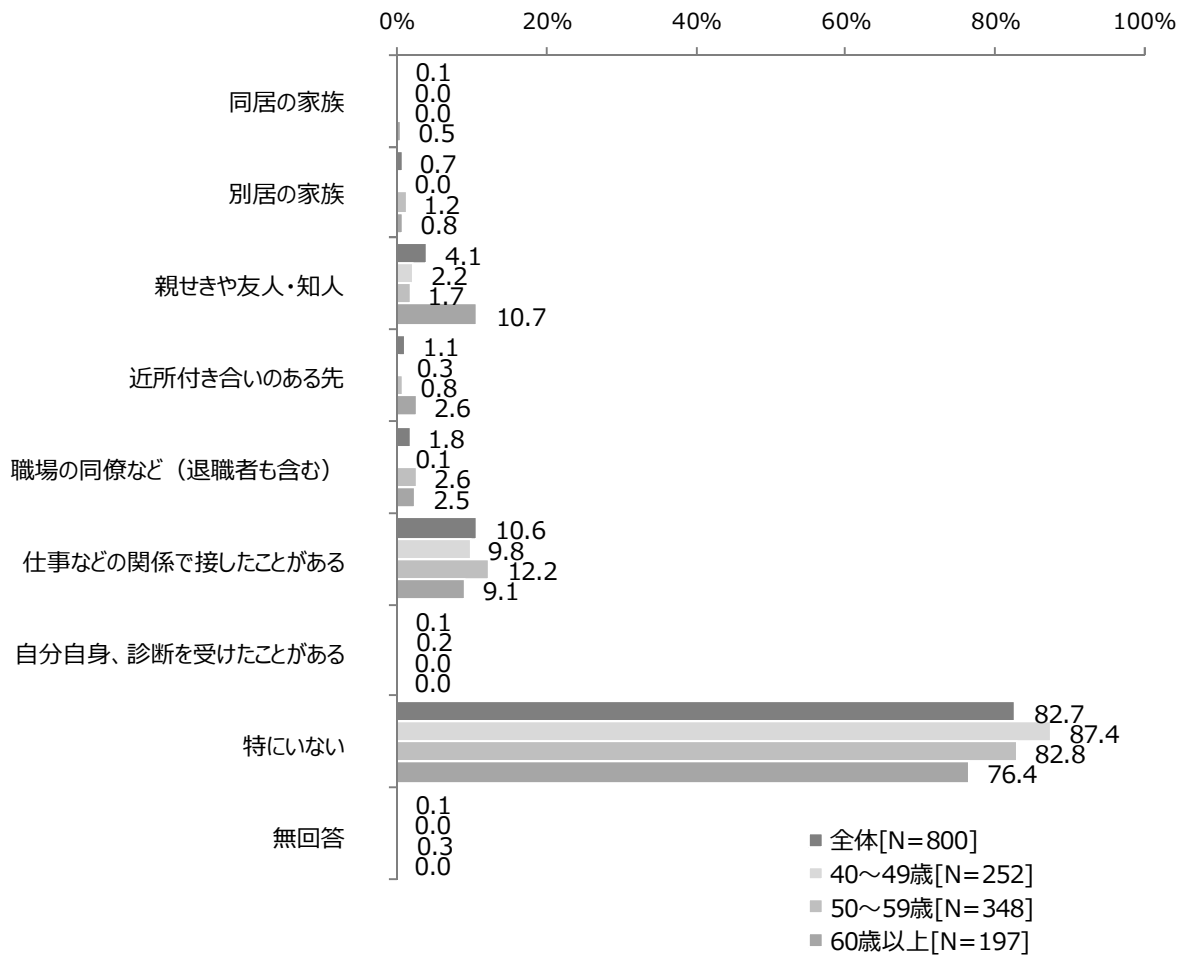
(1)あなたの身の回りで、若年性認知症で介護を受けている人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

若年性認知症を知っている人に、若年性認知症の人との関わりについて聞いたところ、「特にいない」が82.7%と多くなっています。関わりのある人では、「仕事などの関係で接したことがある」が10.6%等となっています。

図表 41 若年性認知症の人との関わり（複数回答）



年齢別



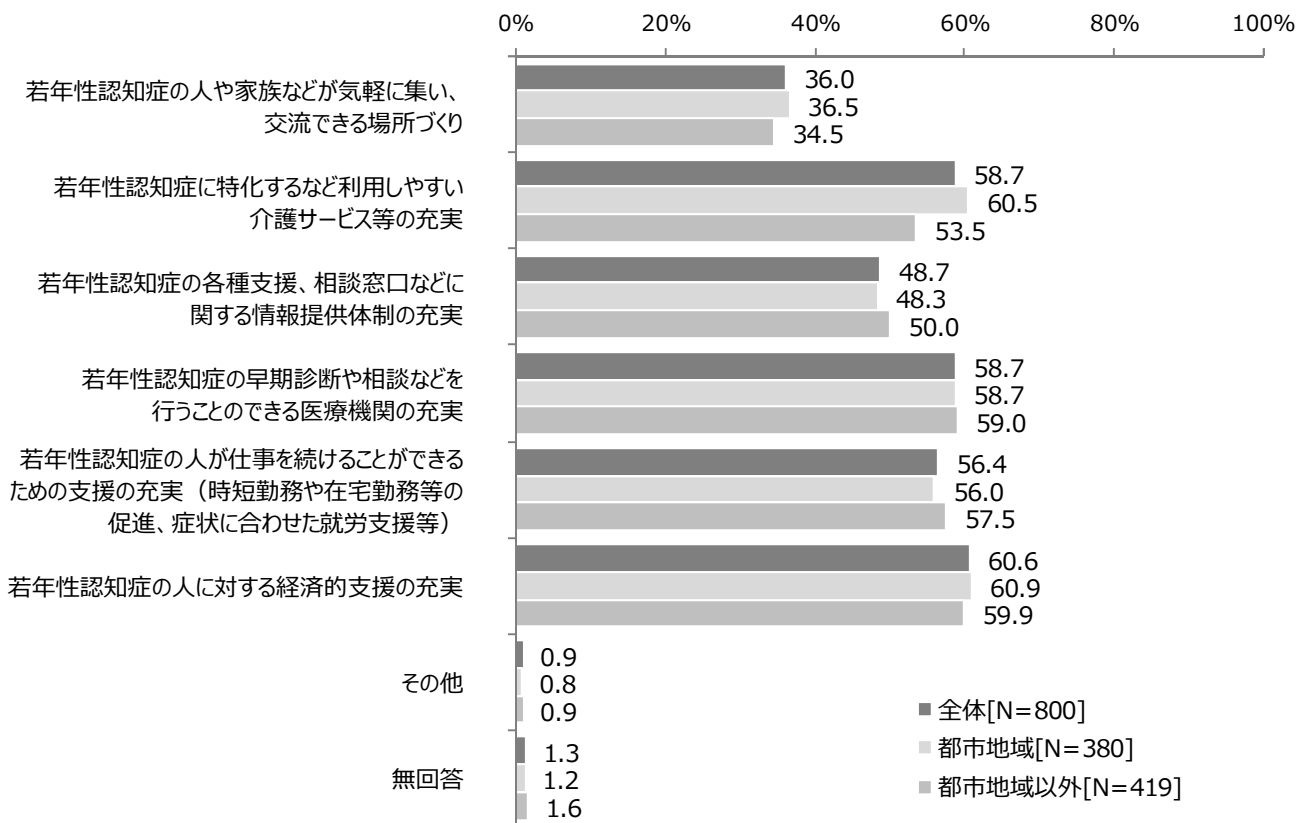
## ⑤若年性認知症への支援

(2)若年性認知症は、現役世代で認知症を発症するため、本人の仕事に支障が生じて経済的に困難な状況になる、家族への影響が大きい、高齢者でない人に適したサービスが少ないなど、高齢者の認知症とは異なるいろいろな問題があります。あなたは、若年性認知症の人に、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

若年性認知症への支援について必要と思うことを聞いたところ、「若年性認知症の人に対する経済的支援の充実」が60.6%と最も多く、「若年性認知症に特化するなど利用しやすい介護サービス等の充実」「若年性認知症の早期診断や相談などを行うことのできる医療機関の充実」がいずれも58.7%で続いています。

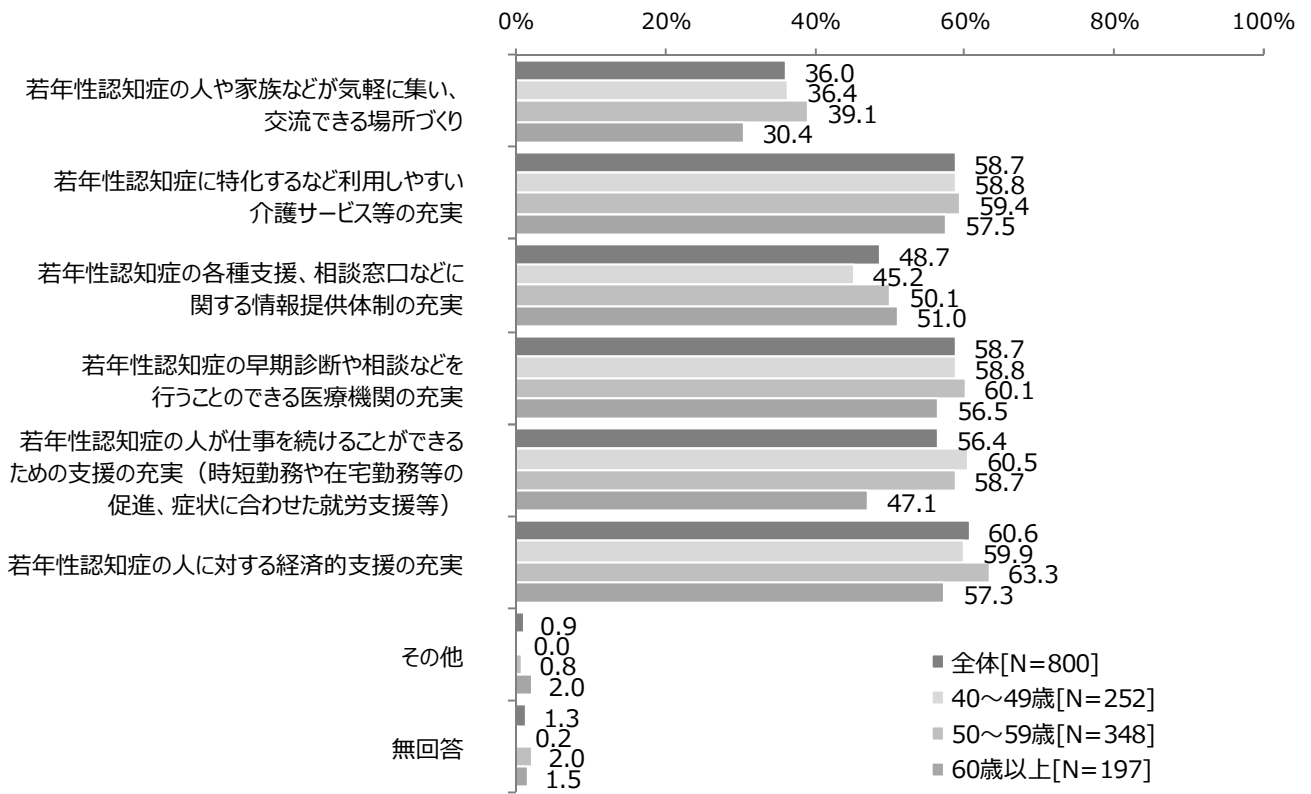
図表 42 若年性認知症への支援（複数回答）

地域区分別





年齢別

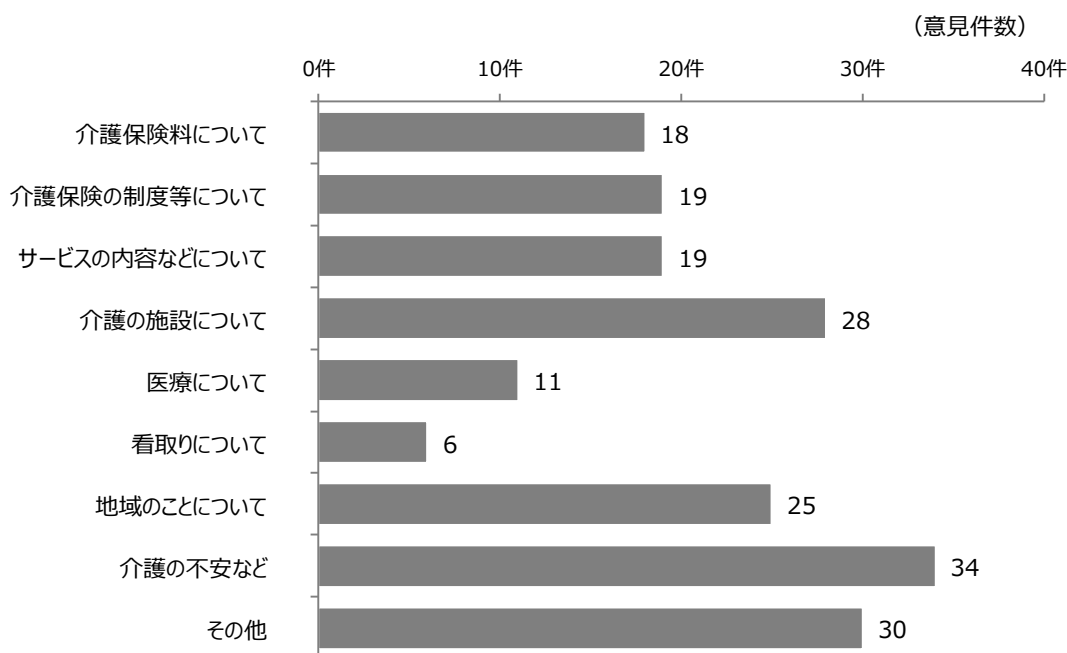


## (11) 自由意見

問39 高齢者の生活支援、介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

自由意見は、190件の記入がありました。意見内容の内訳は次のようになっています。介護の不安や介護の施設、地域のことについての意見が多くなっています。

図表 43 自由意見の意見内容の内訳



### 【主な意見】

#### (介護保険料について)

- 介護保険料が高くなれば生活自体がきびしくなります不安です。
- 地域によってサービスや値段が異なるため、国が介護保険の値段を一律にしてほしい。
- 介護保険料を上げ続けるのではなく、介護参入業者のコストセービング努力とチェックシステムの構築をお願いする。
- 介護保険制度、介護保険料は平等に支払いたい。子世帯と同居しているにもかかわらず世帯分離をし、保険料を安くしている世帯も多く見受けられる。世帯分割するということを知っている。知らないで支払う保険料がかわってくるのは不公平だと思う。

#### (介護保険の制度等について)

- 介護サービスを提供する事業所（ケアマネ）が適正なサービス計画を立て、個々が必要な最低限のサービスを提供する体制を構築すべきである。
- 特に高齢者の方で、認知症で介護を受けている人で、身寄りもない、親せきもない1人もの高齢者の方の、国のサポート制度を考えてほしい。

(サービスの内容などについて)

- ・ 介護保険料を払っているのだから、もっと介護のサービスの内容を、デイサービスや地域のサロンに行っている人達にくわしく伝えてあげてほしいです。そして自分に合ったサービスを受けられるようになったら、いいと思います。
- ・ 年金の範囲内で利用できるサービスを充実させてほしいと思います。
- ・ 現在実父が一人暮らしをしています。要支援認定を受けていますが、毎日5分でもいいので訪問して、健康の確認だけでもいいのでしてもらえると、そのようなサービスがあれば嬉しいです。
- ・ 保健福祉サービス等、福祉に関する事は誰も教えてくれないので自分で調べて行動しなければ、いろいろなサービスがある事自体、知らない事が多い。もっとどこに相談に行けば良い等、分かりやすくしてほしいと思う。

(介護の施設について)

- ・ 介護施設で働いています。現状では、介護職希望の人が少なく、利用者に十分な介護を提供することが難しく、給料も安く、何もかも悪循環です。
- ・ 今後の当地域において更なる労働力不足が懸念されます。そのためそれに携わる人々への待遇面の向上が必要である。
- ・ 介護が必要な人が緊急的に入所できるサービスが少ない。すぐ対応できる等、柔軟な受け入れしてくれるのはいつも病院だけなのではないか。施設が緊急受け入れができれば良いと思う。

(医療について)

- ・ 在宅での看取り、終末医療を望んでも、当地域では、現実的に難しい。引き受けてくれる医師がいない。
- ・ 現在、医療機関で仕事をしていますが、介護保険申請から結果が出るまでの期間が長いように思うのですが、もっと早く結果が出れば、サービスもスピーディーに受けれるのではないかと思います。

(地域のことについて)

- ・ 高齢者の方にも役割が出来、生きがい生まれる、人との関りが少ない子供も、色々な人と話したり、助けてもらう、町全体がつながり、楽しく安心できる町になるといい。いつでも、だれかに助けを求められる場があるといい。
- ・ 高齢者にとって公共交通機関（バス）が廃止されて行っているの、自家用車を手放さない傾向があるのがこの地域の不安要因の一つ。
- ・ 市のコミュニティバスなどはすぐ目的の場所に行けるわけではなく、生活のために利用するのは現実的ではないと思います。一定の場所だけにお店や公共施設等があっても足がなければ利用しにくいので、細部まで広がった交通網が欲しいです。

(介護の不安など)

- ・ 周りに高齢者が多く若い人が少ない現状でこれから高齢期をむかえることを考えるととても不安です。
- ・ この先自分がお世話にならなくてはいけなくなったとき、その時期の年金でどれだけの支援が受けられるのかがとても不安です。
- ・ 身内などがいない場合の介護制度が不安になります。
- ・ これから年を取っていくのに、介護をしてくれる人材がなかったら不安です。

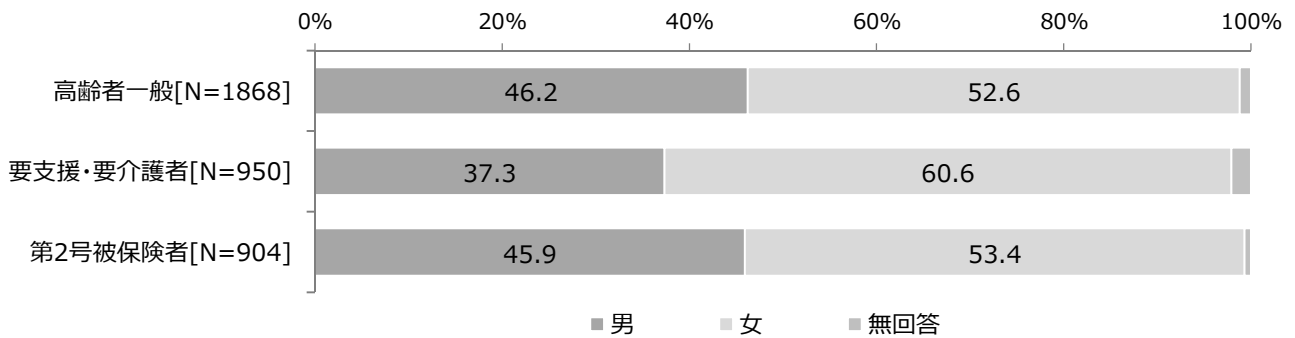
### 3 調査間の比較

#### (1) 回答者の属性

##### ①性別

性別は、高齢者一般で「女」が52.6%、「男」が46.2%、要支援・要介護者で「女」が60.6%、「男」が37.3%、第2号被保険者で「女」が53.4%、「男」が45.9%となっています。いずれの調査も女性の比率が高くなっています。

図表 44 性別

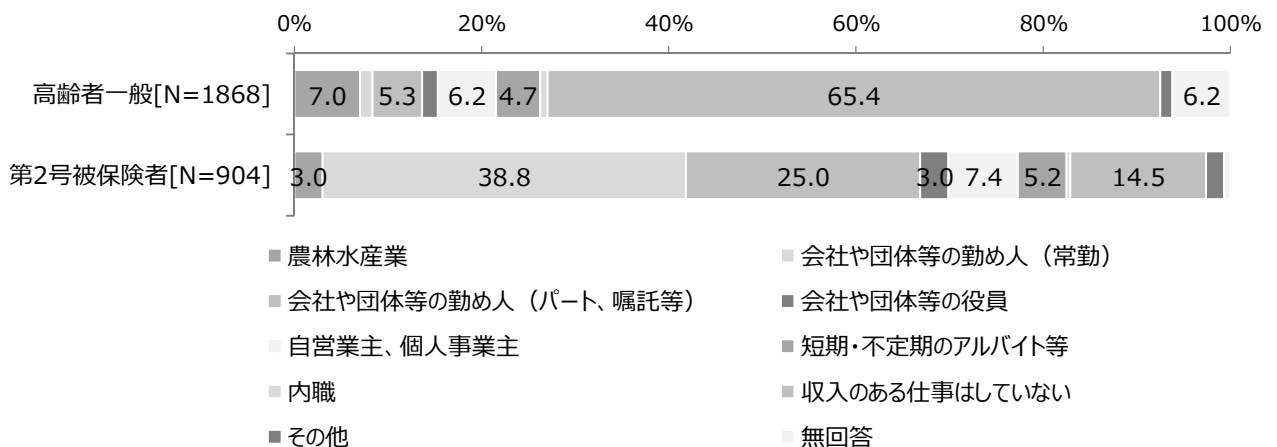


##### ②仕事

仕事は、第2号被保険者では、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が38.8%と最も高く、次いで、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が25.0%、「収入のある仕事はしていない」が14.5%となっています。

高齢者一般では「収入のある仕事はしていない」が65.4%となっており、仕事をしている人では、「農林水産業」が7.0%、「自営業主、個人事業主」が6.2%等となっています。「農林水産業」は第2号被保険者より高齢者一般で高い割合となっています。

図表 45 仕事



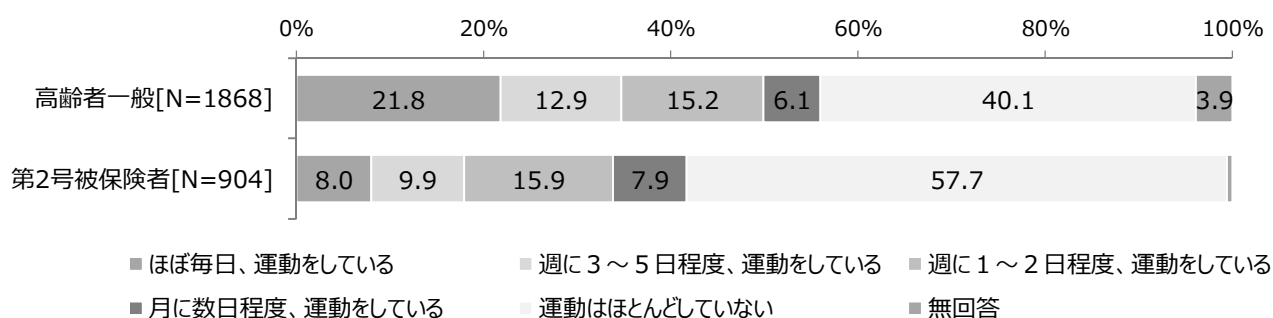
## (2) 健康について

### ①運動の状況

運動の状況は、高齢者一般では、「運動はほとんどしていない」が40.1%である一方、「ほぼ毎日、運動をしている」も21.8%と多くなっています。

第2号被保険者では、「運動はほとんどしていない」が57.7%と半数以上みられ、次いで、「週に1～2日程度、運動をしている」が15.9%となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は運動をしていない人が多くなっています。

図表 46 運動の状況

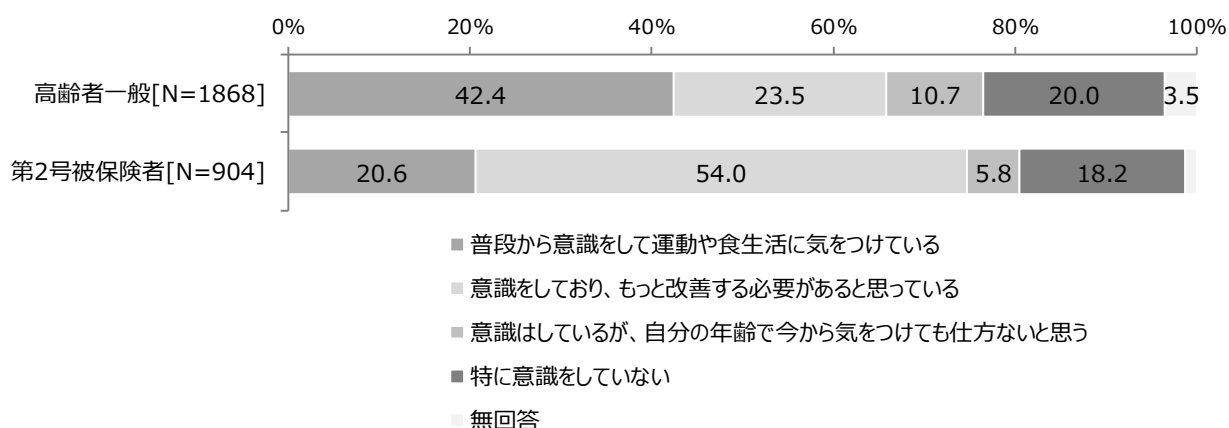


### ②健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣

健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣について聞いたところ、高齢者一般では、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が42.4%と最も多くなっており、次いで、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が23.5%となっています。

第2号被保険者では、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が54.0%と半数以上を占め、次いで、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が20.6%となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は意識をしている人は多いですが、普段から気をつけている人は少ない傾向が見られます。

図表 47 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

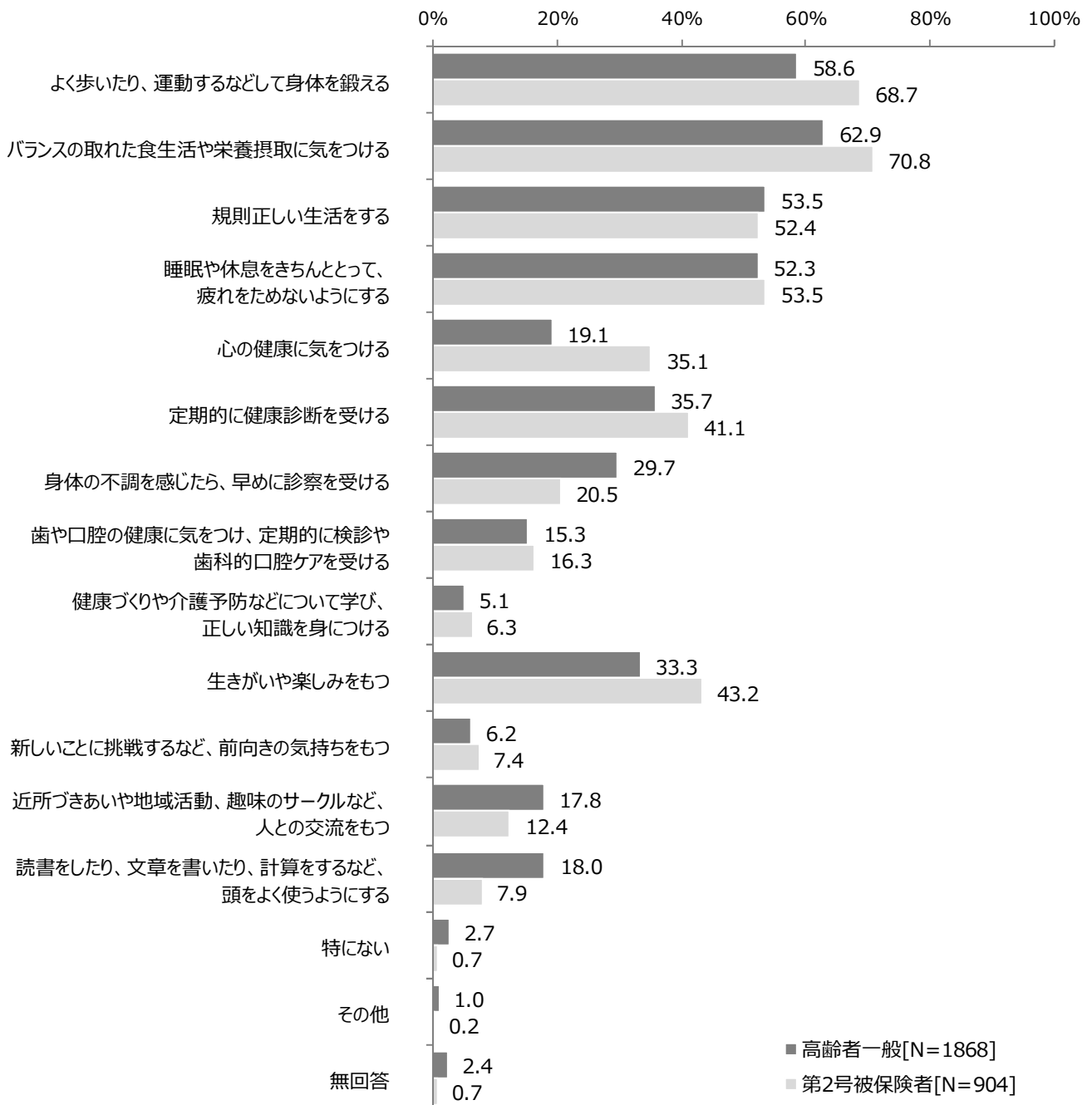


### ③健康づくり等で重要と思うこと

健康づくり等で重要と思うことは、高齢者一般では、「バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける」が62.9%と最も高くなっており、次いで、「よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える」が58.6%と続いています。

一方、第2号被保険者では、「バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける」が70.8%と最も高く、次いで、「よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える」が68.7%となっています。また、「生きがいや楽しみをもつ」ことも43.2%と高い割合です。高齢者も第2号被保険者もほぼ同様なことを重要と考えていますが、第2号被保険者では「生きがいや楽しみを持つ」こと、「心の健康に気をつける」ことなどの割合が高齢者と比べて高くなっています。

図表 48 健康づくり等で重要と思うこと（複数回答）

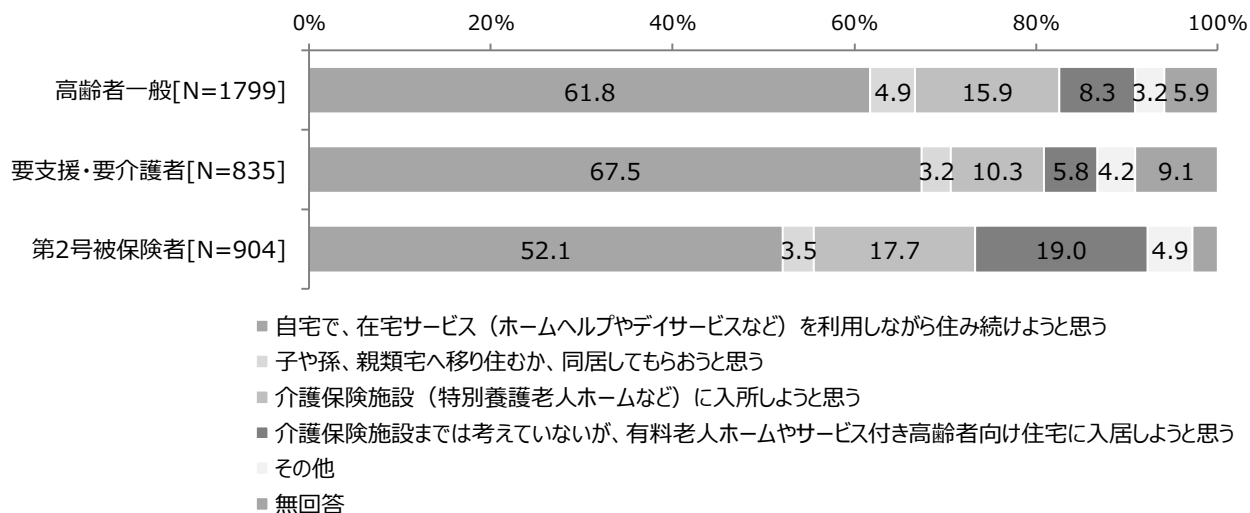


### (3) 住まい、住み替えなどについて

#### ①住み替えの希望

将来の住み替えの希望は、高齢者一般、要支援・要介護者で、「自宅で、在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が高くなっており、高齢者では、現在の場所に住み続けたいという人が多くなっています。一方、第2号被保険者では、「自宅で、在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が52.1%となっている一方、施設入所や住み替えを考える人も多くなっています。

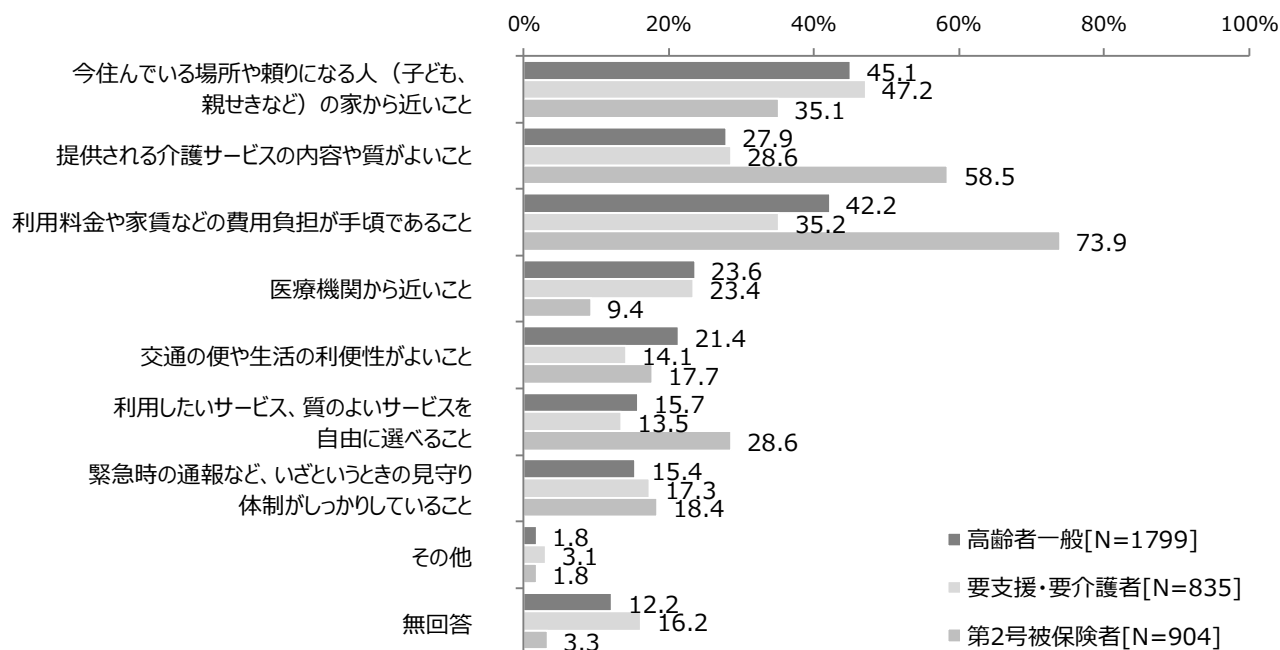
図表 49 住み替えの希望



#### ②住み替えで重視すること

住み替えで重視することとしては、高齢者一般、要支援・要介護者では、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」などが高い割合となっています。一方、第2号被保険者では、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」や「提供される介護サービスの内容や質が良いこと」が高い割合となっており、第2号被保険者で費用負担やサービスの質を重視する人が多くなっています。

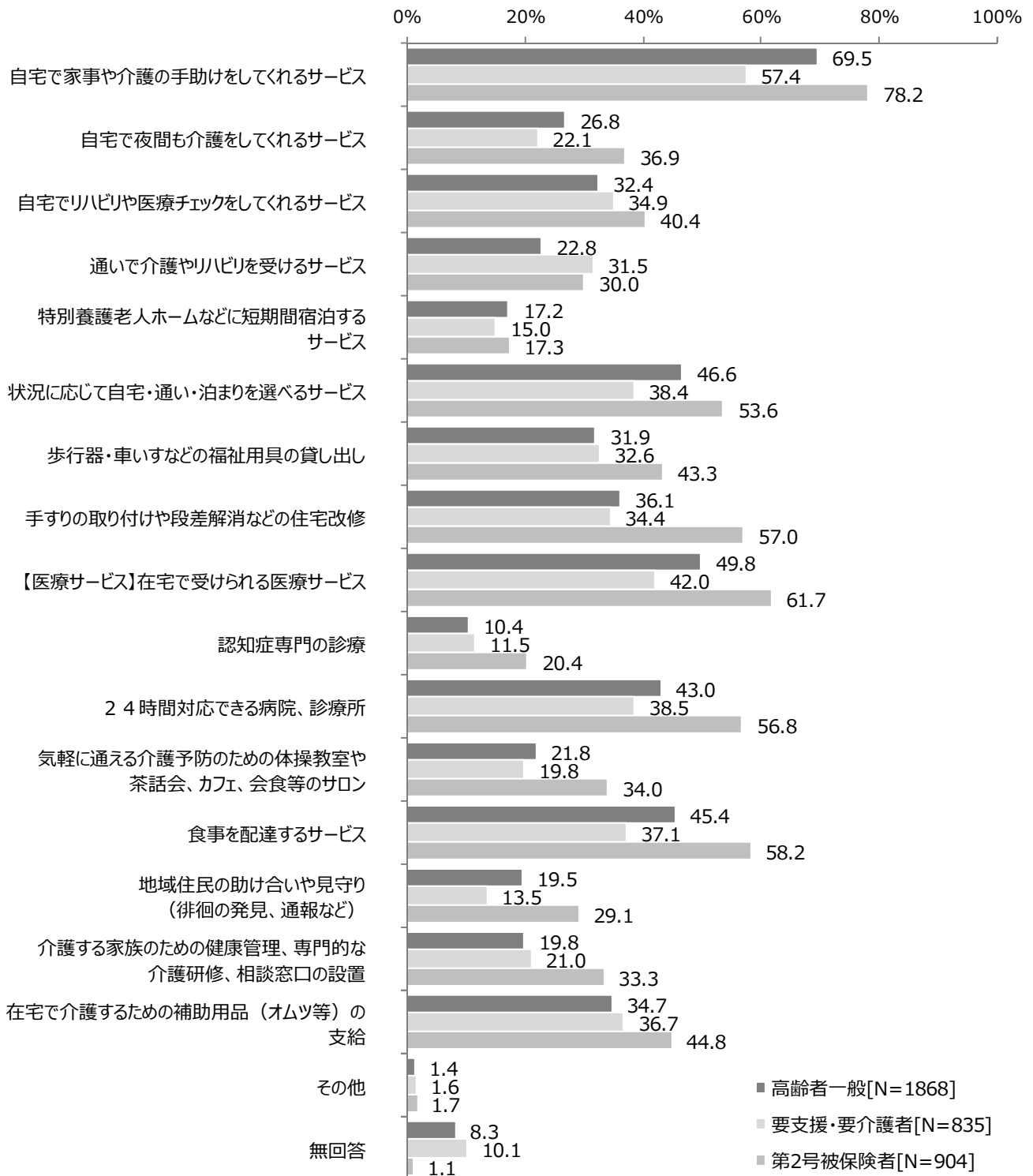
図表 50 住み替えで重視すること（複数回答）



### ③在宅生活に必要なサービス

在宅生活のために必要と思うサービスについて聞いたところ、高齢者一般に比べ、第2号被保険者で必要と思う割合が全般的に高くなっています。また、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者いずれも「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が最も多くなっています。

図表 51 在宅生活に必要なサービス（複数回答）



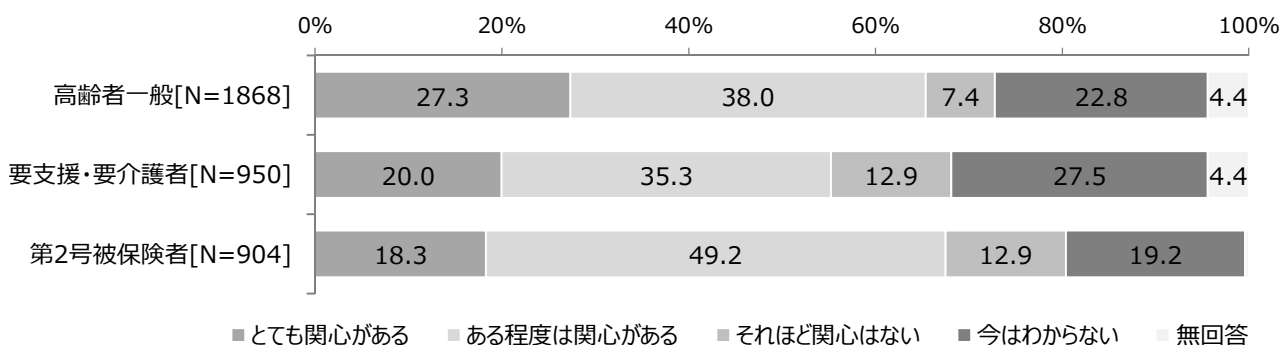


## (4) 看取りなどについて

### ①延命治療等への関心

延命治療等への関心について聞いたところ、高齢者一般、第2号被保険者では関心のある人が6割台となっています。一方、要支援・要介護者では関心のある人が5割台となっています。

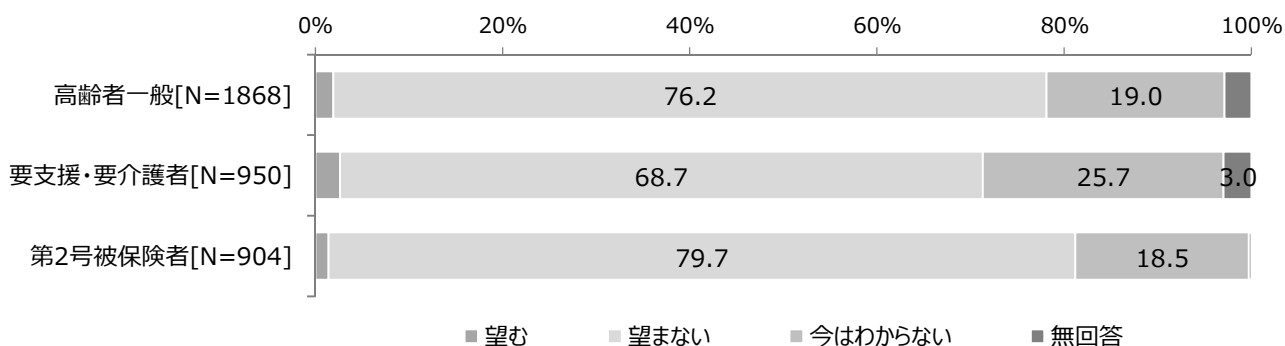
図表 52 延命治療等への関心



### ②延命治療に対する希望

延命治療に対する希望を見ると、延命治療は「望まない」という人が6～7割台でいずれも多くなっています。要支援・要介護者では「今はわからない」という人も比較的多くなっています。

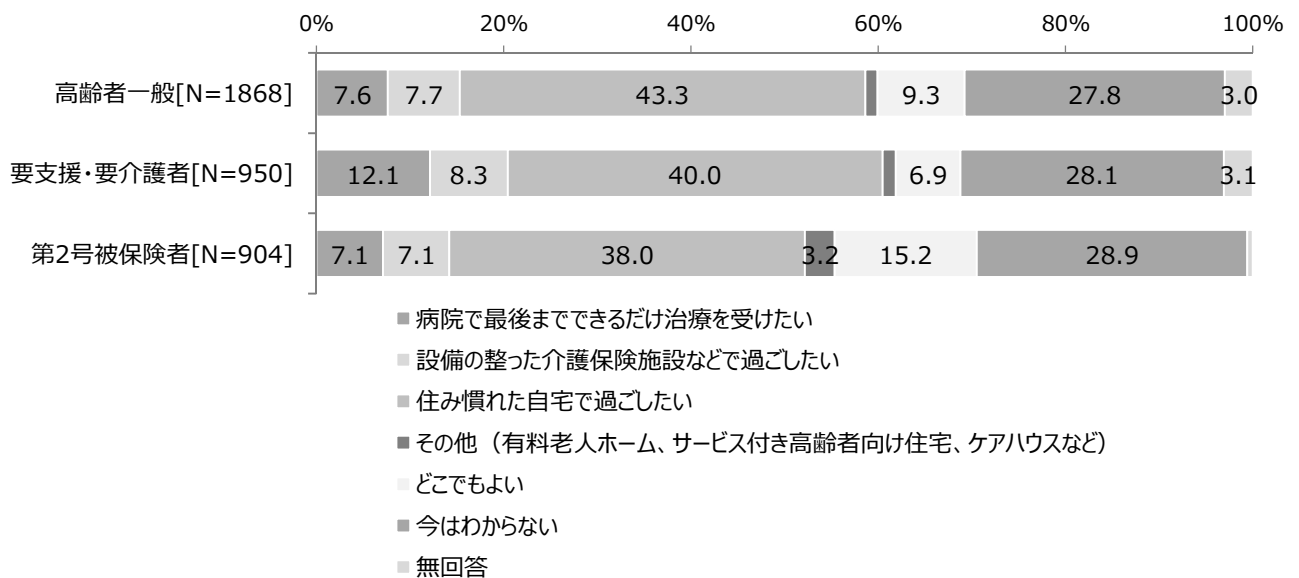
図表 53 延命治療に対する希望



### ③最期を迎えたい場所

最期を迎えたい場所については、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人が4割前後と多くなっています。一方、「今はわからない」という人がいずれも3割近く見られます。

図表 54 最期を迎えたい場所



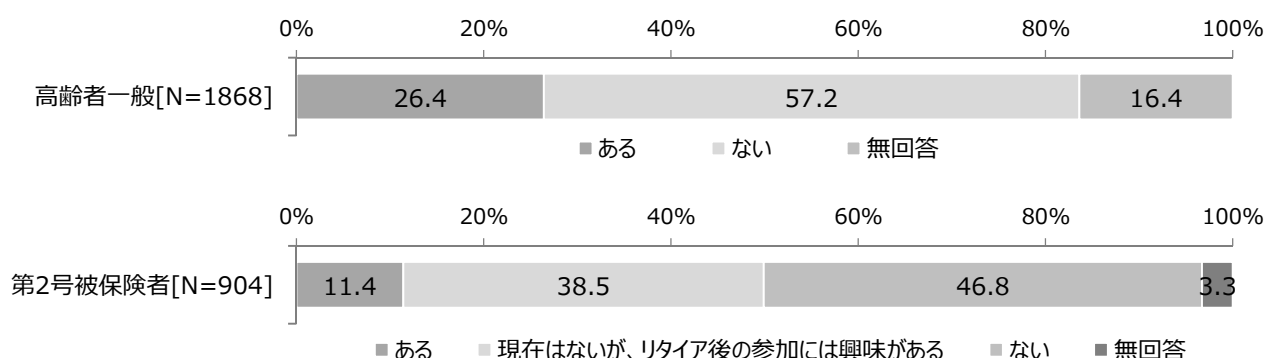
## (5) 高齢者の生活支援や介護の仕事について

### ① 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

高齢者の生活支援事業について、参加することへの興味の有無を聞いたところ、高齢者一般では「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が57.2%、「ある」が26.4%、「ない」が16.4%となっています。

第2号被保険者では、「ない」が46.8%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が38.5%、「ある」が11.4%となっており、高齢期になってから興味のある人が比較的多くなっています。

図表 55 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

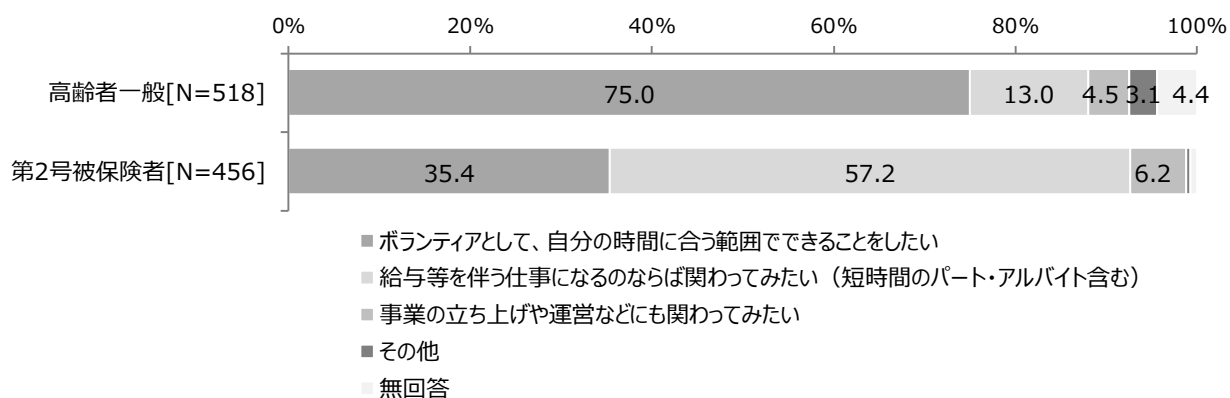


### ② 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

高齢者支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望について聞いたところ、高齢者一般では、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が75.0%と多くなっています。

一方、第2号被保険者では、「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」が57.2%となっており、仕事として考える人が多くなっています。

図表 56 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

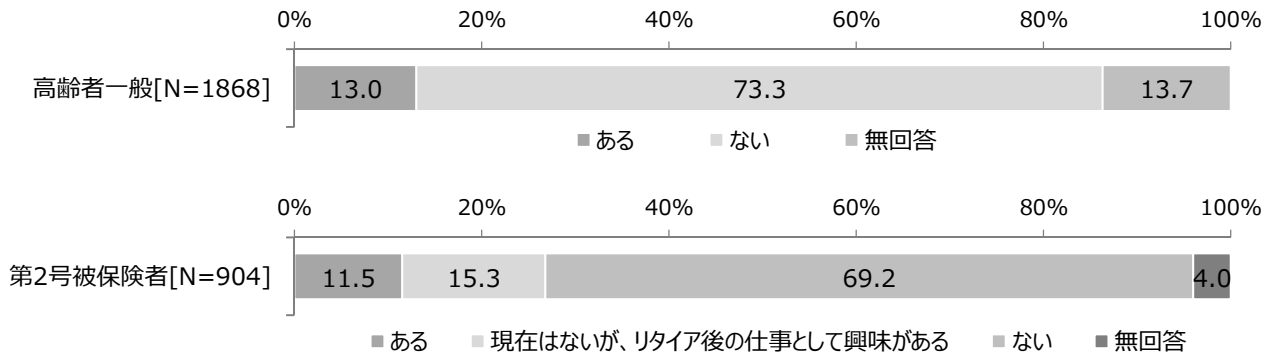


### ③高齡者施設等での仕事への興味

高齡者施設等で仕事をする事への興味について聞いたところ、高齡者一般では「ない」が73.3%、「ある」が13.0%となっています。

第2号被保険者では、「ない」が69.2%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が15.3%、「ある」が11.5%となっています。いずれも、生活支援事業より興味度が低くなっています。

図表 57 高齡者施設等での仕事への興味

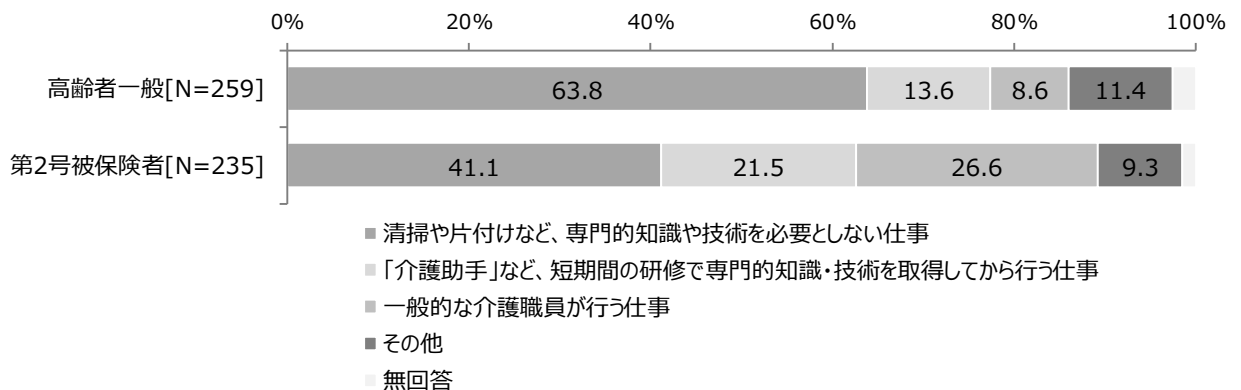


### ④高齡者施設等での働き方の希望

高齡者施設等で仕事することに興味があると回答した人に、その働き方の希望を聞いたところ、高齡者一般では、「清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事」が63.8%と最も多くなっています。

一方、第2号被保険者でも、「清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事」が41.1%と最も多いものの、「『介護助手』など、短期間の研修で専門的知識・技術を取得してから行う仕事」「一般的な介護職員が行う仕事」の希望も比較的多く見られます。

図表 58 高齡者施設等での働き方の希望



## (6) 介護保険制度について

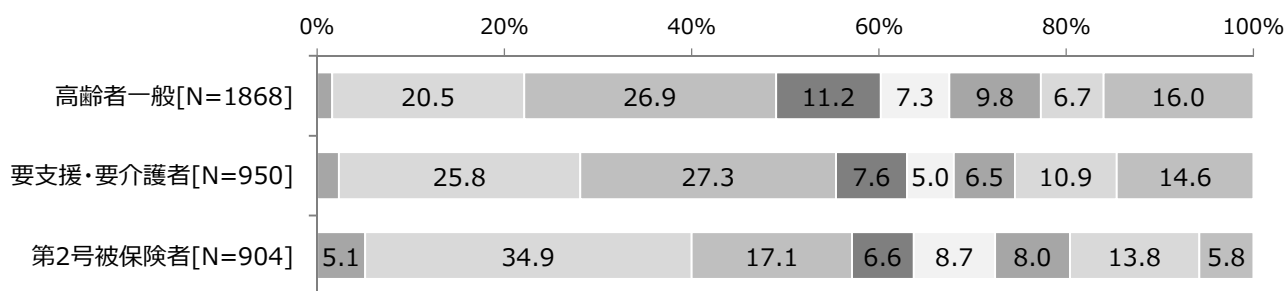
### ① サービスと保険料負担の考え方

サービスと保険料負担についての考え方を聞いたところ、高齢者一般では、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が26.9%と最も多くなっています。要支援・要介護者では、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」と「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が、ほぼ同じ割合となっています。

一方、第2号被保険者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が34.9%と最も多くなっています。

介護保険料については、高齢者では、介護保険料は現状程度にすべきという人がやや多い傾向が見られますが、第2号被保険者では、介護保険料が上がってもよい・仕方ないという人が多くなっています。

図表 59 サービスと保険料負担の考え方

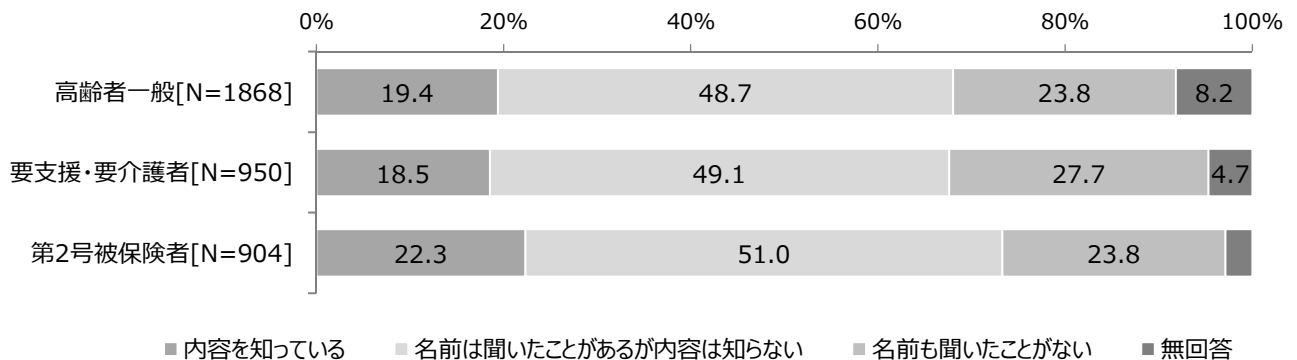


- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- 利用者の負担割合（現状1～3割負担）を上げて、サービスの内容を維持すべき
- 利用者の負担割合（現状1～3割負担）を上げて、介護保険料を下げるべき
- その他
- 無回答

## ② 「福祉サービス利用援助」や「成年後見人制度」の認知

福祉サービス利用援助や成年後見制度等を知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」という人が、高齢者一般では48.7%、要支援・要介護者では49.1%、第2号被保険者では51.0%となっています。福祉サービス利用援助や成年後見制度等があることを知ってはいても、内容まで知っている人は少ないことが見てとれます。

図表 60 「福祉サービス利用援助」や「成年後見人制度」の認知

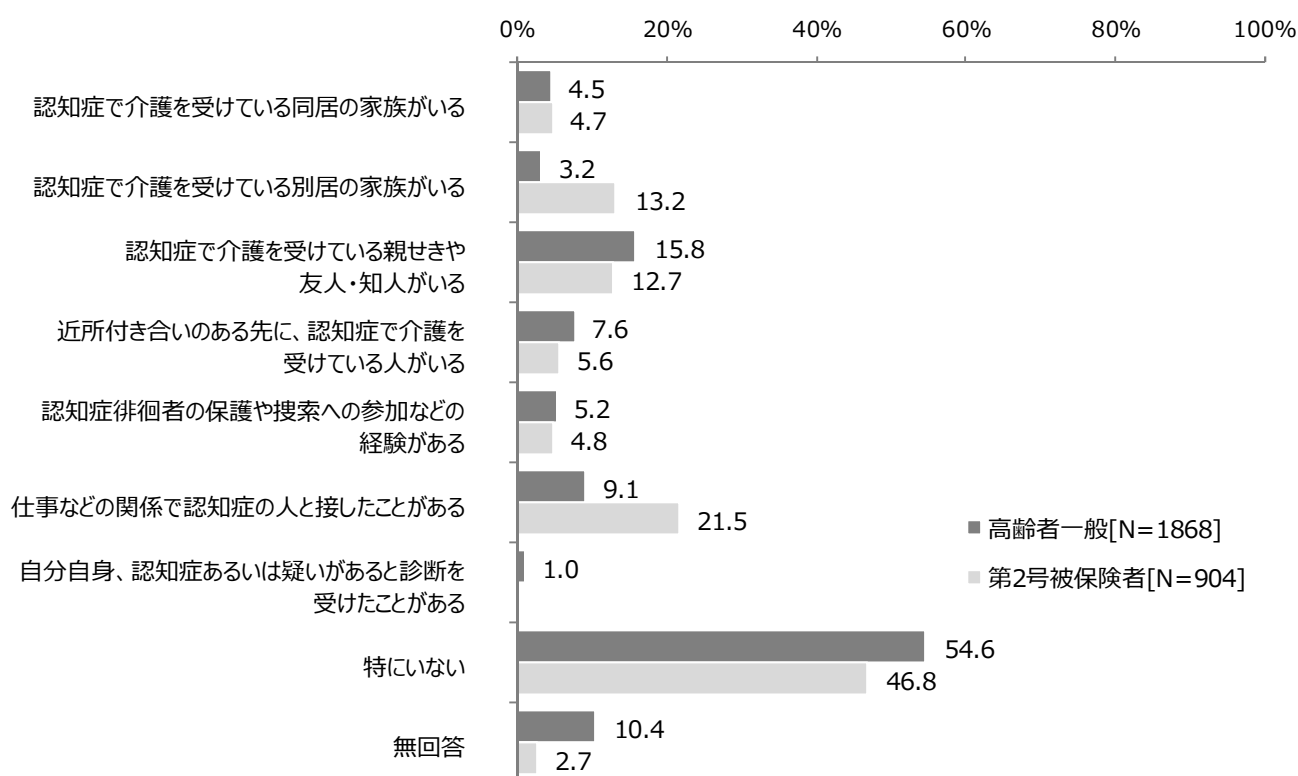


## (7) 認知症について

### ①認知症の人との関わり

認知症の人との関わりについては、高齢者一般、第2号被保険者とも、「特にいない」という人が多くなっています。第2号被保険者では、「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」という人が比較的に見られます。

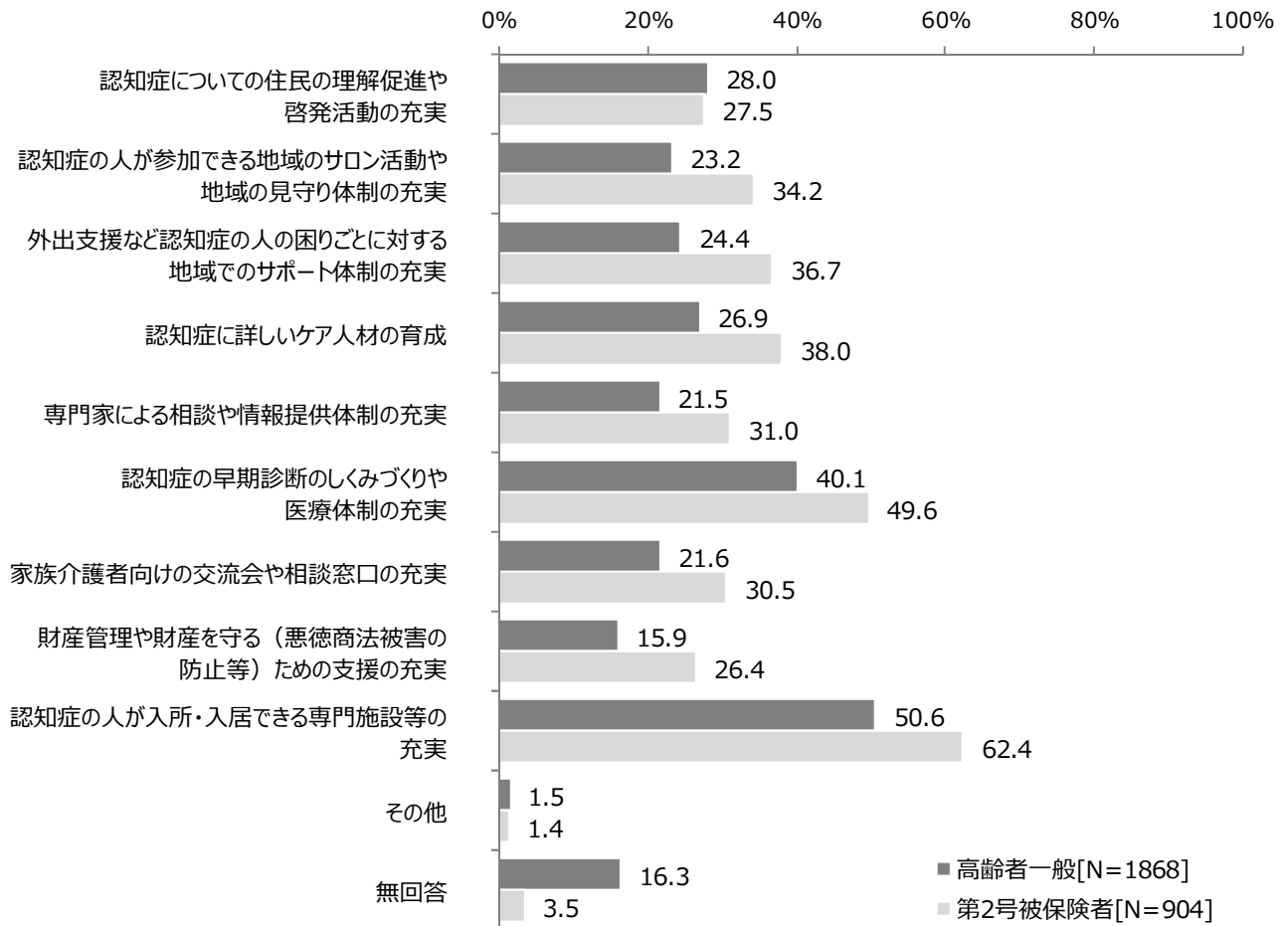
図表 61 認知症の人との関わり



## ②認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、高齢者一般、第2号被保険者と、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が最も多くなっています。また、第2号被保険者では、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が半数程度見られます。

図表 62 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援





**参考資料：アンケート調査票**

ちょう さ ひょう  
調 査 票

【記入に際してのお願い】

- この調査の対象者は、令和元年10月1日現在、県内にお住まいの40～64歳の方を対象として、主に、ご自身が高齢期になったときの生活意識などをお聞きするものです。

◎調査票の文字や内容が分かりにくいときは、説明しますので、電話してください。

調査の内容などに関するお問い合わせ

高齢者等生活意識調査事務局【フリーダイヤル】0120-221-438

※受付時間：午前10時00分～午後6時00分（土・日・祝日を除く）

質問項目等の問い合わせに限らず、心身の状況により回答することが困難な場合なども、お気軽にご連絡ください。

※この調査業務は、和歌山県から株式会社ジャパン・マーケティング・エージェンシーに委託しています。調査事務局は委託先会社に設置しています。

※なお、次のような場合はご記入いただく必要はありませんので、下記に○をつけて、以降は回答せず、調査票をそのまま同封の返信用封筒でご返送ください。

- 1 県外に転居した
- 2 要支援・要介護認定を申請中もしくは認定済
- 3 事情により回答できず、代わりに回答できる人もいない

■この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ただし、ご本人が回答することが難しい場合は、代わりにご家族の方などが本人の立場に立ってお答えくださいますようお願いいたします。

■調査票にご回答いただきましたら、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。（切手は不要です。）

★★ 11月11日までにご投函ください ★★

【ここからご回答ください】

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。（あてはまるもの1つに○）

1. あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
2. ご家族がご本人の代わりに回答
3. ご家族以外の方がご本人の代わりに回答

★あなたご自身やご家族のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

1. 男	2. 女
------	------

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

昭和  年  月生まれ (満  歳)

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※田辺市、新宮市、紀の川市の場合は、合併前の旧市町村を回答してください。

1. 和歌山市	2. 海南市	3. 橋本市
4. 有田市	5. 御坊市	
6. 田辺市 (旧田辺市)	7. 田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)	
8. 新宮市 (旧新宮市)	9. 新宮市 (旧熊野川町)	
10. 紀の川市 (旧打田町・貴志川町)	11. 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町)	
12. 岩出市	13. 紀美野町	
14. かつらぎ町	15. 九度山町	16. 高野町
17. 湯浅町	18. 広川町	19. 有田川町
20. 美浜町	21. 日高町	22. 由良町
23. 印南町	24. みなべ町	25. 日高川町
26. 白浜町	27. 上富田町	28. すさみ町
29. 那智勝浦町	30. 太地町	31. 古座川町
32. 北山村	33. 串本町	

問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 単身 (ご本人ひとり)	2. 夫婦のみ (配偶者は65歳以上)
3. 夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	4. 2世代家族 (65歳以上の家族がいる)
5. 2世代家族 (65歳以上の家族はいない)	6. 3世代家族
7. 配偶者、親以外の高齢者 (65歳以上) と同居	8. その他 ( )

問5 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 農林水産業	2. 会社や団体等の勤め人 (常勤)
3. 会社や団体等の勤め人 (パート、嘱託等)	4. 会社や団体等の役員
5. 自営業主、個人事業主	6. 短期・不定期のアルバイト等
7. 内職	8. 収入のある仕事はしていない
9. その他 ( )	



★高齢期こうれいきになったときの暮らしくらしについてのお考えかんがなどについておたずねします。

※通常つうじょう、高齢期こうれいきとは65歳以上のことを指しますが、年齢ねんれいにはこだわらず、ご自身が年をとって高齢者こうれいしゃになったときとお考えください。

問6 あなたは、ご自身の高齢期こうれいきの生活せいかつを考えたときに、特にどのようなことことに関心かんしんがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |   |
|---|---|
| 1. 家族 <small>かぞく</small> の団らん <small>だんらん</small> ・交流 <small>こうりゅう</small>      | 2. 親せきとのつきあい  |
| 3. 友人 <small>ゆうじん</small> 、知人 <small>ちじん</small> 、近隣 <small>きんりん</small> とのつきあい | 4. 住まい <small>すまい</small> (建物 <small>たてもの</small> の維持管理 <small>いじかんり</small> 、リフォームなど)  |
| 5. 健康管理 <small>けんこうかんり</small> 、健康づくり   | 6. 防災 <small>ぼうさい</small> (災害 <small>さいがい</small> への備え <small>そな</small> 、避難 <small>ひなん</small> や連絡 <small>れんらく</small> の方法 <small>ほうほう</small> など) |
| 7. 食事 <small>しょくじ</small> 、飲食 <small>いんしょく</small> に関すること                       | 8. 身だしなみ <small>みだしなみ</small> 、おしゃれ <small>おしゃれ</small> や美容 <small>びようかん</small> に関すること   |
| 9. 仕事 <small>しごと</small> 、働くこと  | 10. 家事 <small>かじ</small> (炊事 <small>すいじ</small> 、掃除 <small>そうじ</small> 、洗濯 <small>せんたく</small> など家の中の仕事)  |
| 11. 社会奉仕 <small>しゃかいほうし</small> 、ボランティア活動 <small>かつどう</small>                   | 12. 地域の活動 <small>ちいきのかつどう</small> (自治会 <small>じちかい</small> 、老人クラブ <small>ろうじんくらぶ</small> など)  |
| 13. 趣味 <small>しゅみ</small> の活動 <small>かつどう</small>                               | 14. 学習活動 <small>がくしゅうかつどう</small>   |
| 15. スポーツ活動 <small>スポーツかつどう</small>  | 16. 特にない  |
| 17. その他( )  |   |

問7 あなたは、現在げんざいお住まいすまいのところに高齢期こうれいきも住み続けるとした場合ばいに、日常にちじょうの買い物かや外出しゅつぷなどのしやすさについてどのように思おもいますか。(そう思おもうもの1つに○)

- |   |
|---|
| 1. 現在 <small>げんざい</small> でもかなり不便 <small>ふべん</small> であり、高齢 <small>こうれい</small> になったらさらに困ることになると思 <small>おも</small> う |
| 2. 現在 <small>げんざい</small> は特に問題 <small>もんだい</small> はないが、高齢 <small>こうれい</small> になったら困ることになると思 <small>おも</small> う    |
| 3. 高齢 <small>こうれい</small> になっても特に困ることはないと思 <small>おも</small> う  |
| 4. わからない  |
| 5. その他( )   |

問8 あなたは、ご自身の高齢期こうれいきの生活せいかつを考えたときに、何か不安ふあんを感じるかんことなどはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |  |
|--|--|
| 1. 家族 <small>かぞく</small> や親せきとの人間関係 <small>にんげんかんけい</small> について                     | 2. 友人 <small>ゆうじん</small> や知人 <small>ちじん</small> 、近所 <small>きんじよ</small> の人との人間関係 <small>にんげんかんけい</small> について |
| 3. 話し相手 <small>はなしかた</small> がないこと   | 4. 生活費 <small>せいかつひ</small> について   |
| 5. 自分 <small>じぶん</small> の介護 <small>かいご</small> のことについて                              | 6. 自分 <small>じぶん</small> の健康 <small>けんこう</small> や病気 <small>びょうき</small> について                                  |
| 7. 同居家族 <small>どうきょかぞく</small> の健康 <small>けんこう</small> や病気 <small>びょうき</small> について  | 8. 家族 <small>かぞく</small> や親せきに対する介護 <small>かいご</small> について  |
| 9. 通院 <small>つういん</small> の介助 <small>かいじょ</small> や手段 <small>しゅだん</small> について       | 10. 掃除 <small>そうじ</small> や洗濯 <small>せんたく</small> などの日常生活 <small>にちじょうせいかつ</small> のことについて                     |
| 11. 食事 <small>しょくじ</small> の用意 <small>ようい</small> や配食 <small>はいしょく</small> などのことについて | 12. 財産 <small>ざいざん</small> の管理 <small>かんり</small> や遺産相続 <small>いざんそうぞく</small> などについて                          |
| 13. 子や孫 <small>こまご</small> の将来 <small>しょうらい</small> について                             | 14. 特に悩み <small>なや</small> みや不安 <small>ふあん</small> はない   |
| 15. その他( )   |  |

★健康についておたずねします。

問9 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

1. たいへん健康である
2. 大した病気や障害もなく普通に生活している
3. 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える
4. 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの助けが必要である

問10 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ毎日、運動をしている
2. 週に3～5日程度、運動をしている
3. 週に1～2日程度、運動をしている
4. 月に数日程度、運動をしている
5. 運動はほとんどしていない

問11 あなたは、高齢期の健康づくりや介護予防のために、どのようなことが重要だと思いますか。(特に重要と思うこと5つまでに○)

1. よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える
2. バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける
3. 規則正しい生活をする
4. 睡眠や休息をきちんととって、疲れをためないようにする
5. 心の健康に気をつける
6. 定期的に健康診断を受ける
7. 身体の不調を感じたら、早めに診察を受ける
8. 歯や口腔の健康に気をつけ、定期的に検診や歯科的口腔ケアを受ける
9. 健康づくりや介護予防などについて学び、正しい知識を身につける
10. 生きがいや楽しみをもつ
11. 新しいことに挑戦するなど、前向きな気持ちをもつ
12. 近所づきあいや地域活動、趣味のサークルなど、人との交流をもつ
13. 読書をしたり、文章を書いたり、計算をするなど、頭をよく使うようにする
14. 特にない
15. その他 ( )

問12 あなたは、健康づくりや介護予防に関して、ご自身の日頃の生活習慣(ロコモ予防やメタボ予防など)をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 普段から意識をして運動や食生活に気をつけている
2. 意識をしており、もっと改善する必要があると思っている
3. 意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う
4. 特に意識をしていない

※ロコモ予防：生活不活発病(身体を動かさないことによる運動機能の低下)を予防する取り組み

※メタボ予防：生活習慣病を予防する取り組み



★高齢期の在宅での暮らし、住み替えなどについておたずねします。

問13 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 自動車 (自ら運転)           | 2. 自動車 (家族等が運転)    |
| 3. バス・電車                | 4. タクシー            |
| 5. 福祉移送サービス (介護タクシーなど)  | 6. バイク、スクーター       |
| 7. 自転車 (電動アシスト付き自転車を含む) | 8. 徒歩              |
| 9. 車椅子、電動車椅子            | 10. 外出は困難 (覆たきりなど) |
| 11. その他 ( )             |                    |

問14 あなたは、電車やバスなど公共交通機関を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でのくらし時間がかりますか。分単位で記入してください。

※コミュニティバスを含みます。

片道 約  分

問15 あなた現在の住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 戸建 (持ち家)           | 2. 戸建 (賃貸)           |
| 3. マンションなどの集合住宅 (持ち家) | 4. マンションなどの集合住宅 (賃貸) |
| 5. その他 ( )            |                      |

問16 あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

- |  |
|--|
| 1. 自宅で、在宅サービス (ホームヘルプやデイサービスなど) を利用しながら住み続けようと思う   |
| 2. 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う                       |
| 3. 介護保険施設 (特別養護老人ホームなど) に入所しようと思う                  |
| 4. 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う |
| 5. その他 ( )   |

※施設名などの用語につきましては、依頼状裏面の補足説明もご参照ください。

問17 もし、介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか(重視する項目3つ以内に○)

- |   |
|---|
| 1. 今住んでいる場所や頼りになる人 (子ども、親せきなど) の家から近いこと |
| 2. 提供される介護サービスの内容や質がよいこと                |
| 3. 利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること               |
| 4. 医療機関から近いこと                           |
| 5. 交通の便や生活の利便性がよいこと                     |
| 6. 利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること          |
| 7. 緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること    |
| 8. その他 ( )                              |

問18 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

【自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス】

1. 自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス
2. 自宅で夜間も介護をしてくれるサービス
3. 自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス
4. 通いで介護やリハビリを受けるサービス
5. 特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス
6. 状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス

【家庭での介護環境を整えるサービス】

7. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し
8. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

【医療サービス】

9. 在宅で受けられる医療サービス
10. 認知症専門の診療
11. 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

12. 気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン
13. 食事を配達するサービス
14. 地域住民の助け合いや見守り(徘徊の発見、通報など)
15. 介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置
16. 在宅で介護するための補助用品(オムツ等)の支給
17. その他( )

★自宅での看取りの考え方などについておたずねします。

問19 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度は関心がある |
| 3.それほど関心はない | 4. 今はわからない    |

問20 あなたは、自宅(または親の自宅等)で、家族を看取った経験がありますか。(いずれか1つに○)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問21 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなたは、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

- |       |         |            |
|-------|---------|------------|
| 1. 望む | 2. 望まない | 3. 今はわからない |
|-------|---------|------------|



問22 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思われませんか。(最も近いもの1つに○)

1. 病院で最後までできるだけ治療を受けたい
2. 設備の整った介護保険施設などで過ごしたい
3. 住み慣れた自宅で過ごしたい
4. その他(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウスなど)
5. どこでもよい
6. 今はわからない

問23 もしも、あなたの親に死期が迫っており、本人の意思確認が難しい状態になったとしたら、あなたどのように看取りたいと思いますか。(最も近いもの1つに○)

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病院で、延命治療であったとしても、できる限りの治療を受けさせたい</li> <li>2. 延命治療は望まないが、病院でできる限りの治療を受けさせたい</li> <li>3. 延命治療は望まないが、設備の整った介護保険施設などで過ごさせたい</li> <li>4. 延命治療はせず、本人の自宅等住み慣れた場所で過ごさせたい</li> <li>5. すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい</li> <li>6. 今はわからない</li> <li>7. すでに親は亡くなっている</li> <li>8. その他( )</li> </ol> | } → 問25 へ<br><br><br><br><br><br>} → 問25 へ |
|---|--|

▶ 問24 前の問で「5. すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい」と答えた方におたずねします。それはどのような意思ですか。(最も近いもの1つに○)

1. 病院で、延命治療であったとしても、できる限りの治療を受けたい
2. 延命治療は受けたくないが、病院でできる限りの治療を受けたい
3. 延命治療は受けたくないが、設備の整った介護保険施設などへ入所したい
4. 延命治療は受けたくないし、最期は住み慣れた自宅等で過ごしたい
5. その他( )

**★家族介護の状況などについておたずねします。**

問25 あなたのご家族(別居の場合を含みます)で、介護が必要な方(要支援・要介護の認定を受けている方)はおられますか。(いずれか1つに○)

- |       |                |
|-------|----------------|
| 1. いる | 2. いない → 問27 へ |
|-------|----------------|

▶ 問26 「1. いる」と答えた方におたずねします。

(1)あなた自身は、その方の介護にどのように関わっていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 主に自分が介護している
2. 他の家族が介護しているのを手伝っている
3. それほど介護には関わっていない



(2)ご家族の中で、その方の介護のために仕事を辞めたり転職された方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分が仕事を辞めた/転職した
2. 自分以外の家族で、仕事を辞めた/転職した者がいる
3. いない

(3)介護で困っていること、感じることなどがありましたらお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 正しい介護の方法、認知症への対応方法などがわからない
2. 本人の希望に沿った介護ができていない
3. 身体的な負担が大きい
4. 精神的な負担が大きい
5. 経済的な負担が大きい
6. 本人にやさしく接することができない、つつらくあたってしまうことがある
7. 介護を手伝ってくれる人がいない
8. もっと介護サービスを活用したいが、本人が利用したがない
9. もっと介護サービスを活用したいが、利用したいサービスが少ない
10. 施設入所を希望しているが、待機者が多くて利用できない
11. 介護に時間をとられ、他の生活に支障がある
12. 相談先がない
13. 特にない
14. その他 ( )

★高齢者の生活支援や介護の仕事に関する考え方などについておたずねします。

問27 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

事業の例：高齢者が気軽に参加できる地域サロンや運動・介護予防教室などの運営、安否確認などのサービス、外出支援、買い物、調理、掃除などの簡単な家事支援など

※現在、同様なサービスの運営に参加している人も意向をお答えください。

1. ある
2. 現在は無いが、リタイア後の参加には興味がある
3. ない →問29へ

問28 前の問で「1. ある」「2. 現在は無いが、リタイア後の参加には興味がある」と答えた方におたずねします。参加する際には、どのような参加の仕方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい
2. 給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい(短時間のパート・アルバイト含む)
3. 事業の立ち上げや運営などにも関わってみたい
4. その他 ( )

問29 あなたは、特別養護老人ホームや老人保健施設など、高齢者の介護やリハビリ等を行う施設で仕事をすることについて、興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

※介護の職場では、介護に関する専門的な資格を必要とする仕事のほか、「介護助手」など短期間の研修で専門的知識や技術を取得できる仕事、利用者の送迎や清掃、食事の準備など資格を必要としない仕事など、さまざまな仕事があります。資格等の有無に関わらず興味をお答えください。

※現在、同様な仕事をされている人も意向をお答えください。

1. ある      2. 現在はないが、リタイア後の仕事として興味がある      3. ない      一問31へ

問30 前の問で「1. ある」「2. 現在はないが、リタイア後の仕事として興味がある」と答えた方におたずねします。どのような働き方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事
2. 「介護助手」など、短期間の研修で専門的知識・技術を取得してから行う仕事
3. 一般的な介護職員が行う仕事
4. その他 ( )

問31 問29で「3. ない」と答えた方におたずねします。どのような職場環境になれば、介護施設での仕事に興味を湧かしますか。(最も重要と思うもの1つに○)

1. 他業種と比べて同等以上の給料がもらえる
2. 短時間勤務など自分の生活にあった働き方ができる
3. 力仕事が少ないなど身体的負担が少ない
4. 仕事のストレスが少ないなど精神的負担が少ない
5. 介護現場で働く職員の社会的評価が高まる
6. 職場環境が改善されても介護施設での仕事に興味を湧かさない
7. その他 ( )

**★介護保険制度などについておたずねします。**

問32 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービスを受けるための手続き
2. 受けられるサービスの内容
3. 気軽に相談できる窓口
4. 保険料、利用料や算出の仕組み
5. 介護事業所の評判
6. 特にない
7. その他 ( )



問33 介護保険制度では、40～64歳の方の保険料と、65歳以上の方の保険料は異なり、65歳以上になると各市町村で決めた保険料になります。(県平均は月額約6,500円です)

今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実すべき
2. さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
3. さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない
4. サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
5. 利用者の負担割合(現状1～3割負担)を上げて、サービスの内容を維持すべき
6. 利用者の負担割合(現状1～3割負担)を上げて、介護保険料を下げるべき
7. その他( )

問34 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」※1や「成年後見制度」※2があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 名前も聞いたことがない

※1「福祉サービス利用援助」は、判断能力が十分でない高齢者等の権利をまもるため、県・市町村社会福祉協議会等との協働により、福祉サービスの利用や日常生活上の手続きに関する援助、日常の金銭管理や書類などの預かりサービス等を行うものです。

※2「成年後見制度」は、判断能力が十分でない高齢者等(認知症高齢者など)を保護するため、本人の代わりに法律行為を行い、または本人による法律行為を助ける者を選定する制度です。

### ★認知症についておたずねします。

問35 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の高齢者とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症で介護を受けている同居の家族がいる
2. 認知症で介護を受けている別居の家族がいる
3. 認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる
4. 近所付き合いのある先に、認知症で介護を受けている人がいる
5. 認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある
6. 仕事などの関係で認知症の人と接したことがある
7. 特にいない

問36 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実
2. 認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実
3. 外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実
4. 認知症に詳しいケア人材の育成
5. 専門家による相談や情報提供体制の充実
6. 認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実
7. 家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実
8. 財産管理や財産を守る(悪徳商法被害の防止等)ための支援の充実
9. 認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実
10. その他 ( )

問37 若年性認知症についてお聞きします。あなたは、「若年性認知症」(65歳未満で発症した認知症のこと)という言葉をご存知でしたか。(いずれか1つに○)

1. 知っている
2. 知らない →問39へ

問38 前の問で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。

(1)あなたの身の回り、若年性認知症で介護を受けている人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 同居の家族
2. 別居の家族
3. 親せきや友人・知人
4. 近所付き合いのある先
5. 職場の同僚など(退職者も含む)
6. 仕事などの関係で接したことがある
7. 自分自身、診断を受けたことがある
8. 特にいない

(2)若年性認知症は、現役世代で認知症を発症するため、本人の仕事に支障が生じて経済的に困難な状況になる、家族への影響が大きい、高齢者でない人に適したサービスが少ないなど、高齢者の認知症とは異なるいろいろな問題があります。あなたは、若年性認知症の人に、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 若年性認知症の人や家族などが気軽に集い、交流できる場所づくり
2. 若年性認知症に特化するなど利用しやすい介護サービス等の充実
3. 若年性認知症の各種支援、相談窓口などに関する情報提供体制の充実
4. 若年性認知症の早期診断や相談などを行うことのできる医療機関の充実
5. 若年性認知症の人が仕事を続けることができるための支援の充実(時短勤務や在宅勤務等の促進、症状に合わせた就労支援等)
6. 若年性認知症の人に対する経済的支援の充実
7. その他 ( )



★質問は以上です。ご回答ありがとうございました。

問39 高齢者の生活支援、介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

Large empty rectangular area with horizontal dashed lines for writing responses.

- ★調査へのご協力ありがとうございました。記入もれがないかお確かめください。
★記入した調査票は、返信用封筒に入れて、お近くのポストに投函してください。(切手は不要です。)

和歌山県高齢者等生活意識調査  
(第2号被保険者調査)  
報告書

令和2年3月

発行：和歌山県 福祉保健部 福祉保健政策局 長寿社会課  
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1